

第4次有田市地域福祉計画 策定のための市民アンケート 結果報告書

令和7年3月
有田市

— 目次 —

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	2
	あなたご自身について	2
	防災や減災対策について	55
	地域での助け合いについて	65
	地域福祉について	95

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の皆さまの地域福祉に対する考え方や、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見・ご提言をお伺いし、「第4次有田市地域福祉計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査方法

- ・調査区域：有田市全域
- ・調査対象者：有田市在住の18歳以上の方1,500人を無作為に抽出
- ・調査期間：令和7年1月27日（月）～令和7年2月9日（日）
- ・調査方法：郵送による配布・回収（Webでの回答可）

3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,500 件	内訳 郵送回答： 444 件 Web回答： 176 件 620 件	41.3%

4 報告書の見方

- 回答結果は、小数点以下第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合は、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は、簡略化している場合があります。
- 有効標本数が30件未満の項目については分析から除外します。

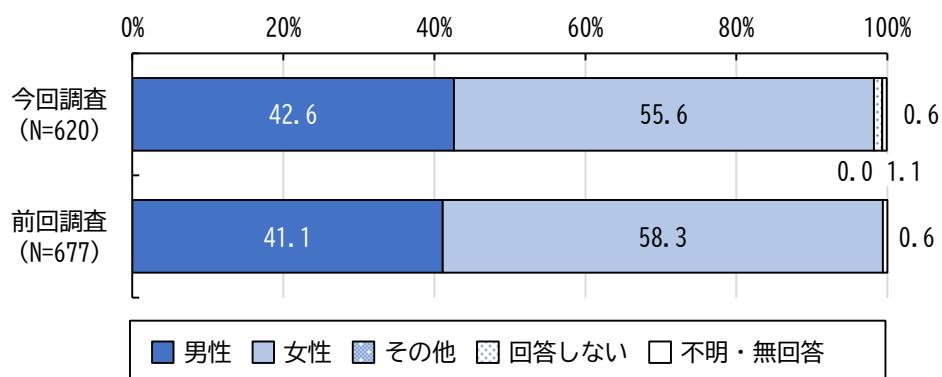
II 調査結果

あなたご自身について

性別（ひとつに○）

男女別についてみると、「女性」が 55.6% と最も高く、次いで「男性」が 42.6%、「回答しない」が 1.1% となっています。

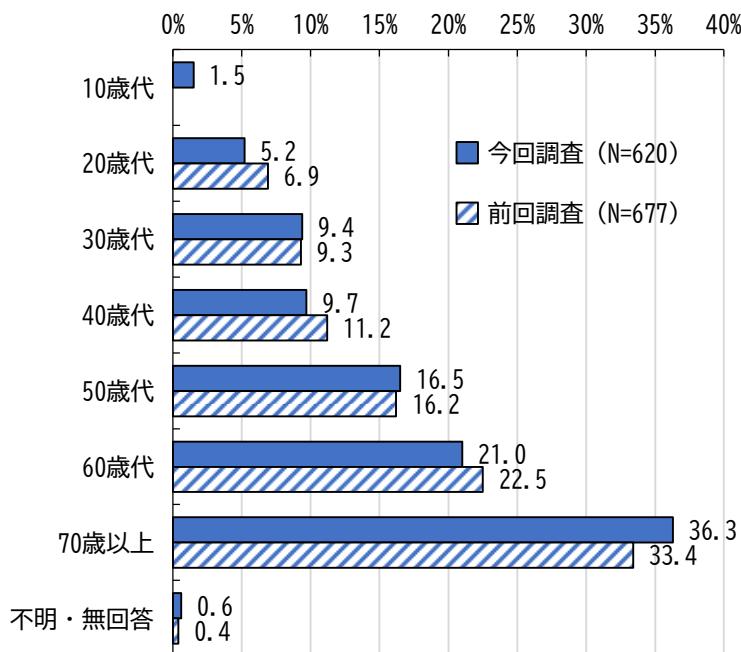
前回調査と比較すると、「男性」では 1.5 ポイント高くなっていますが、一方で「女性」が 2.7 ポイント低くなっています。



年代（ひとつに○）

年代別についてみると、「70 歳以上」が 36.3% と最も高く、次いで「60 歳代」が 21.0%、「50 歳代」が 16.5% となっています。

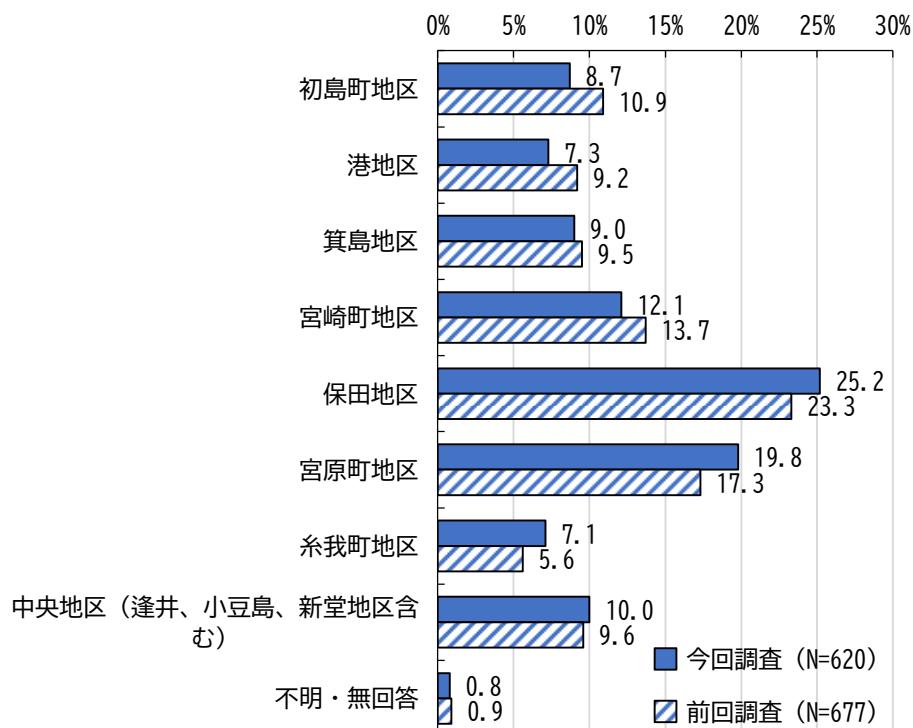
前回調査と比較すると、「70 歳以上」では 2.9 ポイント高くなっていますが、一方で「20 歳代」が 1.7 ポイント低くなっています。



居住地区(連合自治会) (ひとつに○)

居住地区別についてみると、「保田地区」が25.2%と最も高く、次いで「宮原町地区」が19.8%、「宮崎町地区」が12.1%となっています。

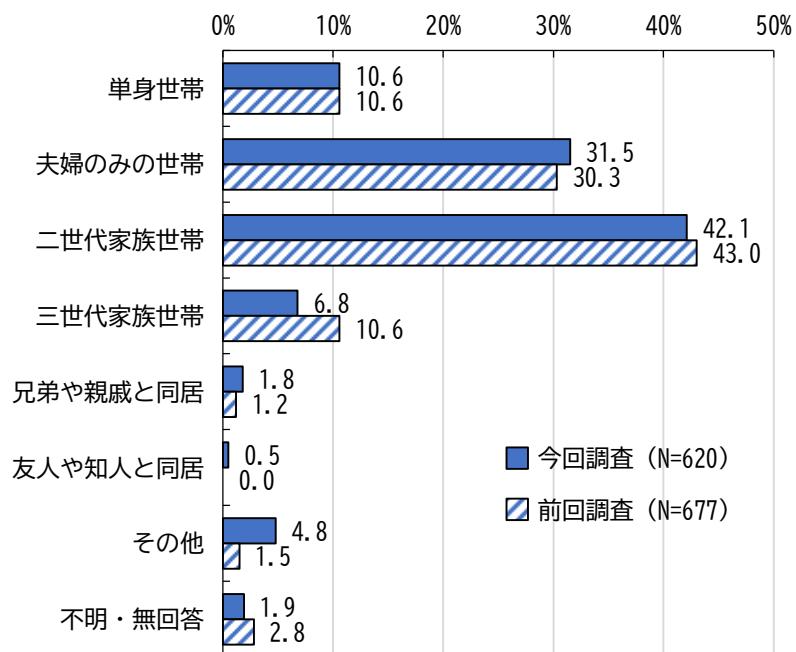
前回調査と比較すると、「宮原町地区」では2.5ポイント高くなっています。一方で「初島町地区」が2.2ポイント低くなっています。



世帯構成（ひとつに○）

世帯の構成についてみると、「二世代家族世帯」が42.1%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が31.5%、「単身世帯」が10.6%となっています。

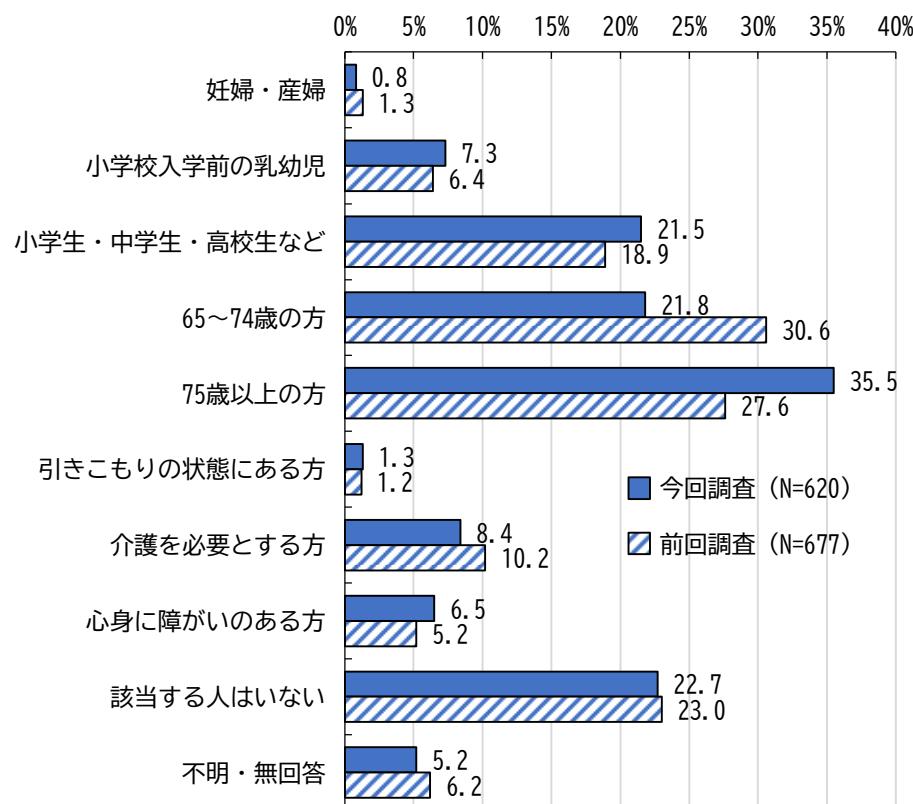
前回調査と比較すると、「夫婦のみの世帯」では1.2ポイント高くなっています。一方で「三世代家族世帯」が3.8ポイント低くなっています。



家族の中に次の人がある（別居を含む）（あてはまるものすべてに○）

家族（別居を含む）についてみると、「75歳以上の方」が35.5%と最も高く、次いで「該当する人はいない」が22.7%、「65～74歳の方」が21.8%となっています。

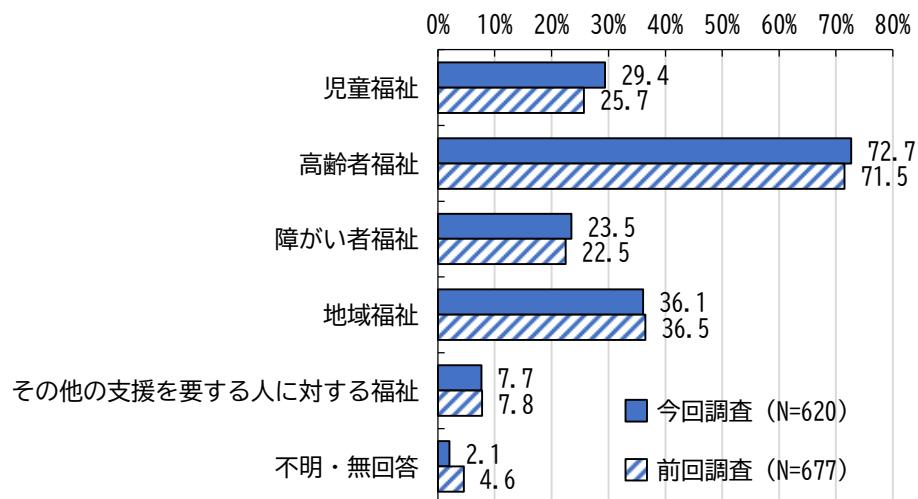
前回調査と比較すると、「75歳以上の方」では7.9ポイント高くなっています。一方で「65～74歳の方」が8.8ポイント低くなっています。



問1 あなたは、福祉のどのような分野に関心がありますか。（あてはまるものすべてに○）

関心のある福祉分野についてみると、「高齢者福祉」が72.7%と最も高く、次いで「地域福祉」が36.1%、「児童福祉」が29.4%となっています。

前回調査と比較すると、「児童福祉」では3.7ポイント高くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「高齢者福祉」が最も高く（男性 73.5%、女性 72.2%）、次いで「地域福祉」が高くなっています。性別による大きな差はみられません。

地区別でみると、すべての地区で「高齢者福祉」が最も高くなっています。「地域福祉」は『初島町地区』（51.9%）と『箕島地区』（51.8%）で特に高くなっています。「児童福祉」は『宮原町地区』（40.7%）で他地区より高い傾向にあります。

年代別でみると、年代によって関心分野に差がみられます。若年層（『10歳代』から『40歳代』）では「児童福祉」が高く、中高年層（『50歳代』以上）では「高齢者福祉」が高くなっています。特に『70歳以上』では「高齢者福祉」（88.9%）が顕著に高くなっています。

		児童福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	地域福祉	その他の支援を要する人に対する福祉	不明・無回答
性別	男性(N=264)	27.7	73.5	21.2	38.3	6.1	1.9
	女性(N=345)	29.9	72.2	24.6	34.5	8.1	2.0
地区別	初島町地区(N=54)	20.4	68.5	24.1	51.9	13.0	5.6
	港地区(N=45)	20.0	75.6	26.7	40.0	11.1	0.0
	箕島地区(N=56)	35.7	67.9	26.8	51.8	8.9	3.6
	宮崎町地区(N=75)	25.3	74.7	28.0	28.0	8.0	2.7
	保田地区(N=156)	30.8	78.2	25.0	31.4	5.1	1.9
	宮原町地区(N=123)	40.7	68.3	25.2	35.0	9.8	1.6
	糸我町地区(N=44)	15.9	70.5	11.4	25.0	4.5	0.0
	中央地区(N=62)	27.4	75.8	16.1	38.7	4.8	0.0
年代別	10歳代(N=9)	44.4	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	46.9	43.8	18.8	40.6	3.1	0.0
	30歳代(N=58)	53.4	34.5	19.0	37.9	10.3	3.4
	40歳代(N=60)	53.3	56.7	26.7	40.0	11.7	1.7
	50歳代(N=102)	30.4	76.5	24.5	36.3	5.9	3.9
	60歳代(N=130)	23.1	76.9	26.2	36.2	9.2	0.0
	70歳以上(N=225)	16.9	88.9	23.1	33.8	7.1	2.2

世帯構成別でみると、『夫婦のみの世帯』では「高齢者福祉」(82.6%)が特に高く、『二世代家族世帯』と『三世代家族世帯』では「児童福祉」(それぞれ36.0%、35.7%)が他の世帯構成と比べて高くなっています。

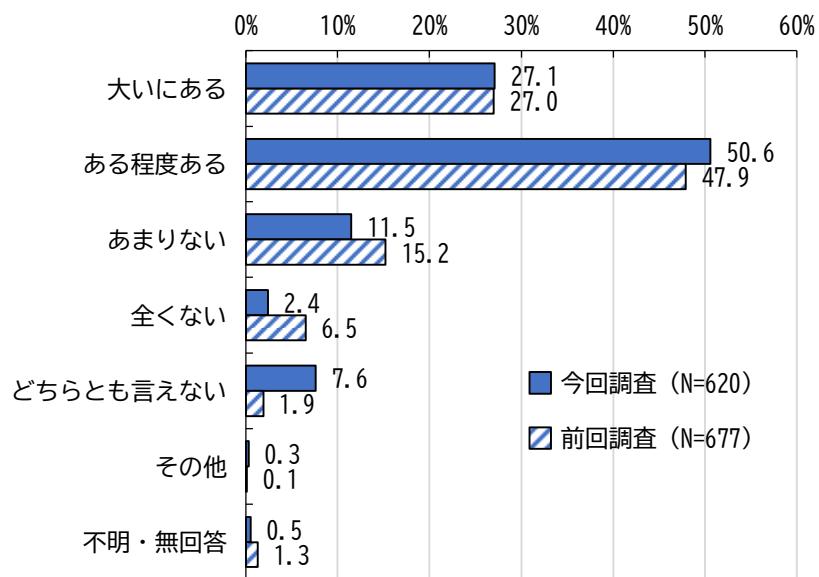
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「高齢者福祉」が最も高くなっています。「児童福祉」は『幸福度：平均以上』(34.5%)が『幸福度：平均以下』(25.9%)よりも8.6ポイント高くなっています。

		児童福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	地域福祉	その他の支援を要する人に対する福祉	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	22.7	72.7	22.7	30.3	6.1	1.5
	夫婦のみの世帯(N=195)	25.1	82.6	22.1	35.9	8.2	1.5
	二世代家族世帯(N=261)	36.0	64.8	25.7	36.8	8.0	2.3
	三世代家族世帯(N=42)	35.7	73.8	14.3	38.1	4.8	2.4
	兄弟や親戚と同居(N=11)	9.1	63.6	27.3	54.5	9.1	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	25.9	72.5	23.9	36.1	9.2	2.0
	幸福度：平均以上(N=281)	34.5	71.9	23.5	36.3	6.4	1.8

問2 あなたが住んでいる地域に愛着（好きだという気持ち）はありますか。（ひとつに○）

地域への愛着についてみると、「ある程度ある」が50.6%と最も高く、次いで「大いにある」が27.1%、「あまりない」が11.5%となっています。

前回調査と比較すると、「どちらとも言えない」では5.7ポイント高くなっています。一方で「全くない」が4.1ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「ある程度ある」が最も高く（男性 48.9%、女性 51.6%）、次いで「大いにある」が高くなっています。「大いにある」は『男性』（32.2%）が『女性』（23.8%）より 8.4 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「ある程度ある」が最も高くなっています。特に『初島町地区』（63.0%）で高い傾向にあります。「大いにある」は『港地区』（37.8%）で最も高く、『初島町地区』（16.7%）で最も低くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「ある程度ある」が高くなっています。『40 歳代』（68.3%）で特に高い傾向にあります。「大いにある」は『70 歳以上』（39.6%）で他の年代より高くなっています。

		大いにある	ある程度ある	あまりない	全くない	どちらとも言えない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	32.2	48.9	9.8	3.0	5.7	0.0	0.4
	女性(N=345)	23.8	51.6	12.8	2.0	9.0	0.6	0.3
地区別	初島町地区(N=54)	16.7	63.0	11.1	1.9	7.4	0.0	0.0
	港地区(N=45)	37.8	40.0	8.9	2.2	11.1	0.0	0.0
	箕島地区(N=56)	30.4	48.2	14.3	1.8	5.4	0.0	0.0
	宮崎町地区(N=75)	24.0	46.7	13.3	2.7	10.7	2.7	0.0
	保田地区(N=156)	29.5	48.7	11.5	3.2	6.4	0.0	0.6
	宮原町地区(N=123)	24.4	52.0	10.6	4.1	8.1	0.0	0.8
	糸我町地区(N=44)	31.8	52.3	13.6	0.0	2.3	0.0	0.0
年代別	中央地区(N=62)	27.4	59.7	4.8	0.0	8.1	0.0	0.0
	10歳代(N=9)	0.0	77.8	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	15.6	50.0	25.0	3.1	6.3	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	32.8	43.1	10.3	5.2	8.6	0.0	0.0
	40歳代(N=60)	10.0	68.3	11.7	1.7	8.3	0.0	0.0
	50歳代(N=102)	19.6	52.9	11.8	4.9	9.8	0.0	1.0
	60歳代(N=130)	21.5	54.6	13.8	1.5	7.7	0.8	0.0
	70歳以上(N=225)	39.6	44.0	8.4	1.3	5.8	0.4	0.4

世帯構成別でみると、『単身世帯』『夫婦のみの世帯』『二世代家族世帯』『三世代家族世帯』で「ある程度ある」が最も高くなっています。

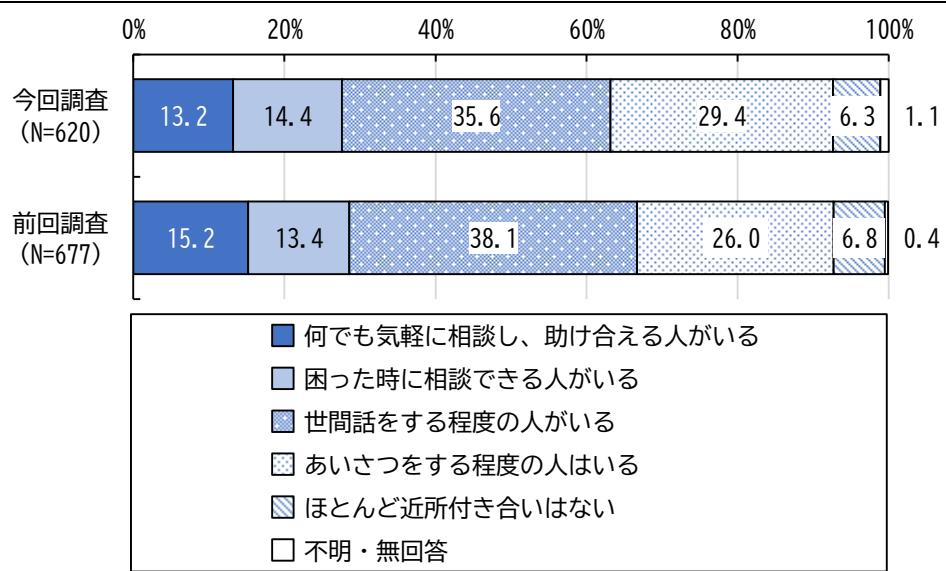
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』では「ある程度ある」(56.7%)が最も高く、『幸福度：平均以上』では「大いにある」(40.2%)と「ある程度ある」(43.8%)がともに高くなっています。「大いにある」は『幸福度：平均以上』が『幸福度：平均以下』より24.8ポイント高くなっています。

		大いにある	ある程度ある	あまりない	全くない	どちらとも言えない	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	30.3	42.4	13.6	4.5	9.1	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯(N=195)	27.2	52.8	10.8	2.6	6.2	0.5	0.0
	二世代家族世帯(N=261)	26.4	53.6	11.1	1.9	6.5	0.4	0.0
	三世代家族世帯(N=42)	31.0	54.8	2.4	2.4	9.5	0.0	0.0
	兄弟や親戚と同居(N=11)	18.2	27.3	36.4	0.0	18.2	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	幸福度：平均以下(N=305)	15.4	56.7	14.1	3.6	9.2	0.3	0.7
幸福度	幸福度：平均以上(N=281)	40.2	43.8	8.9	0.7	6.0	0.0	0.4

問3 あなたは、隣近所の人とどの程度付き合いがありますか。(ひとつに○)

隣近所との付き合いについてみると、「世間話をする程度の人がいる」が35.6%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人はいる」が29.4%、「困った時に相談できる人がいる」が14.4%となっています。

前回調査と比較すると、「あいさつをする程度の人はいる」では3.4ポイント高くなっています。一方で「世間話をする程度の人がいる」が2.5ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「世間話をする程度の人がいる」が最も高く(男性 35.6%、女性 35.7%)、次いで「あいさつをする程度の人はいる」が高くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「世間話をする程度の人がいる」が最も高くなっています。特に『糸我町地区』(43.2%)で高い傾向にあります。『箕島地区』では「あいさつをする程度の人はいる」(39.3%)が最も高くなっています。

年代別でみると、年代によって近所付き合いの程度に差がみられます。『20歳代』(50.0%)、『30歳代』(44.8%)、『40歳代』(38.3%)、『50歳代』(34.3%)では「あいさつをする程度の人はいる」が最も高く、『60歳代』(45.4%)と『70歳以上』(38.2%)では「世間話をする程度の人がいる」が最も高くなっています。「何でも気軽に相談し、助け合える人がいる」は『70歳以上』(23.1%)で他の年代と比べて高くなっています。

		何でも気軽に相談し、助け合える人がいる	困った時に相談できる人がいる	世間話をする程度の人がいる	あいさつをする程度の人はいる	ほとんど近所付き合いはない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	13.6	12.1	35.6	31.4	6.4	0.8
	女性(N=345)	13.3	16.5	35.7	27.5	5.8	1.2
地区別	初島町地区(N=54)	20.4	16.7	35.2	20.4	7.4	0.0
	港地区(N=45)	13.3	4.4	40.0	33.3	8.9	0.0
	箕島地区(N=56)	12.5	17.9	25.0	39.3	3.6	1.8
	宮崎町地区(N=75)	10.7	12.0	34.7	29.3	12.0	1.3
	保田地区(N=156)	16.7	12.2	37.2	27.6	5.1	1.3
	宮原町地区(N=123)	8.1	19.5	35.8	31.7	4.9	0.0
	糸我町地区(N=44)	11.4	13.6	43.2	27.3	4.5	0.0
	中央地区(N=62)	14.5	16.1	35.5	25.8	6.5	1.6
年代別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0
	20歳代(N=32)	6.3	6.3	12.5	50.0	25.0	0.0
	30歳代(N=58)	6.9	10.3	24.1	44.8	13.8	0.0
	40歳代(N=60)	8.3	11.7	35.0	38.3	6.7	0.0
	50歳代(N=102)	6.9	15.7	35.3	34.3	6.9	1.0
	60歳代(N=130)	8.5	16.2	45.4	26.9	3.1	0.0
	70歳以上(N=225)	23.1	16.0	38.2	19.1	1.8	1.8

世帯構成別でみると、『夫婦のみの世帯』(37.4%) と『二世代家族世帯』(38.3%)、『三世代家族世帯』(35.7%) では「世間話をする程度の人がいる」が最も高く、『単身世帯』では「あいさつをする程度の人はいる」(36.4%) が最も高くなっています。

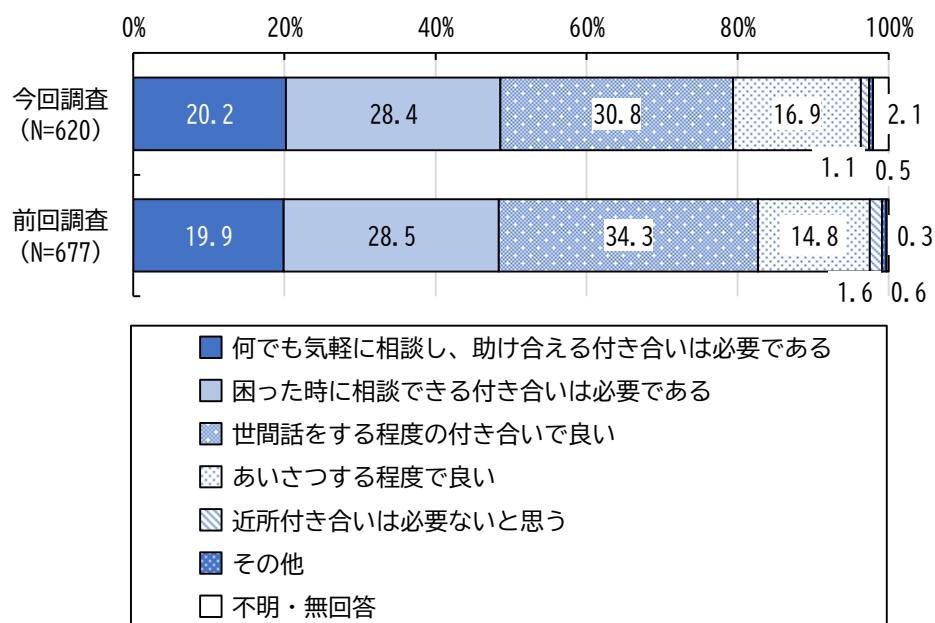
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「世間話をする程度の人がいる」が最も高くなっています。「あいさつをする程度の人はいる」は『幸福度：平均以下』(34.4%) が『幸福度：平均以上』(23.8%) より 10.6 ポイント高くなっています。一方、「何でも気軽に相談し、助け合える人がいる」と「困った時に相談できる人がいる」は『幸福度：平均以上』がそれぞれ 8.2 ポイント、4.9 ポイント高くなっています。

		何でも気軽に相談し、助け合える人がいる	困った時に相談できる人がいる	世間話をする程度の人がいる	あいさつをする程度の人はいる	ほとんど近所付き合いはない	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	13.6	10.6	27.3	36.4	10.6	1.5
	夫婦のみの世帯(N=195)	14.4	15.4	37.4	25.1	6.2	1.5
	二世代家族世帯(N=261)	10.3	15.3	38.3	31.4	4.6	0.0
	三世代家族世帯(N=42)	19.0	14.3	35.7	23.8	7.1	0.0
	兄弟や親戚と同居(N=11)	9.1	18.2	9.1	54.5	9.1	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	8.9	11.8	36.4	34.4	7.5	1.0
	幸福度：平均以上(N=281)	17.1	16.7	35.9	23.8	5.3	1.1

問4 あなたは、隣近所の人との付き合いについて、どのようにお考えですか。(ひとつに○)

隣近所の人との付き合いに対する考え方についてみると、「世間話をする程度の付き合いが良い」が 30.8% と最も高く、次いで「困った時に相談できる付き合いは必要である」が 28.4%、「何でも気軽に相談し、助け合える付き合いは必要である」が 20.2% となっています。

前回調査と比較すると、「あいさつする程度で良い」では 2.1 ポイント高くなっていますが、「世間話をする程度の付き合いが良い」が 3.5 ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「世間話をする程度の付き合いで良い」と「困った時に相談できる付き合いは必要である」が高くなっています。性別による大きな差はみられません。

地区別でみると、地区によって期待する近所付き合いに差がみられます。『初島町地区』(42.6%)と『糸我町地区』(38.6%)では「困った時に相談できる付き合いは必要である」が最も高く、『中央地区』(35.5%)、『保田地区』(32.1%)、『宮原町地区』(30.9%)では「世間話をする程度の付き合いで良い」が最も高くなっています。

年代別でみると、年代によって期待する近所付き合いに差がみられます。『20歳代』(37.5%)と『30歳代』(32.8%)では「あいさつする程度で良い」が最も高く、『40歳代』(36.7%)、『60歳代』(33.8%)、『70歳以上』(32.4%)では「世間話をする程度の付き合いで良い」が高くなっています。『50歳代』では「困った時に相談できる付き合いは必要である」(33.3%)が最も高くなっています。

		何でも気軽に相談し、助け合える付き合いは必要である	困った時に相談できる付き合いは必要である	世間話をする程度の付き合いで良い	あいさつする程度で良い	近所付き合いは必要ないと思う	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	19.7	28.8	31.1	15.9	1.9	0.4	2.3
	女性(N=345)	20.6	28.7	30.7	17.1	0.6	0.6	1.7
地区別	初島町地区(N=54)	14.8	42.6	29.6	7.4	3.7	1.9	0.0
	港地区(N=45)	17.8	17.8	37.8	17.8	4.4	0.0	4.4
	箕島地区(N=56)	21.4	28.6	26.8	19.6	0.0	0.0	3.6
	宮崎町地区(N=75)	22.7	26.7	29.3	17.3	2.7	0.0	1.3
	保田地区(N=156)	18.6	29.5	32.1	17.9	0.0	0.6	1.3
	宮原町地区(N=123)	20.3	27.6	30.9	16.3	0.8	0.8	3.3
	糸我町地区(N=44)	20.5	38.6	22.7	18.2	0.0	0.0	0.0
年代別	中央地区(N=62)	27.4	19.4	35.5	16.1	0.0	0.0	1.6
	10歳代(N=9)	0.0	22.2	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	12.5	21.9	21.9	37.5	6.3	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	8.6	31.0	25.9	32.8	0.0	0.0	1.7
	40歳代(N=60)	8.3	30.0	36.7	15.0	3.3	3.3	3.3
	50歳代(N=102)	11.8	33.3	28.4	23.5	1.0	1.0	1.0
	60歳代(N=130)	22.3	29.2	33.8	12.3	0.8	0.0	1.5
	70歳以上(N=225)	30.7	25.8	32.4	8.0	0.4	0.0	2.7

世帯構成別でみると、『単身世帯』(34.8%) と『夫婦のみの世帯』(33.3%) では「世間話をする程度の付き合いが良い」が最も高く、『二世代家族世帯』(31.4%) と『三世代家族世帯』(38.1%) では「困った時に相談できる付き合いは必要である」が最も高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』では「困った時に相談できる付き合いは必要である」(31.1%) が最も高く、『幸福度：平均以上』では「世間話をする程度の付き合いが良い」(32.7%) が最も高くなっています。「何でも気軽に相談し、助け合える付き合いは必要である」は『幸福度：平均以上』(24.9%) が『幸福度：平均以下』(14.8%) より 10.1 ポイント高くなっています。

		何でも気軽に相談し、助け合える付き合いは必要である	困った時に相談できる付き合いは必要である	世間話をする程度の付き合いが良い	あいさつする程度で良い	近所付き合いは必要ないと思う	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	18.2	13.6	34.8	24.2	1.5	1.5	6.1
	夫婦のみの世帯(N=195)	25.1	26.2	33.3	11.8	1.5	0.0	2.1
	二世代家族世帯(N=261)	16.5	31.4	30.3	18.8	1.1	0.8	1.1
	三世代家族世帯(N=42)	19.0	38.1	23.8	16.7	0.0	0.0	2.4
	兄弟や親戚と同居(N=11)	18.2	27.3	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	14.8	31.1	29.2	21.6	1.3	0.7	1.3
	幸福度：平均以上(N=281)	24.9	27.4	32.7	11.4	1.1	0.0	2.5

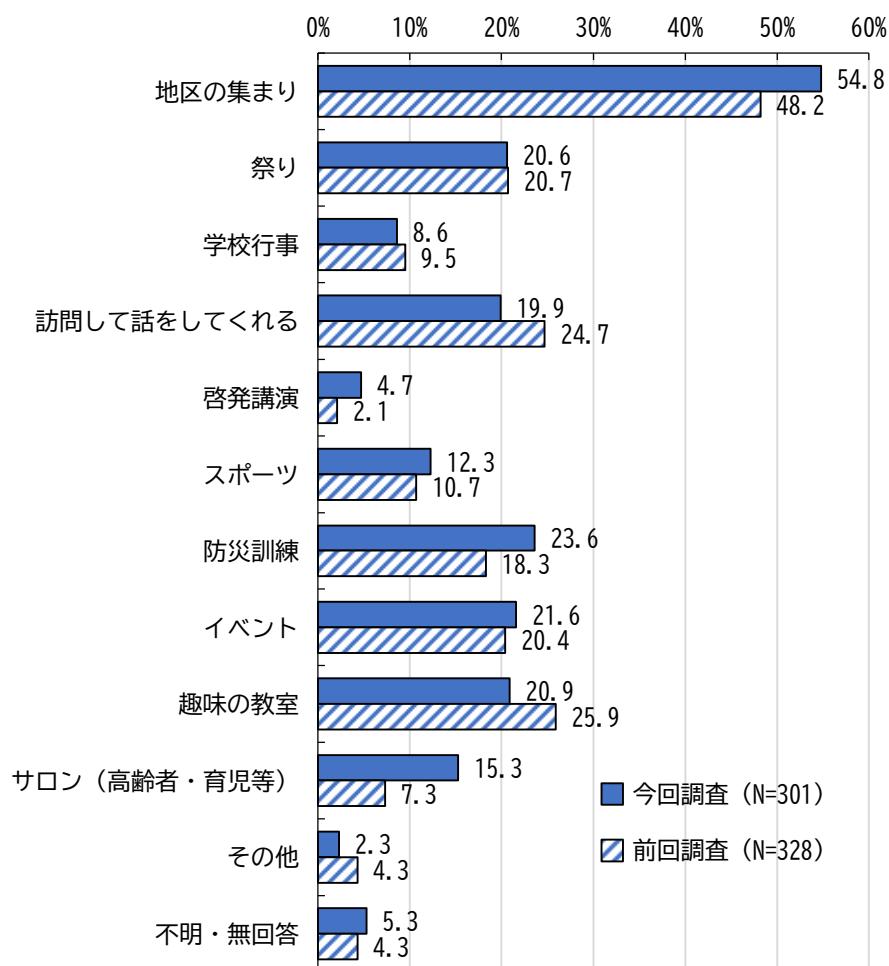
問4で【1. 何でも気軽に相談し、助け合える付き合いは必要である】【2. 困った時に相談できる付き合いは必要である】と回答した人におたずねします。

問5 あなたは、どのような形でつながりづくりを行うと参加しやすいですか。

(あてはまるものすべてに○)

参加しやすいつながりづくりの形態についてみると、「地区の集まり」が 54.8% と最も高く、次いで「防災訓練」が 23.6%、「イベント」が 21.6% となっています。

前回調査と比較すると、「サロン（高齢者・育児等）」では 8.0 ポイント高くなっています。一方で「趣味の教室」が 5.0 ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「地区の集まり」が最も高くなっています。『男性』では「防災訓練」(29.7%)、『女性』では「趣味の教室」(26.5%)と「サロン（高齢者・育児等）」(21.2%)が特徴的に高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「地区の集まり」が最も高くなっています。特に『中央地区』(65.5%)で高い傾向にあります。「防災訓練」は『港地区』(43.8%)で他地区より高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「地区の集まり」が高くなっています。「祭り」は『40歳代』(47.8%)で最も高く、「学校行事」も『40歳代』(39.1%)で高くなっています。『30歳代』では「スポーツ」(39.1%)が他の年代より高い傾向にあります。

		地区の集まり	祭り	学校行事	訪問して話をしてくれる	啓発講演	スポーツ	防災訓練	イベント
性別	男性(N=128)	64.8	22.7	8.6	18.0	3.9	18.0	29.7	23.4
	女性(N=170)	47.6	18.8	8.8	21.2	5.3	8.2	19.4	20.0
地区別	初島町地区(N=31)	54.8	12.9	16.1	32.3	6.5	12.9	25.8	6.5
	港地区(N=16)	56.3	25.0	18.8	18.8	6.3	18.8	43.8	25.0
	箕島地区(N=28)	50.0	17.9	3.6	14.3	3.6	21.4	25.0	35.7
	宮崎町地区(N=37)	40.5	18.9	5.4	13.5	8.1	13.5	18.9	16.2
	保田地区(N=75)	53.3	21.3	8.0	14.7	4.0	6.7	24.0	24.0
	宮原町地区(N=59)	59.3	22.0	8.5	22.0	5.1	15.3	25.4	22.0
	糸我町地区(N=26)	61.5	26.9	11.5	34.6	0.0	15.4	19.2	15.4
	中央地区(N=29)	65.5	20.7	3.4	17.2	3.4	3.4	13.8	27.6
年代別	10歳代(N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代(N=11)	63.6	45.5	0.0	9.1	0.0	27.3	9.1	45.5
	30歳代(N=23)	52.2	39.1	17.4	21.7	4.3	39.1	30.4	39.1
	40歳代(N=23)	43.5	47.8	39.1	13.0	4.3	4.3	13.0	21.7
	50歳代(N=46)	54.3	15.2	6.5	8.7	0.0	4.3	23.9	28.3
	60歳代(N=67)	59.7	14.9	4.5	20.9	3.0	6.0	22.4	20.9
	70歳以上(N=127)	54.3	15.0	5.5	25.2	7.9	12.6	25.2	15.0

		趣味の教室	サロン(高齢者・育児等)	その他	不明・無回答
性別	男性(N=128)	14.1	7.8	2.3	2.3
	女性(N=170)	26.5	21.2	2.4	7.6
地区別	初島町地区(N=31)	16.1	3.2	3.2	6.5
	港地区(N=16)	31.3	31.3	0.0	0.0
	箕島地区(N=28)	14.3	21.4	0.0	7.1
	宮崎町地区(N=37)	21.6	5.4	0.0	13.5
	保田地区(N=75)	20.0	20.0	1.3	4.0
	宮原町地区(N=59)	23.7	13.6	5.1	3.4
	糸我町地区(N=26)	23.1	15.4	0.0	0.0
	中央地区(N=29)	20.7	17.2	6.9	6.9
年代別	10歳代(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=11)	27.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=23)	8.7	8.7	0.0	0.0
	40歳代(N=23)	4.3	17.4	4.3	4.3
	50歳代(N=46)	19.6	8.7	0.0	10.9
	60歳代(N=67)	28.4	19.4	1.5	1.5
	70歳以上(N=127)	22.8	18.1	3.9	7.1

世帯構成別でみると、『夫婦のみの世帯』(55.0%)、『二世代家族世帯』(59.2%)、『三世代家族世帯』(58.3%) では「地区の集まり」が最も高くなっています。『単身世帯』では「訪問して話をしてくれる」(33.3%) が最も高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「地区の集まり」が最も高くなっています。幸福度による大きな差はみられません。

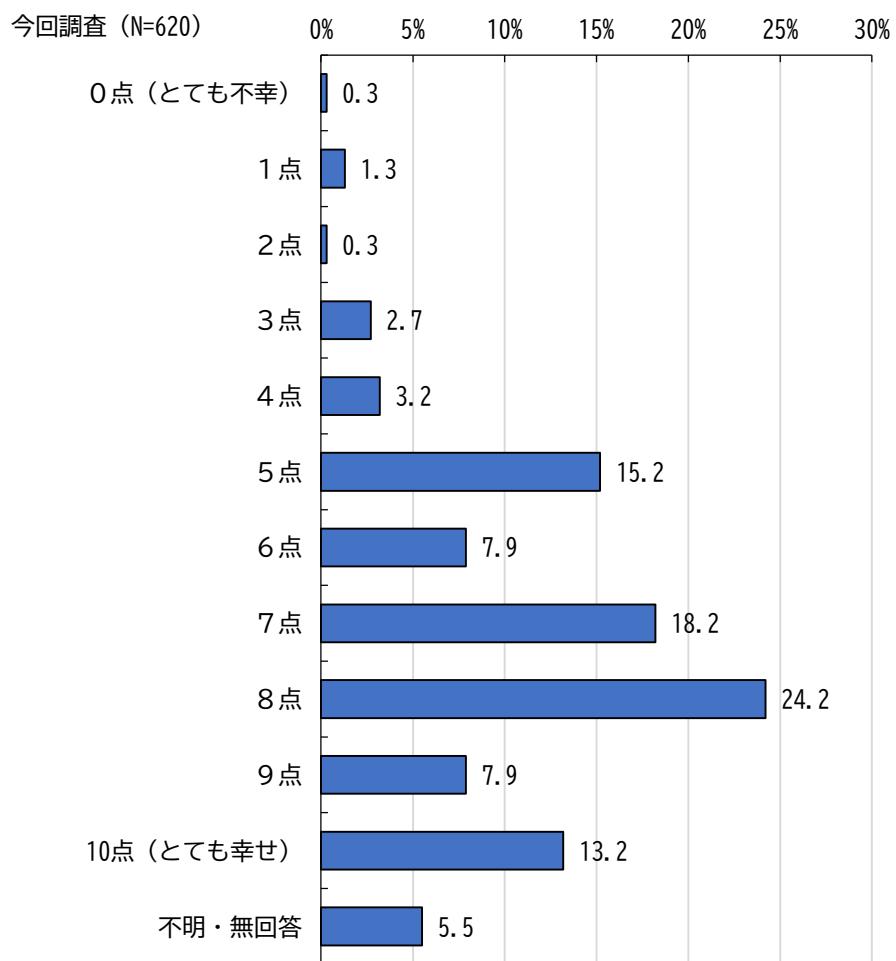
		地区の集まり	祭り	学校行事	訪問して話をしてくれる	啓発講演	スポーツ	防災訓練	イベント
世帯構成	単身世帯(N=21)	19.0	14.3	9.5	33.3	4.8	4.8	14.3	4.8
	夫婦のみの世帯(N=100)	55.0	14.0	2.0	17.0	6.0	12.0	25.0	19.0
	二世代家族世帯(N=125)	59.2	27.2	13.6	19.2	4.0	14.4	24.0	24.8
	三世代家族世帯(N=24)	58.3	29.2	16.7	8.3	0.0	8.3	29.2	41.7
	兄弟や親戚と同居(N=5)	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	友人や知人と同居(N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=140)	52.9	20.0	10.0	18.6	3.6	10.0	24.3	21.4
	幸福度：平均以上(N=147)	57.1	22.4	8.2	22.4	6.1	15.6	23.1	22.4

		趣味の教室	サロン(高齢者・育児等)	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=21)	14.3	19.0	4.8	4.8
	夫婦のみの世帯(N=100)	24.0	19.0	4.0	8.0
	二世代家族世帯(N=125)	18.4	12.0	1.6	3.2
	三世代家族世帯(N=24)	16.7	16.7	0.0	4.2
	兄弟や親戚と同居(N=5)	0.0	20.0	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=140)	20.0	15.0	2.9	4.3
	幸福度：平均以上(N=147)	21.1	14.3	2.0	2.7

問6 あなたの現在の幸福度はどれくらいですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。) (ひとつに○)

幸福度についてみると、「8点」が 24.2%と最も高く、次いで「7点」が 18.2%、「5点」が 15.2%となっています。



全体平均は 7.10 点となっています。

男女別でみると、『女性』の平均点 (7.18) が全体平均 (7.10) より 0.08 ポイント高く、『男性』の平均点 (7.00) が全体平均より 0.10 ポイント低くなっています。

地区でみると、『中央地区』の平均点 (7.52) が全体平均より 0.42 ポイント高く最も高い値を示し、『初島町地区』の平均点 (6.75) が全体平均より 0.35 ポイント低く最も低い値となっています。

年代別でみると、『70 歳以上』の平均点 (7.42) が全体平均より 0.32 ポイント高く、『60 歳代』の平均点 (6.72) が全体平均より 0.38 ポイント低くなっています。

世帯構成別でみると、『三世代家族世帯』の平均点 (7.38) が全体平均より 0.28 ポイント高く、『単身世帯』の平均点 (6.59) が全体平均より 0.51 ポイント低くなっています。

	今回調査	男性	女性
合計点数	4,159	1,749	2,334
回答数	586	250	325
平均点	7.10	7.00	7.18

	初島町 地区	港地区	箕島地区	宮崎町 地区	保田地区	宮原町 地区	糸我町 地区	中央地区
合計点数	358	292	382	468	1,055	836	306	436
回答数	53	42	52	66	149	118	43	58
平均点	6.75	6.95	7.35	7.09	7.08	7.08	7.12	7.52

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
合計点数	75	225	405	385	692	840	1,521
回答数	9	32	57	57	98	125	205
平均点	8.33	7.03	7.11	6.75	7.06	6.72	7.42

	単身世帯	夫婦のみ の世帯	二世代家 族世帯	三世代家 族世帯	兄弟や親 戚と同居	友人や知 人と同居
合計点数	402	1,334	1,747	295	77	21
回答数	61	184	247	40	11	3
平均点	6.59	7.25	7.07	7.38	7.00	7.00

問6-1 どのような時に幸せを感じたり、不幸と感じますか。(自由にご記入ください。)
幸せと感じる時

記述をいただいた内容について、カテゴリ分けをして掲載します。

(※但し件数が多いため、カテゴリごとに5件程度抜粋して掲載します。)

家族・家庭の幸せ

家族の健康・団らん	122 件
家族が良くしてくれる 長男、長女それぞれにぎやかな家族を見ている時 家族が健康であること 必要なものを買うお金があり、家族と食事をとる時 家族と共に生活できていること。	
子ども・孫との関わり	52 件
子どもや孫たちが帰省した時 孫と会えた時 孫たちが来てくれた時 孫と話している時 子ども、孫たちが集合（正月・お盆）	

健康・身体的充足

健康・身体	104 件
健康な今が幸せと感じます。 体が健康である時 健康でおいしくごはんがいただけること 健康でいられること 日々の健康、正月やお盆の孫の帰省。	

食と生活の楽しみ

食事・味覚	40 件
おいしいものを食べている時、好きな人といふ時 ごはんを食べて色々したいことができて何もおきない時 食事 何でもおいしく食べられ、健康で夫婦が助け合えること おいしくご飯が食べられる時	

仕事と達成感

仕事・達成感	27 件
農業をしている時	
仕事が休みの時	
仕事が休みの時、みかんの仕事が終わった時	
請求書送付からの振込確認	
仕事、仕事の満足感	

日常生活の安定と安らぎ

日常生活の平穏	48 件
生きていくのに問題がない。平和である。	
普通に生活できること	
毎日、普通の生活がおくれること	
いつもと同じ変化がない時	
何事も起こらずに 1 日が過ぎた時	
経済的安定	21 件
経済的にも環境的にも安心して穏やかに暮らせる時	
生活が安定している時	
衣食住が整っていること	
最低限の生活ができていること	
年金を満足にもらえる時	

自己実現と余暇

趣味・余暇活動	28 件
オン（仕事）とオフ（余暇）の切替でリフレッシュできた時	
好きなことを好きな時にできる自由がある	
友人とカラオケに行っている時	
縁側の日当たりで工作をするのが趣味で幸せです。	
家族で旅行や外食をしている時、好きなスポーツをしている時	
自由・自立	28 件
自由に暮らしている時や孫の元気な姿など	
今は自分で色々決められる。	
自由に行動できる	
買い物ができる時	
近所の目を感じないで行動できる時	

つながりと社会性

他者との交流	27 件
地区の集まりで色々な情報がわかる となり近所の方ばかりで集まって話をする時 感謝をもとにした近隣との交流、家族の笑顔 友人とカラオケに行っている時 心の豊かさ、良好な人付き合いがあること	
他者への貢献	14 件
突然の病になった時に面倒をみてくれた時 やさしい心にふれた時 まわり（家族も含め）の人たちの思いやり（心がある）。 人の役に立てたと思う時。好きなジャンルのユーチューブをみるとき 誰かが喜んでくれたとき	
笑顔・笑い	17 件
笑っている顔を見た時 楽しく話をしたり、大きな声で笑ったりする時 笑えることがある時 笑っている時 笑いがある時	

その他の生活の喜び

ペットとの時間	2 件
愛猫と過ごす時間 ペット（猫とのふれあい）	
自然・環境	3 件
縁側の日当たりで工作をするのが趣味で幸せです。 良い景色を見た時 家族との食事や庭で花を植えたりする時	

不幸と感じる時

記述をいただいた内容について、カテゴリ分けをして掲載します。

(※但し件数が多いため、カテゴリごとに5件程度抜粋して掲載します。)

健康・身体の問題

健康上の問題	59 件
病気になった時	
自分や配偶者が発病した時	
病気になり介護が必要になった時	
子どもに元気がない時	
身体の調子が悪く、1人ぼっちになる	

家族・人間関係の課題

家族の健康・関係の問題	58 件
子どもの引きこもり、妻の心身不調	
子ども夫婦の不仲を見る時	
家族が病気になった時	
身内の死	
夫が病気で身体が不自由であること	
人間関係の問題	29 件
陰口を言っていた時	
信じていた人に裏切られた時	
他の人とうまくいかない時、さみしい時	
近所付き合いができなくなった時	
人間関係がうまくいかない時	

孤独・孤立感

孤独・社会的孤立	27 件
孤独感を感じた時	
姉妹が近くにいないこと	
何かがあると1人だなと思う。	
話相手がない時	
何の連絡もない時	

経済・生活の不安

経済的不安	29 件
<p>お金が足らず、支払いなどに困る時 税金が高すぎる 国民年金で不安を感じている。 物価の高騰や出費がかさみ、旅行に連れて行ってあげられない 裕福な家庭と自分の家庭の差を感じた時</p>	
仕事に関する問題	
仕事が忙しい時、用事が増える時 休みが少ない みかん畠を放任園にできずに維持しなければいけないと感じる時 仕事でミスした時 休日なのに仕事の事が頭をよぎる時。	23 件

自由・自己実現の制約

自由・自立の制限	19 件
<p>自分の時間がない。 思い通りに進まない時 免許証を返納したので行きたいところへ出かけにくい 自分のしたいことが思い通りにできない時 家から出られない時</p>	
将来への不安	
将来的な不安 老後、1人になった時のことと思う時 生きがいがない時 親や場合により配偶者亡き後のこと（子どもがおらず親族とも疎遠） 人生に希望が持てない時	22 件

環境・社会的制約

環境・社会的問題	16 件
<p>有田市の川や道のゴミ 買い物など近くにないので不便 交通に不便、乗り物がない 自然災害に遭ったとき 道が狭く、どうしても若い人たちが違う地区に新築するので若い人が少なくなってしまってる。</p>	

特に不幸と感じない

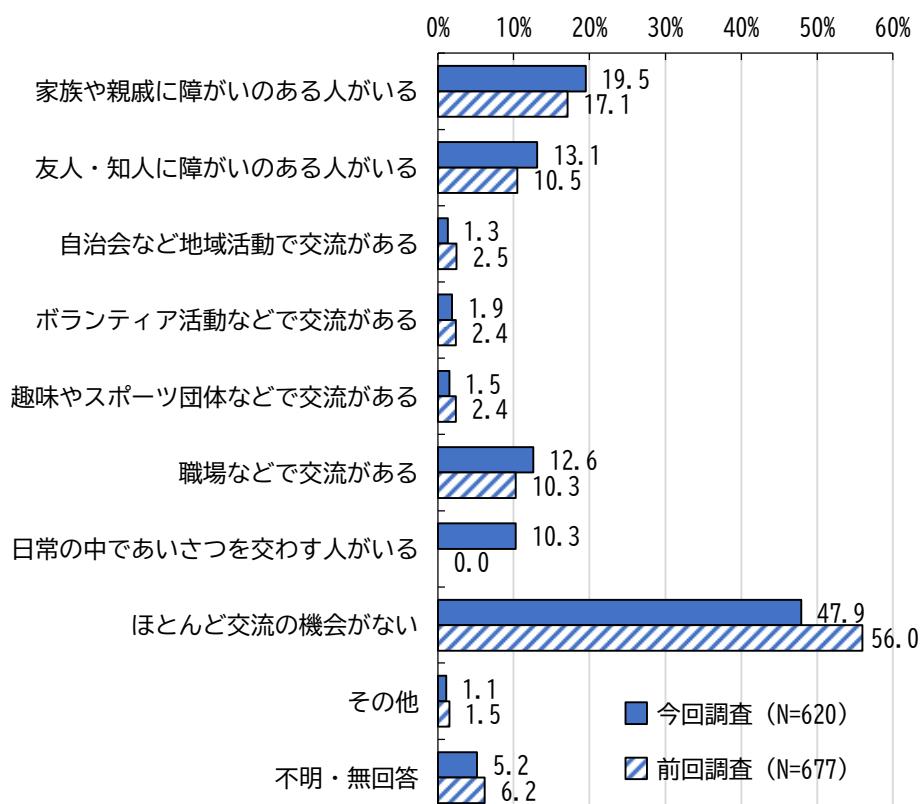
特になし・考えない	44 件
-----------	------

問7 あなたは日頃、障がいのある人と交流する機会がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある人との交流機会についてみると、「ほとんど交流の機会がない」が47.9%と最も高く、次いで「家族や親戚に障がいのある人がいる」が19.5%、「友人・知人に障がいのある人がいる」が13.1%となっています。

前回調査と比較すると、「日常の中であいさつを交わす人がいる」では10.3ポイント高くなっています。一方で「ほとんど交流の機会がない」が8.1ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「ほとんど交流の機会がない」が最も高く（男性 51.1%、女性 46.1%）、次いで「家族や親戚に障がいのある人がいる」が高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「ほとんど交流の機会がない」が最も高くなっています。特に『初島町地区』（53.7%）と『糸我町地区』（52.3%）で高い傾向にあります。「職場などで交流がある」は『箕島地区』（25.0%）で他地区より高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「ほとんど交流の機会がない」が最も高くなっています。特に『30歳代』（60.3%）で高い傾向にあります。「家族や親戚に障がいのある人がいる」は『60歳代』（26.2%）で比較的高く、「職場などで交流がある」は『50歳代』（23.5%）で高くなっています。

		家族や親戚に障がいのある人がいる	友人・知人に障がいのある人がいる	自治会など地域活動で交流がある	ボランティア活動などで交流がある	趣味やスポーツ団体などで交流がある	職場などで交流がある	日常の中であいさつを交わす人がいる	ほとんど交流の機会がない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	16.7	10.6	1.5	2.3	0.4	12.9	8.3	51.1	0.8	5.3
	女性(N=345)	21.2	14.5	1.2	1.7	2.3	12.2	11.6	46.1	1.2	5.2
初島町地区(N=54)		18.5	13.0	3.7	1.9	1.9	11.1	9.3	53.7	0.0	1.9
港地区(N=45)		22.2	11.1	0.0	4.4	4.4	15.6	6.7	40.0	4.4	6.7
箕島地区(N=56)		17.9	17.9	0.0	0.0	0.0	25.0	10.7	42.9	0.0	3.6
宮崎町地区(N=75)		25.3	13.3	0.0	2.7	1.3	8.0	8.0	48.0	2.7	8.0
保田地区(N=156)		16.0	13.5	1.3	1.9	0.0	14.1	11.5	46.8	1.3	6.4
宮原町地区(N=123)		20.3	13.8	0.8	0.0	3.3	12.2	9.8	49.6	0.8	4.1
糸我町地区(N=44)		18.2	15.9	6.8	2.3	0.0	6.8	11.4	52.3	0.0	0.0
中央地区(N=62)		19.4	6.5	0.0	4.8	1.6	8.1	14.5	50.0	0.0	6.5
年代別	10歳代(N=9)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	9.4	18.8	0.0	0.0	3.1	18.8	0.0	53.1	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	10.3	6.9	0.0	1.7	0.0	19.0	3.4	60.3	0.0	1.7
	40歳代(N=60)	21.7	20.0	0.0	0.0	0.0	21.7	3.3	45.0	0.0	1.7
	50歳代(N=102)	18.6	8.8	0.0	1.0	1.0	23.5	6.9	51.0	2.0	2.0
	60歳代(N=130)	26.2	10.8	1.5	1.5	0.0	13.8	6.9	47.7	0.0	1.5
	70歳以上(N=225)	18.7	16.0	2.7	3.6	3.1	2.2	18.7	43.6	2.2	11.6

世帯構成別でみると、ほとんどの世帯構成で「ほとんど交流の機会がない」が最も高くなっています。『兄弟や親戚と同居』世帯では「家族や親戚に障がいのある人がいる」(54.5%)が最も高くなっています。

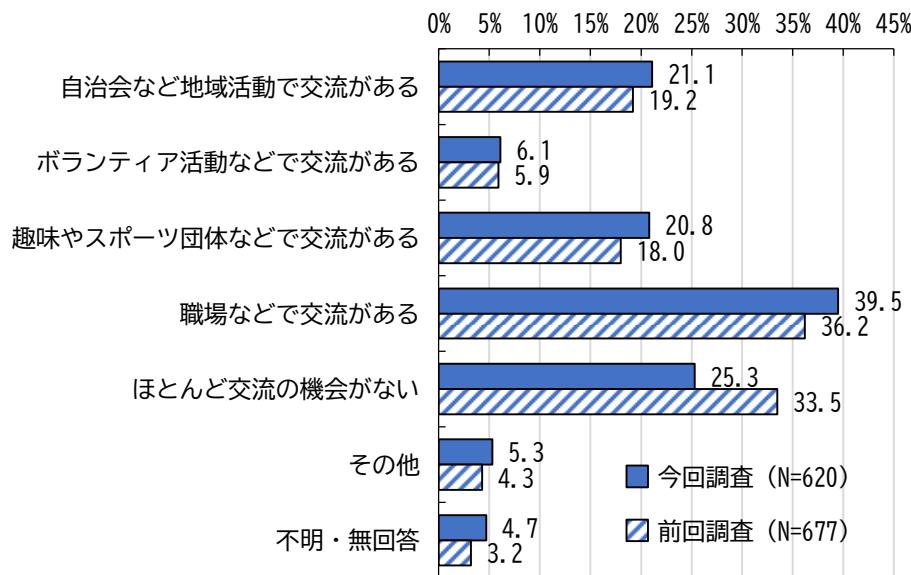
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「ほとんど交流の機会がない」が最も高くなっています。幸福度による大きな差はみられません。

		家族や親戚に障がいのある人がいる	友人・知人に障がいのある人がいる	自治会など地域活動で交流がある	ボランティア活動などで交流がある	趣味やスポーツ団体などで交流がある	職場などで交流がある	日常の中であいさつを交わす人がいる	ほとんど交流の機会がない	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	12.1	15.2	0.0	3.0	0.0	4.5	15.2	50.0	3.0	7.6
	夫婦のみの世帯(N=195)	16.9	11.8	1.5	1.5	3.1	10.8	10.8	50.3	1.0	6.2
	二世代家族世帯(N=261)	19.9	14.9	1.1	1.9	0.8	16.9	9.6	46.4	0.8	4.6
	三世代家族世帯(N=42)	21.4	9.5	2.4	4.8	0.0	11.9	9.5	47.6	0.0	2.4
	兄弟や親戚と同居(N=11)	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	21.0	12.8	1.3	1.0	1.3	12.8	8.2	48.9	0.7	2.3
	幸福度：平均以上(N=281)	18.9	13.9	1.4	3.2	1.4	13.5	12.1	50.5	1.1	2.8

問8 あなたは日頃、家族以外で異なる世代の人と交流する機会がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

家族以外の異世代との交流機会についてみると、「職場などで交流がある」が 39.5%と最も高く、次いで「ほとんど交流の機会がない」が 25.3%、「自治会など地域活動で交流がある」が 21.1%となっています。

前回調査と比較すると、「職場などで交流がある」では 3.3 ポイント高くなっています。一方で「ほとんど交流の機会がない」が 8.2 ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「職場などで交流がある」が最も高くなっています。『自治会など地域活動で交流がある』と『趣味やスポーツ団体などで交流がある』は『男性』(それぞれ 28.8%、26.9%) が『女性』(それぞれ 15.4%、16.5%) より高くなっています。

地区別でみると、多くの地区で「職場などで交流がある」が最も高くなっています。特に『港地区』(51.1%) と『保田地区』(45.5%) で高い傾向にあります。『初島町地区』では「ほとんど交流の機会がない」と「職場などで交流がある」(ともに 31.5%) が同率で高くなっています。

年代別でみると、『10 歳代』を除く年代で「職場などで交流がある」が最も高くなっています。特に『30 歳代』(70.7%) と『40 歳代』(71.7%) で顕著に高くなっています。『70 歳以上』では「ほとんど交流の機会がない」(31.6%) が最も高く、次いで「趣味やスポーツ団体などで交流がある」(27.1%) が高くなっています。

		自治会など 地域活動 で交流が ある	ボランティ ア活動など で交流が ある	趣味やス ポーツ団体 などで交流 がある	職場などで 交流があ る	ほとん ど交 流の機 会が ない	その 他	不明・無回 答
性 別	男性(N=264)	28.8	8.0	26.9	39.8	20.8	3.8	5.3
	女性(N=345)	15.4	4.9	16.5	39.4	28.7	6.1	4.3
地 区 別	初島町地区(N=54)	20.4	9.3	27.8	31.5	31.5	3.7	7.4
	港地区(N=45)	15.6	4.4	6.7	51.1	26.7	2.2	6.7
	箕島地区(N=56)	21.4	3.6	25.0	39.3	17.9	5.4	3.6
	宮崎町地区(N=75)	6.7	5.3	20.0	40.0	25.3	10.7	12.0
	保田地区(N=156)	28.2	6.4	16.7	45.5	21.2	4.5	3.8
	宮原町地区 (N=123)	21.1	4.9	25.2	38.2	28.5	4.1	0.8
	糸我町地区(N=44)	27.3	11.4	20.5	29.5	25.0	4.5	2.3
年 代 別	中央地区(N=62)	22.6	6.5	25.8	33.9	27.4	8.1	3.2
	10歳代(N=9)	0.0	0.0	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	9.4	0.0	21.9	68.8	12.5	3.1	0.0
	30歳代(N=58)	12.1	3.4	17.2	70.7	17.2	3.4	3.4
	40歳代(N=60)	15.0	3.3	18.3	71.7	15.0	3.3	1.7
	50歳代(N=102)	19.6	5.9	11.8	56.9	23.5	4.9	2.0
	60歳代(N=130)	23.8	3.8	20.8	43.1	25.4	5.4	3.1
	70歳以上(N=225)	25.8	9.8	27.1	8.9	31.6	6.7	8.9

世帯構成別でみると、『夫婦のみの世帯』では「趣味やスポーツ団体などで交流がある」(30.3%) が最も高く、その他の世帯構成では「職場などで交流がある」が最も高くなっています。特に『二世代家族世帯』(50.6%) で高い傾向にあります。

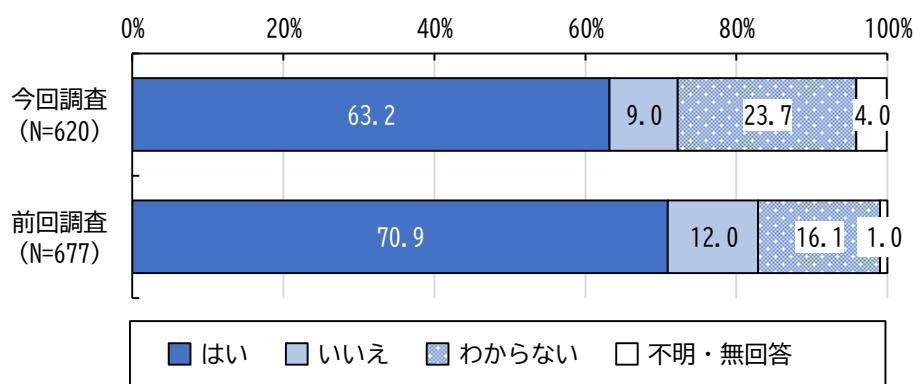
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「職場などで交流がある」が最も高くなっています。「ほとんど交流の機会がない」は『幸福度：平均以下』(28.5%) が『幸福度：平均以上』(23.1%) より 5.4 ポイント高くなっています。

		自治会など 地域活動 で交流が ある	ボランティ ア活動など で交流が ある	趣味やス ポーツ団体 などで交流 がある	職場などで 交流があ る	ほとん ど交 流の機 会が ない	その 他	不明・無回 答
世 帯 構 成	単身世帯(N=66)	16.7	4.5	18.2	33.3	25.8	10.6	9.1
	夫婦のみの世帯 (N=195)	25.6	8.2	30.3	28.7	24.1	4.1	4.1
	二世代家族世帯 (N=261)	18.0	5.0	14.6	50.6	25.3	4.6	4.2
	三世代家族世帯 (N=42)	28.6	7.1	28.6	42.9	21.4	2.4	4.8
	兄弟や親戚と同居 (N=11)	18.2	9.1	9.1	54.5	27.3	0.0	0.0
	友人や知人と同居 (N=3)	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
幸 福 度	幸福度：平均以下 (N=305)	19.7	5.9	20.0	42.0	28.5	4.3	2.3
	幸福度：平均以上 (N=281)	23.5	7.1	23.1	40.2	23.1	6.4	1.4

問9 あなたは、日常生活の中で趣味や生きがいがありますか。(ひとつに○)

趣味や生きがいについてみると、「はい」が63.2%と最も高く、次いで「わからない」が23.7%、「いいえ」が9.0%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」では7.6ポイント高くなっています。一方で「はい」が7.7ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「はい」が最も高く（男性65.5%、女性62.6%）、次いで「わからない」が高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「はい」が最も高くなっています。特に『宮原町地区』（72.4%）と『初島町地区』（70.4%）で高い傾向にあります。『宮崎町地区』では「はい」（53.3%）が他地区と比べて低くなっています。

		はい	いいえ	わからない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	65.5	10.6	20.5	3.4
	女性(N=345)	62.6	7.5	25.2	4.6
地区別	初島町地区(N=54)	70.4	3.7	22.2	3.7
	港地区(N=45)	66.7	6.7	22.2	4.4
	箕島地区(N=56)	58.9	12.5	23.2	5.4
	宮崎町地区(N=75)	53.3	13.3	25.3	8.0
	保田地区(N=156)	59.0	10.3	26.3	4.5
	宮原町地区(N=123)	72.4	6.5	20.3	0.8
	糸我町地区(N=44)	63.6	9.1	25.0	2.3
	中央地区(N=62)	62.9	9.7	22.6	4.8

年代別でみると、すべての年代で「はい」が最も高くなっています。特に『30歳代』(77.6%)、『10歳代』(77.8%)、『20歳代』(75.0%)の若年層で高い傾向にあります。『40歳代』と『50歳代』では「わからない」(それぞれ30.0%、28.4%)の割合が比較的高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「はい」が最も高くなっています。「はい」は『幸福度：平均以上』(72.6%)が『幸福度：平均以下』(58.0%)より14.6ポイント高く、「いいえ」は『幸福度：平均以下』(14.1%)が『幸福度：平均以上』(4.3%)より9.8ポイント高くなっています。

		はい	いいえ	わからない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	77.8	0.0	22.2	0.0
	20歳代(N=32)	75.0	3.1	21.9	0.0
	30歳代(N=58)	77.6	5.2	15.5	1.7
	40歳代(N=60)	58.3	10.0	30.0	1.7
	50歳代(N=102)	59.8	9.8	28.4	2.0
	60歳代(N=130)	61.5	13.1	23.8	1.5
	70歳以上(N=225)	61.3	8.4	21.8	8.4
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	58.0	14.1	26.6	1.3
	幸福度：平均以上(N=281)	72.6	4.3	21.7	1.4

問9で【1. はい】【2. いいえ】と回答した人におたずねします。

問9-1 趣味や生きがいをお持ちの方は、どのような趣味や生きがいをお持ちですか。お持ちでない方は、どのような趣味や生きがいを持ちたいですか。（自由にご記入ください。）

■アウトドア・スポーツ

項目	件数
スポーツ・運動全般	26
釣り	19
ゴルフ	16
ウォーキング・散策	11
体操・ストレッチ	8
スポーツ観戦	8
フィットネス・ヨガ	8
球技	7
アウトドア活動・登山	5
サイクリング・バイク	5
水泳・マリンスポーツ	4
チーム活動・競技	4
武道・格闘技	3
ランニング	2
その他運動関連	1

■家族・人間関係

項目	件数
家族との関わり	62
交友関係	21
対人交流	16
生活の姿勢・価値観	5

■農業・園芸

項目	件数
園芸・ガーデニング	31
家庭菜園	22
農業・農作業	16
植物栽培・果樹栽培	6
自然関連活動	3

■芸術・文化活動

項目	件数
読書・図書館利用	23
音楽関連	22
映像鑑賞・テレビ視聴	18
手芸・裁縫・クラフト	15
芸術創作・活動	12
楽器演奏・声楽	7
舞台鑑賞	6
書道・習字	5
文芸・文学	3
芸術鑑賞	2
その他文化活動	3

■旅行・お出かけ

項目	件数
旅行・観光	41
食事・外食・グルメ	19
ドライブ	10
買い物・カフェ巡り	5
温泉・温浴施設	5
散策・史跡巡り	3

■娯楽・エンタメ

項目	件数
映像鑑賞・テレビ視聴	18
ゲーム関連	12
カラオケ	8
ファン活動	6
アニメ・漫画	3
その他娯楽	5

■仕事・社会活動

項目	件数
仕事関連	23
地域・社会活動	15
学習・教養・自己啓発	9
イベント・組織参加	9

■健康・精神

項目	件数
健康維持	8
ストレス解消・精神活動	2
自己成長・達成感	2

■その他趣味

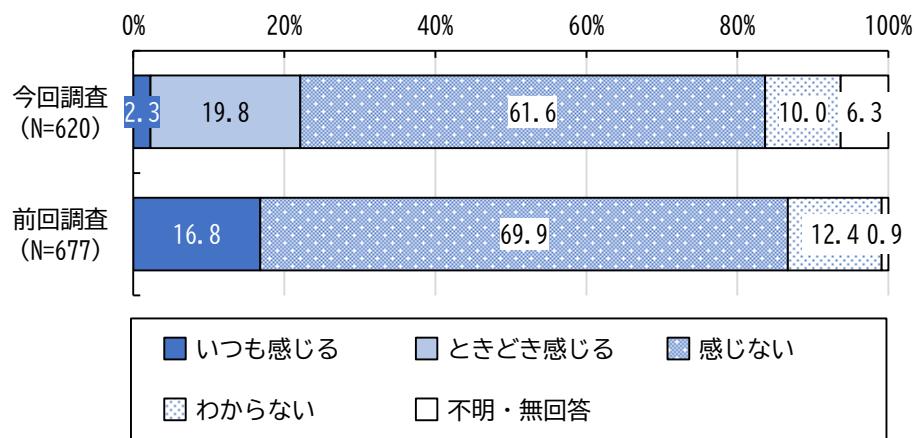
項目	件数
ペット飼育	10
料理・お菓子作り	7
趣味全般・希望	4
ものづくり・創作	4
通信・メディア	4
お酒・飲食関連	3
趣味・余暇活動	3
投資・ギャンブル	2
その他個人活動	6

■趣味なし・制約

項目	件数
趣味なし	9
趣味希望・将来の希望	5
経済的制約	4
高齢関連制約	3
その他制約	2

問10 あなたは、日常生活の中で孤立を感じることがありますか。(ひとつに○)

日常生活における孤立感についてみると、「感じない」が61.6%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が19.8%、「わからない」が10.0%となっています。



※今回調査では「いつも感じる」と「ときどき感じる」に細分化していますが、前回調査では「感じる」のみの選択肢でした。

クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「感じない」が最も高く（男性 66.3%、女性 58.3%）、次いで「ときどき感じる」が高くなっています。「ときどき感じる」は『女性』（23.2%）が『男性』（15.9%）より7.3ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「感じない」が最も高くなっています。特に『箕島地区』（66.1%）と『宮原町地区』（65.0%）で高い傾向にあります。「ときどき感じる」は『箕島地区』（25.0%）で最も高くなっています。

		いつも感じる	ときどき感じる	感じない	わからない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	1.9	15.9	66.3	9.5	6.4
	女性(N=345)	2.6	23.2	58.3	9.9	6.1
地区別	初島町地区(N=54)	3.7	20.4	57.4	14.8	3.7
	港地区(N=45)	2.2	22.2	60.0	8.9	6.7
	箕島地区(N=56)	3.6	25.0	66.1	1.8	3.6
	宮崎町地区(N=75)	0.0	17.3	57.3	16.0	9.3
	保田地区(N=156)	2.6	21.2	60.9	7.7	7.7
	宮原町地区(N=123)	1.6	17.9	65.0	9.8	5.7
	糸我町地区(N=44)	4.5	18.2	63.6	6.8	6.8
	中央地区(N=62)	1.6	17.7	59.7	16.1	4.8

年代別でみると、すべての年代で「感じない」が最も高くなっています。特に『10歳代』(77.8%)と『30歳代』(70.7%)で高い傾向にあります。「ときどき感じる」は『40歳代』(26.7%)と『50歳代』(24.5%)で比較的高くなっています。

世帯構成別でみると、すべての世帯構成で「感じない」が最も高くなっています。「ときどき感じる」は『単身世帯』(27.3%)と『兄弟や親戚と同居』世帯(36.4%)で他の世帯構成より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「感じない」が最も高くなっています。「感じない」は『幸福度：平均以上』(74.4%)が『幸福度：平均以下』(53.1%)より21.3ポイント高くなっています。一方、「ときどき感じる」は『幸福度：平均以下』(24.6%)が『幸福度：平均以上』(15.7%)より8.9ポイント高く、「いつも感じる」も『幸福度：平均以下』(4.3%)が『幸福度：平均以上』(0.4%)より3.9ポイント高くなっています。

		いつも感じ る	ときどき感 じる	感じない	わからない	不明・無回 答
年 代 別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0
	20歳代(N=32)	3.1	18.8	62.5	9.4	6.3
	30歳代(N=58)	1.7	12.1	70.7	12.1	3.4
	40歳代(N=60)	5.0	26.7	56.7	6.7	5.0
	50歳代(N=102)	1.0	24.5	60.8	11.8	2.0
	60歳代(N=130)	2.3	19.2	64.6	10.0	3.8
	70歳以上(N=225)	2.2	19.1	58.2	9.3	11.1
世 帯 構 成	単身世帯(N=66)	1.5	27.3	50.0	9.1	12.1
	夫婦のみの世帯 (N=195)	3.1	16.4	63.6	12.3	4.6
	二世代家族世帯 (N=261)	1.9	17.6	64.8	10.0	5.7
	三世代家族世帯 (N=42)	2.4	19.0	61.9	7.1	9.5
	兄弟や親戚と同居 (N=11)	0.0	36.4	54.5	9.1	0.0
幸 福 度	友人や知人と同居 (N=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	幸福度：平均以下 (N=305)	4.3	24.6	53.1	14.8	3.3
	幸福度：平均以上 (N=281)	0.4	15.7	74.4	5.7	3.9

問10で【1. いつも感じる】【2. ときどき感じる】と回答した人におたずねします。

問10-1 どのような時に孤立を感じますか。(自由にご記入ください。)

■物理的・時間的孤独

項目	件数
一人で過ごす時間があるとき	17
話し相手がいないとき	10
夜間や空き時間に一人でいるとき	4
やることがなく時間を持て余すとき	3

■人間関係の不足・希薄さ

項目	件数
相談できる人がいないと感じるとき	5
心を許せる人がいないとき	3
パートナー不在による孤独感	3

■所属感・一体感の欠如

項目	件数
周囲と考え方が合わないとき	15
地域になじめていないとき（転入者、地元出身でない）	6
地域の話題についていけないとき	6
自分だけが違うと感じるとき	4
所属コミュニティに参加できないとき	1

■サポート不足・負担感

項目	件数
家族に頼れないとき	9
重要な人と会えないとき	6
一人で責任を負うとき（育児、介護など）	5
助けてもらえないとき	2

■社会的状況による孤立

項目	件数
体調不良や病気による活動制限	11
仕事上の困難やストレスを感じるとき	5
職場での人間関係の問題	2
勤務形態による孤立（夜勤など）	1

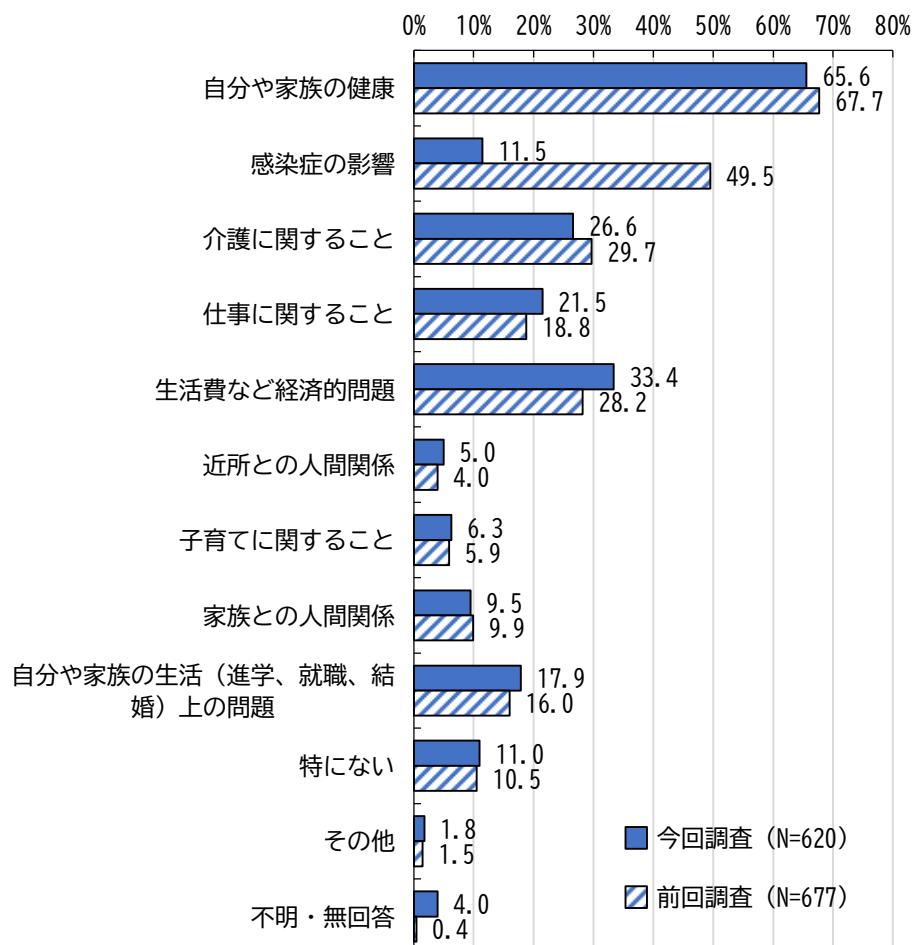
■外部要因による比較・孤立感

項目	件数
将来への不安を感じるとき	7
SNS で他者の充実した生活を見るとき	1
メディアを通じて理想的な家族像などと自分を比較するとき	1

問11 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに不安や悩みを感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

日常生活の不安や悩みについてみると、「自分や家族の健康」が 65.6% と最も高く、次いで「生活費など経済的問題」が 33.4%、「介護に関するこ」が 26.6% となっています。

前回調査と比較すると、「生活費など経済的問題」では 5.2 ポイント高くなっています。一方で「感染症の影響」が 38 ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「自分や家族の健康」が最も高く（男性 66.7%、女性 64.6%）、次いで「生活費など経済的問題」が高くなっています。「子育てに関するここと」は『女性』（8.1%）が『男性』（4.2%）より高く、「家族との人間関係」も『女性』（11.9%）が『男性』（6.4%）より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「自分や家族の健康」が最も高くなっています。特に『糸我町地区』（75.0%）と『中央地区』（72.6%）で高い傾向にあります。「介護に関するここと」は『初島町地区』（42.6%）で他地区より高く、「感染症の影響」は『港地区』（24.4%）で高くなっています。

		自分や家族の健康	感染症の影響	介護に関するここと	仕事に関するここと	生活費など経済的問題	近所との人間関係	子育てに関するここと	家族との人間関係
性別	男性(N=264)	66.7	8.7	24.2	23.1	30.7	5.3	4.2	6.4
	女性(N=345)	64.6	13.3	27.8	19.4	34.8	4.9	8.1	11.9
地区別	初島町地区(N=54)	66.7	13.0	42.6	29.6	35.2	5.6	5.6	11.1
	港地区(N=45)	66.7	24.4	24.4	20.0	31.1	0.0	2.2	8.9
	箕島地区(N=56)	62.5	12.5	26.8	14.3	26.8	5.4	7.1	12.5
	宮崎町地区(N=75)	52.0	5.3	18.7	14.7	37.3	4.0	4.0	6.7
	保田地区(N=156)	67.3	9.0	25.6	28.2	35.9	4.5	9.6	10.3
	宮原町地区(N=123)	64.2	13.0	25.2	23.6	38.2	6.5	8.1	10.6
	糸我町地区(N=44)	75.0	11.4	25.0	11.4	29.5	6.8	4.5	9.1
	中央地区(N=62)	72.6	11.3	29.0	16.1	21.0	4.8	1.6	4.8
		自分や家族の生活(進学、就職、結婚)上の問題	特にない	その他	不明・無回答				
性別	男性(N=264)	15.5	11.0	1.1	3.0				
	女性(N=345)	19.4	11.0	2.3	4.9				
地区別	初島町地区(N=54)	29.6	9.3	3.7	0.0				
	港地区(N=45)	17.8	13.3	2.2	4.4				
	箕島地区(N=56)	19.6	14.3	1.8	1.8				
	宮崎町地区(N=75)	8.0	10.7	2.7	9.3				
	保田地区(N=156)	19.9	12.8	0.6	4.5				
	宮原町地区(N=123)	20.3	8.1	0.8	3.3				
	糸我町地区(N=44)	15.9	9.1	2.3	2.3				
	中央地区(N=62)	9.7	11.3	3.2	4.8				

年代別でみると、『10歳代』を除くすべての年代で「自分や家族の健康」が最も高くなっています。『20歳代』と『30歳代』では「生活費など経済的問題」(それぞれ50.0%、55.2%)も同様に高くなっています。年代が下がるほど「仕事に関するこころ」の割合が高く、『30歳代』(43.1%)と『20歳代』(43.8%)で特に高くなっています。「子育てに関するこころ」は『30歳代』(24.1%)と『40歳代』(25.0%)で高くなっています。

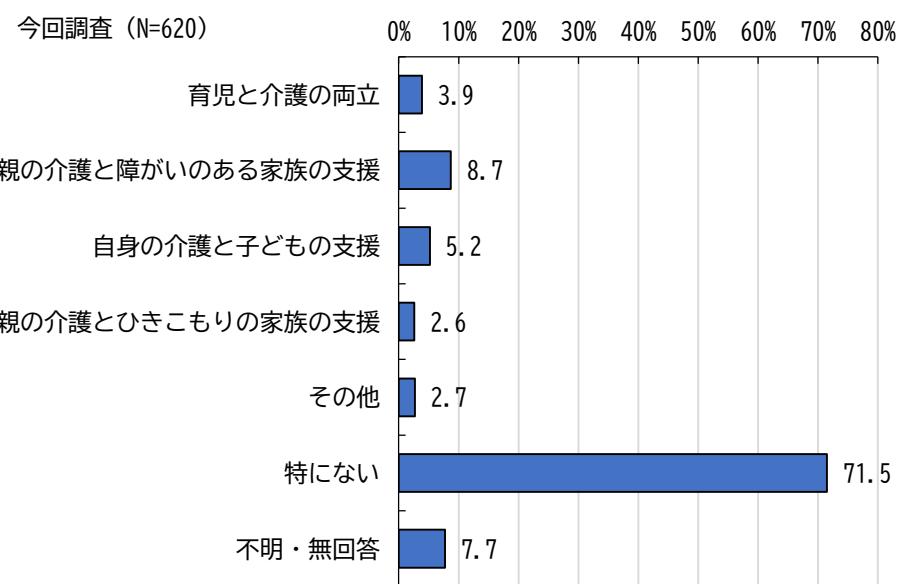
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「自分や家族の健康」が最も高くなっています。「生活費など経済的問題」は『幸福度：平均以下』(43.3%)が『幸福度：平均以上』(24.2%)より19.1ポイント高く、「家族との人間関係」も『幸福度：平均以下』(15.7%)が『幸福度：平均以上』(3.6%)より12.1ポイント高くなっています。一方、「特になし」は『幸福度：平均以上』(16.0%)が『幸福度：平均以下』(7.2%)より8.8ポイント高くなっています。

		自分や家族の健康	感染症の影響	介護に関するこころ	仕事に関するこころ	生活費など経済的問題	近所との人間関係	子育てに関するこころ	家族との人間関係
年代別	10歳代(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	50.0	9.4	3.1	43.8	50.0	0.0	3.1	12.5
	30歳代(N=58)	72.4	15.5	19.0	43.1	55.2	1.7	24.1	12.1
	40歳代(N=60)	56.7	16.7	30.0	36.7	41.7	1.7	25.0	10.0
	50歳代(N=102)	65.7	9.8	26.5	34.3	42.2	5.9	6.9	9.8
	60歳代(N=130)	66.9	7.7	30.8	14.6	30.0	7.7	0.0	14.6
	70歳以上(N=225)	69.3	12.4	29.3	7.6	22.2	5.8	0.4	5.8
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	69.2	10.8	28.5	26.2	43.3	7.5	6.6	15.7
	幸福度：平均以上(N=281)	65.1	12.8	25.6	17.8	24.2	2.5	6.8	3.6

		自分や家族の生活(進学、就職、結婚)上の問題	特になし	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	22.2	44.4	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	34.4	6.3	3.1	0.0
	30歳代(N=58)	25.9	5.2	0.0	1.7
	40歳代(N=60)	30.0	8.3	0.0	3.3
	50歳代(N=102)	28.4	8.8	1.0	4.9
	60歳代(N=130)	11.5	10.8	3.1	1.5
	70歳以上(N=225)	8.9	13.8	2.2	6.7
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	19.3	7.2	1.6	2.0
	幸福度：平均以上(N=281)	17.4	16.0	2.1	1.4

問12 ご家族で以下のような複数の課題に直面したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

家族における複合的課題の経験についてみると、「特にない」が71.5%と最も高く、次いで「親の介護と障がいのある家族の支援」が8.7%、「自身の介護と子どもの支援」が5.2%となっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「特にない」が最も高くなっています。「親の介護と障がいのある家族の支援」は『男性』(11.0%)が『女性』(6.7%)より高く、「育児と介護の両立」は『女性』(5.5%)が『男性』(1.9%)より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「特にない」が最も高くなっています。「親の介護と障がいのある家族の支援」は『初島町地区』(16.7%)と『糸我町地区』(13.6%)で他地区より高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「特にない」が最も高くなっています。『60歳代』では「親の介護と障がいのある家族の支援」(16.2%)が他の年代より高く、『70歳以上』では「自身の介護と子どもの支援」(10.2%)が高くなっています。「育児と介護の両立」は『40歳代』(8.3%)と『50歳代』(6.9%)で比較的高くなっています。

		育児と介護の両立	親の介護と障がいのある家族の支援	自身の介護と子どもの支援	親の介護とひきこもりの家族の支援	その他	特にない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	1.9	11.0	4.5	1.1	0.8	75.4	6.4
	女性(N=345)	5.5	6.7	5.5	3.2	4.1	69.6	8.7
地区別	初島町地区(N=54)	1.9	16.7	1.9	1.9	5.6	63.0	9.3
	港地区(N=45)	0.0	8.9	4.4	4.4	0.0	77.8	6.7
	箕島地区(N=56)	3.6	10.7	7.1	3.6	3.6	71.4	3.6
	宮崎町地区(N=75)	6.7	5.3	4.0	5.3	4.0	69.3	10.7
	保田地区(N=156)	5.1	7.7	3.8	1.3	3.2	72.4	7.7
	宮原町地区(N=123)	5.7	7.3	6.5	2.4	2.4	70.7	8.1
	糸我町地区(N=44)	0.0	13.6	4.5	2.3	2.3	68.2	9.1
年代別	中央地区(N=62)	1.6	4.8	8.1	1.6	0.0	79.0	6.5
	10歳代(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代(N=32)	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	90.6	0.0
	30歳代(N=58)	3.4	3.4	1.7	3.4	0.0	87.9	1.7
	40歳代(N=60)	8.3	8.3	3.3	6.7	1.7	76.7	1.7
	50歳代(N=102)	6.9	7.8	1.0	1.0	3.9	73.5	6.9
	60歳代(N=130)	5.4	16.2	3.8	3.1	2.3	62.3	9.2
	70歳以上(N=225)	1.3	6.2	10.2	2.2	4.0	66.2	12.0

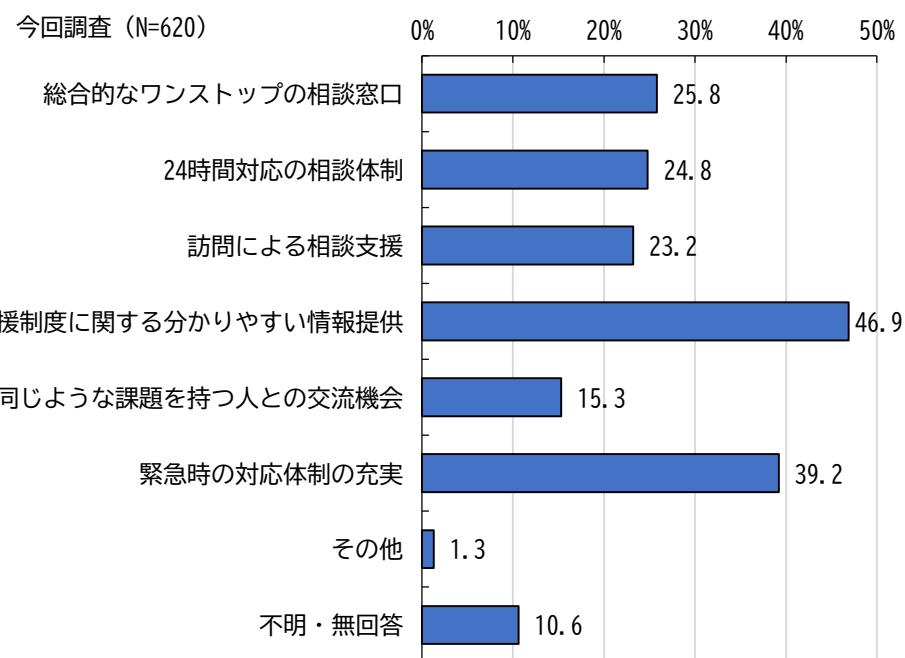
世帯構成別でみると、すべての世帯構成で「特にない」が最も高くなっています。「親の介護と障がいのある家族の支援」は『兄弟や親戚と同居』世帯（36.4%）で特に高くなっています。「育児と介護の両立」は『二世代家族世帯』（6.1%）で他の世帯構成より高い傾向にあります。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「特にない」が最も高くなっています。「特にない」は『幸福度：平均以上』（79.7%）が『幸福度：平均以下』（67.5%）より12.2ポイント高くなっています。一方、「親の介護と障がいのある家族の支援」は『幸福度：平均以下』（10.2%）が『幸福度：平均以上』（8.2%）より2.0ポイント高くなっています。

		育児と介護の両立	親の介護と障がいのある家族の支援	自身の介護と子どもの支援	親の介護とひきこもりの家族の支援	その他	特にない	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	0.0	10.6	7.6	3.0	0.0	69.7	12.1
	夫婦のみの世帯(N=195)	3.6	6.7	5.1	0.5	2.6	74.4	7.7
	二世代家族世帯(N=261)	6.1	8.8	3.8	3.1	2.7	73.9	5.7
	三世代家族世帯(N=42)	0.0	7.1	7.1	7.1	4.8	69.0	4.8
	兄弟や親戚と同居(N=11)	0.0	36.4	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	幸福度：平均以下(N=305)	5.2	10.2	5.9	3.3	3.6	67.5	7.2
幸福度	幸福度：平均以上(N=281)	2.5	8.2	4.6	2.1	1.8	79.7	2.8

問13 複数の課題を抱えた際に、どのような支援があると良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

複合的課題に対する望ましい支援についてみると、「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が 46.9% と最も高く、次いで「緊急時の対応体制の充実」が 39.2%、「総合的なワンストップの相談窓口」が 25.8% となっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が最も高く（男性 44.3%、女性 49.0%）、次いで「緊急時の対応体制の充実」が高くなっています。「訪問による相談支援」は『男性』（28.0%）が『女性』（19.7%）より 8.3 ポイント高くなっています。

地区別でみると、多くの地区で「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が最も高くなっています。特に『中央地区』（59.7%）で高い傾向にあります。『宮崎町地区』では「緊急時の対応体制の充実」（45.3%）が最も高くなっています。

年代別でみると、多くの年代で「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が最も高くなっています。『30 歳代』では「緊急時の対応体制の充実」（58.6%）が最も高く、次いで「支援制度に関する分かりやすい情報提供」（48.3%）が高くなっています。「24 時間対応の相談体制」は若年層（『20 歳代』37.5%、『30 歳代』41.4%）で高い傾向にあります。

		総合的なワンストップの相談窓口	24時間対応の相談体制	訪問による相談支援	支援制度に関する分かりやすい情報提供	同じような課題を持つ人との交流機会	緊急時の対応体制の充実	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	28.4	25.4	28.0	44.3	14.8	36.7	0.8	9.1
	女性(N=345)	23.8	24.9	19.7	49.0	15.7	41.4	1.7	11.3
地区別	初島町地区(N=54)	33.3	25.9	27.8	46.3	16.7	35.2	3.7	7.4
	港地区(N=45)	22.2	26.7	20.0	40.0	13.3	42.2	0.0	13.3
	箕島地区(N=56)	28.6	26.8	21.4	53.6	16.1	42.9	0.0	7.1
	宮崎町地区(N=75)	21.3	24.0	25.3	38.7	16.0	45.3	1.3	16.0
	保田地区(N=156)	29.5	25.0	20.5	46.2	19.2	37.8	0.6	12.2
	宮原町地区(N=123)	20.3	25.2	22.0	51.2	12.2	35.8	1.6	10.6
	糸我町地区(N=44)	27.3	27.3	31.8	31.8	11.4	38.6	0.0	2.3
	中央地区(N=62)	25.8	19.4	24.2	59.7	14.5	40.3	1.6	11.3
年代別	10歳代(N=9)	22.2	33.3	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	25.0	37.5	21.9	56.3	28.1	40.6	3.1	0.0
	30歳代(N=58)	25.9	41.4	25.9	48.3	15.5	58.6	0.0	3.4
	40歳代(N=60)	28.3	25.0	16.7	45.0	18.3	33.3	1.7	6.7
	50歳代(N=102)	34.3	26.5	19.6	53.9	14.7	47.1	2.0	7.8
	60歳代(N=130)	28.5	20.0	23.8	51.5	18.5	32.3	0.8	9.2
	70歳以上(N=225)	19.6	20.9	26.7	40.4	10.7	37.3	0.9	17.8

世帯構成別でみると、ほとんどの世帯構成で「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が最も高くなっています。『兄弟や親戚と同居』世帯では「緊急時の対応体制の充実」(63.6%)が最も高くなっています。「同じような課題を持つ人との交流機会」は『三世代家族世帯』(21.4%)で他の世帯構成より高い傾向にあります。

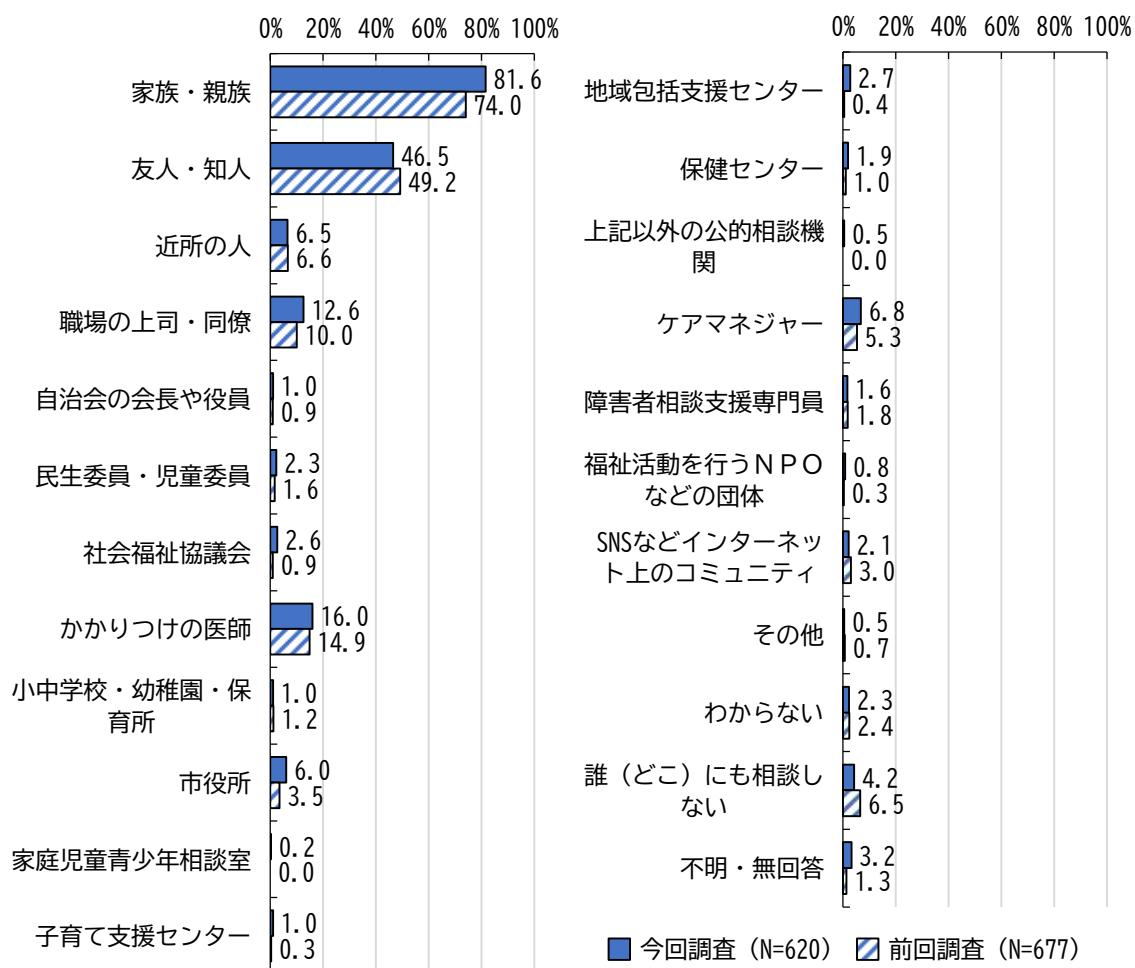
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「支援制度に関する分かりやすい情報提供」が最も高くなっています。「訪問による相談支援」は『幸福度：平均以上』(29.2%)が『幸福度：平均以下』(18.0%)より11.2ポイント高くなっています。

		総合的なワンストップの相談窓口	24時間対応の相談体制	訪問による相談支援	支援制度に関する分かりやすい情報提供	同じような課題を持つ人との交流機会	緊急時の対応体制の充実	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=66)	15.2	21.2	19.7	33.3	10.6	40.9	0.0	15.2
	夫婦のみの世帯(N=195)	26.2	23.6	24.1	44.6	14.9	36.9	0.5	10.3
	二世代家族世帯(N=261)	28.4	28.4	23.8	50.6	16.9	42.9	1.9	8.8
	三世代家族世帯(N=42)	14.3	14.3	21.4	52.4	21.4	21.4	4.8	16.7
	兄弟や親戚と同居(N=11)	27.3	18.2	27.3	27.3	18.2	63.6	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	26.9	25.6	18.0	47.9	16.1	39.3	1.3	6.9
	幸福度：平均以上(N=281)	25.6	24.9	29.2	48.4	15.3	40.9	1.4	10.0

問14 あなたの不安や悩みの相談先は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

不安や悩みの相談先についてみると、「家族・親族」が81.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が46.5%、「かかりつけの医師」が16.0%となっています。

前回調査と比較すると、「家族・親族」では7.6ポイント高くなっています。一方で「友人・知人」が2.7ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「家族・親族」が最も高く（男性 79.2%、女性 83.5%）、次いで「友人・知人」が高くなっています。「友人・知人」は『女性』（52.8%）が『男性』（37.9%）より 14.9 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「家族・親族」が最も高くなっています。特に『中央地区』（90.3%）で高い傾向にあります。「友人・知人」は『港地区』（57.8%）で最も高く、『中央地区』（33.9%）で最も低くなっています。

		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の上司・同僚	自治会の会長や役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	かかりつけの医師	小中学校・幼稚園・保育所	市役所	家庭児童青少年相談室	子育て支援センター
性別	男性(N=264)	79.2	37.9	5.7	14.0	1.9	3.0	3.0	17.8	0.4	6.8	0.4	0.8
	女性(N=345)	83.5	52.8	7.2	11.3	0.3	1.7	2.3	14.8	1.4	5.2	0.0	1.2
地区別	初島町地区(N=54)	83.3	50.0	11.1	13.0	0.0	0.0	3.7	16.7	0.0	3.7	0.0	0.0
	港地区(N=45)	77.8	57.8	8.9	20.0	0.0	6.7	2.2	15.6	0.0	8.9	0.0	0.0
	箕島地区(N=56)	82.1	53.6	3.6	12.5	0.0	5.4	3.6	21.4	0.0	5.4	1.8	0.0
	宮崎町地区(N=75)	74.7	44.0	5.3	10.7	1.3	1.3	0.0	16.0	1.3	5.3	0.0	1.3
	保田地区(N=156)	79.5	46.8	5.8	15.4	1.9	1.9	1.3	12.2	1.9	7.1	0.0	1.9
	宮原町地区(N=123)	85.4	45.5	7.3	13.8	0.8	0.8	3.3	15.4	0.8	3.3	0.0	0.8
	糸我町地区(N=44)	79.5	45.5	4.5	2.3	0.0	2.3	2.3	18.2	0.0	6.8	0.0	2.3
	中央地区(N=62)	90.3	33.9	6.5	8.1	0.0	1.6	4.8	21.0	1.6	8.1	0.0	0.0

		地域包括支援センター	保健センター	上記以外の公的相談機関	ケアマネジャー	障害者相談支援専門員	福祉活動を行うNPOなどの団体	SNSなどインターネット上のコミュニティ	その他	わからない	誰(どこ)にも相談しない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	3.0	2.3	0.4	6.4	1.5	0.8	2.3	1.1	4.5	4.5	2.3
	女性(N=345)	2.6	1.7	0.3	7.0	1.7	0.9	2.0	0.0	0.6	3.8	4.1
地区別	初島町地区(N=54)	1.9	3.7	1.9	7.4	0.0	1.9	1.9	1.9	3.7	1.9	0.0
	港地区(N=45)	2.2	4.4	0.0	8.9	4.4	0.0	4.4	0.0	2.2	2.2	4.4
	箕島地区(N=56)	3.6	0.0	0.0	10.7	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	3.6	1.8
	宮崎町地区(N=75)	1.3	1.3	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	4.0	6.7
	保田地区(N=156)	2.6	0.0	0.6	5.1	0.6	0.6	1.3	0.6	1.9	5.8	4.5
	宮原町地区(N=123)	4.9	3.3	0.0	4.9	3.3	0.0	0.8	0.8	1.6	4.9	1.6
	糸我町地区(N=44)	2.3	4.5	0.0	4.5	2.3	2.3	6.8	0.0	4.5	9.1	0.0
	中央地区(N=62)	0.0	1.6	0.0	6.5	1.6	1.6	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8

年代別でみると、すべての年代で「家族・親族」が最も高くなっています。「友人・知人」は若年層（『20歳代』75.0%、『30歳代』56.9%、『50歳代』56.9%）で高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。「かかりつけの医師」は『70歳以上』（26.2%）で他の年代より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「家族・親族」が最も高くなっています。「家族・親族」は『幸福度：平均以上』（89.0%）が『幸福度：平均以下』（78.7%）より10.3ポイント高くなっています。「誰（どこ）にも相談しない」は『幸福度：平均以下』（7.2%）が『幸福度：平均以上』（1.4%）より5.8ポイント高くなっています。

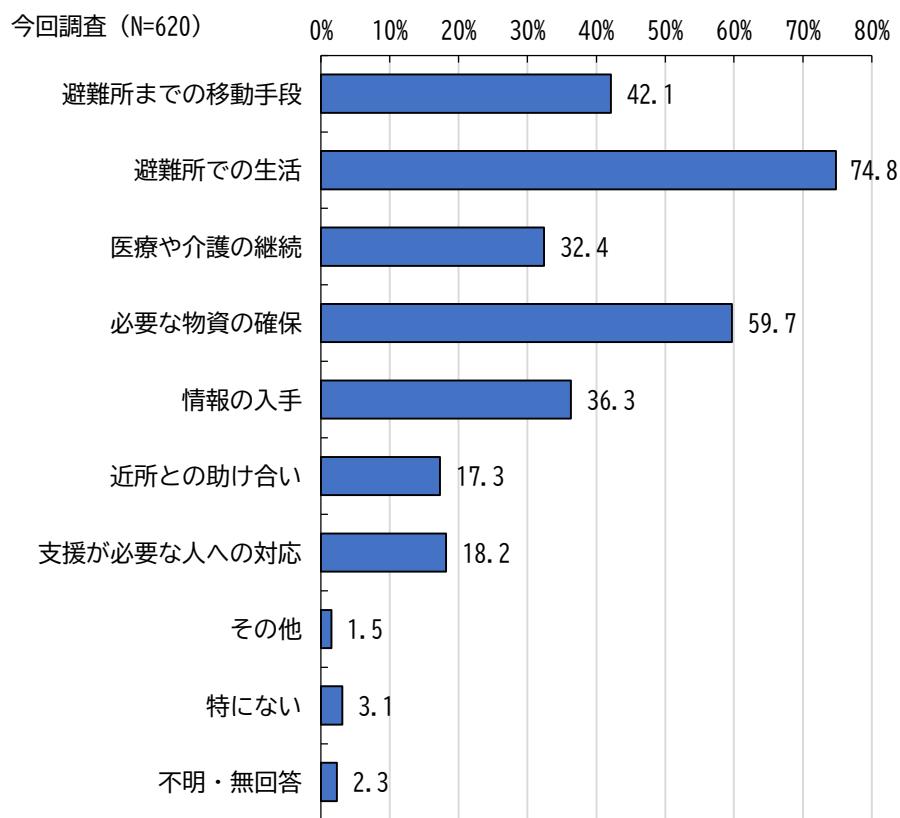
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の上司・同僚	自治会の会長や役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	かかりつけの医師	小中学校・幼稚園・保育所	市役所	家庭児童青少年相談室	子育て支援センター
年代別	10歳代（N=9）	88.9	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代（N=32）	78.1	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代（N=58）	86.2	56.9	3.4	24.1	0.0	0.0	0.0	6.9	6.9	1.7	0.0	8.6
	40歳代（N=60）	86.7	50.0	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	1.7	0.0	0.0
	50歳代（N=102）	81.4	56.9	6.9	19.6	1.0	2.0	0.0	15.7	0.0	4.9	0.0	0.0
	60歳代（N=130）	80.8	43.1	4.6	10.8	0.0	0.0	0.8	12.3	0.0	5.4	0.8	0.0
	70歳以上（N=225）	80.0	34.7	9.8	0.9	2.2	4.9	6.7	26.2	0.0	10.2	0.0	0.4
	幸福度：平均以下（N=305）	78.7	46.6	6.2	14.1	0.7	2.0	2.6	14.4	1.0	3.6	0.0	1.3
幸福度	幸福度：平均以上（N=281）	89.0	49.5	5.7	11.7	1.4	2.5	2.8	18.1	1.1	8.5	0.4	0.7

		地域包括支援センター	保健センター	上記以外の公的相談機関	ケアマネジャー	障害者相談支援専門員	福祉活動を行うNPOなどの団体	SNSなどインターネット上のコミュニティ	その他	わからない	誰（どこ）にも相談しない	不明・無回答
年代別	10歳代（N=9）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	20歳代（N=32）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	0.0
	30歳代（N=58）	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	1.7	3.4	3.4	1.7
	40歳代（N=60）	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	5.0	0.0	0.0	1.7	1.7
	50歳代（N=102）	0.0	1.0	0.0	8.8	0.0	1.0	1.0	0.0	2.9	7.8	2.9
	60歳代（N=130）	1.5	0.8	0.0	7.7	1.5	1.5	3.1	0.0	2.3	3.8	1.5
	70歳以上（N=225）	6.2	3.1	1.3	9.3	3.1	0.9	0.0	0.9	2.2	3.6	5.8
	幸福度：平均以下（N=305）	3.3	1.6	0.7	6.6	2.0	1.3	2.3	0.0	3.0	7.2	1.0
幸福度	幸福度：平均以上（N=281）	2.5	1.8	0.4	6.4	1.4	0.4	2.1	1.1	1.4	1.4	0.7

防災や減災対策について

問15 災害が発生した場合、不安に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

災害時の不安要素についてみると、「避難所での生活」が74.8%と最も高く、次いで「必要な物資の確保」が59.7%、「避難所までの移動手段」が42.1%となっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「避難所での生活」が最も高く(男性 70.1%、女性 78.0%)、次いで「必要な物資の確保」が高くなっています。「避難所までの移動手段」は『女性』(44.1%)が『男性』(39.4%)より高く、「医療や介護の継続」は『男性』(36.0%)が『女性』(29.3%)より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「避難所での生活」が最も高くなっています。『中央地区』(79.0%)で特に高い傾向にあります。「避難所までの移動手段」は『宮崎町地区』(56.0%)と『港地区』(53.3%)で他地区より高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「避難所での生活」が最も高くなっています。『20歳代』(84.4%)と『50歳代』(81.4%)で特に高い傾向にあります。「必要な物資の確保」は『20歳代』(68.8%)、『30歳代』(69.0%)、『40歳代』(66.7%)の若年層で高くなっています。「近所との助け合い」は『70歳以上』(26.7%)で他の年代より高くなっています。

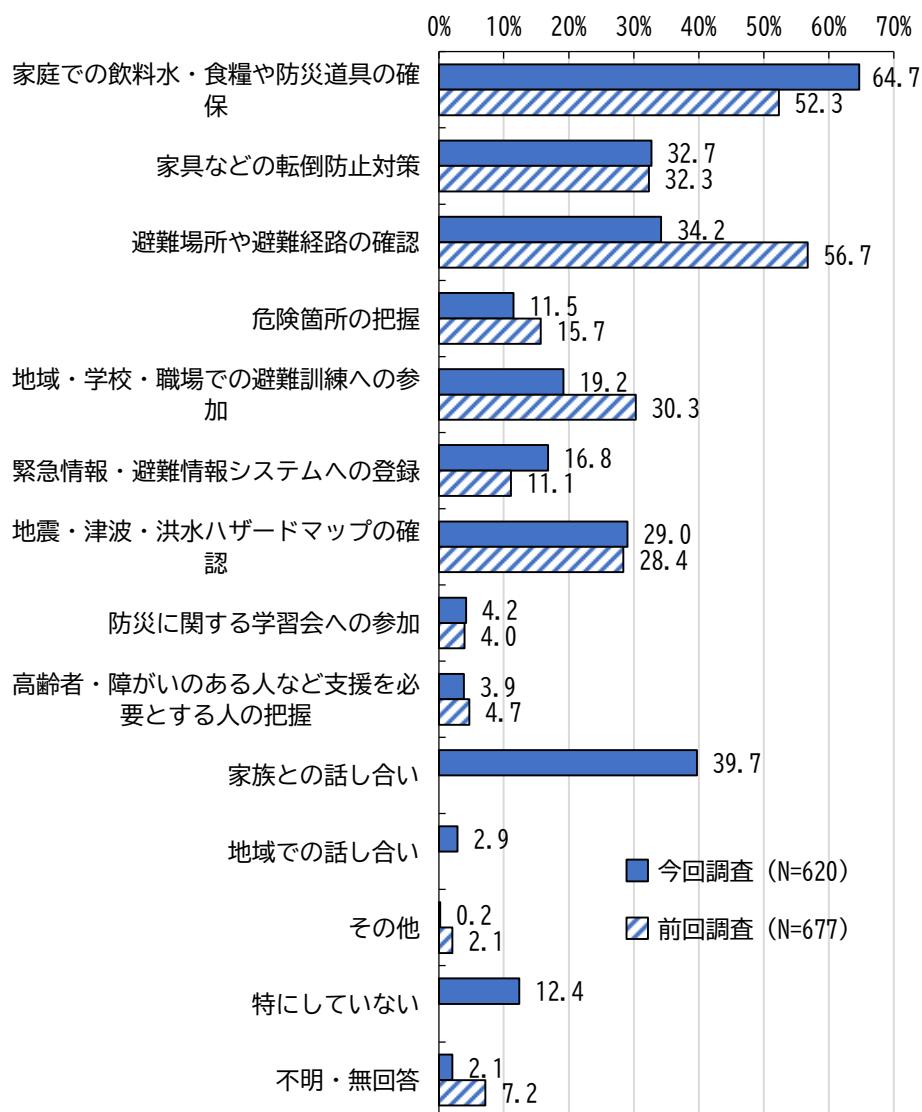
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「避難所での生活」が最も高くなっています。「避難所での生活」は『幸福度：平均以上』(76.9%)が『幸福度：平均以下』(73.4%)よりやや高い傾向にあります。「必要な物資の確保」も『幸福度：平均以上』(61.2%)が『幸福度：平均以下』(57.7%)より高くなっています。

		避難所までの移動手段	避難所での生活	医療や介護の継続	必要な物資の確保	情報の入手	近所との助け合い	支援が必要な人への対応	その他	特にない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	39.4	70.1	36.0	57.6	34.5	16.3	18.6	1.1	4.5	2.7
	女性(N=345)	44.1	78.0	29.3	61.2	37.4	18.3	17.4	1.7	2.0	1.7
地区別	初島町地区(N=54)	38.9	77.8	29.6	53.7	38.9	18.5	20.4	0.0	3.7	3.7
	港地区(N=45)	53.3	68.9	33.3	60.0	40.0	11.1	20.0	0.0	2.2	2.2
	箕島地区(N=56)	41.1	73.2	35.7	58.9	37.5	19.6	21.4	0.0	3.6	5.4
	宮崎町地区(N=75)	56.0	66.7	25.3	56.0	37.3	14.7	18.7	2.7	5.3	2.7
	保田地区(N=156)	39.7	75.6	30.8	63.5	33.3	15.4	18.6	2.6	2.6	1.9
	宮原町地区(N=123)	38.2	77.2	35.0	61.0	35.0	20.3	17.1	1.6	1.6	0.8
	糸我町地区(N=44)	36.4	75.0	34.1	59.1	38.6	20.5	6.8	0.0	4.5	0.0
	中央地区(N=62)	40.3	79.0	33.9	58.1	38.7	17.7	21.0	1.6	3.2	3.2
年代別	10歳代(N=9)	33.3	77.8	0.0	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	46.9	84.4	21.9	68.8	50.0	6.3	9.4	3.1	3.1	0.0
	30歳代(N=58)	46.6	75.9	27.6	69.0	46.6	12.1	24.1	3.4	1.7	0.0
	40歳代(N=60)	40.0	71.7	20.0	66.7	33.3	10.0	13.3	0.0	1.7	1.7
	50歳代(N=102)	37.3	81.4	33.3	56.9	32.4	12.7	20.6	1.0	3.9	2.9
	60歳代(N=130)	36.2	73.8	31.5	58.5	40.0	13.8	20.8	1.5	3.1	2.3
	70歳以上(N=225)	46.7	71.6	39.6	56.9	32.4	26.7	17.8	1.3	3.1	2.7
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	43.0	73.4	31.8	57.7	36.7	14.8	17.0	1.6	3.0	2.3
	幸福度：平均以上(N=281)	40.6	76.9	32.7	61.2	36.7	17.4	18.1	1.4	3.6	1.1

問16 あなたは、災害時の備えとして普段どのようなことをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

災害時の備えについてみると、「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」が 64.7% と最も高く、次いで「家族との話し合い」が 39.7%、「避難場所や避難経路の確認」が 34.2% となっています。

前回調査と比較すると、「家族との話し合い」では 39.7 ポイント高くなっています。一方で「避難場所や避難経路の確認」が 22.5 ポイント低くなっています。



※今回調査において「家族との話し合い」「地域での話し合い」「特にしていない」を新設

クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」が最も高く（男性 61.7%、女性 67.0%）、次いで「家族との話し合い」が高くなっています。「地震・津波・洪水ハザードマップの確認」は『男性』（33.0%）が『女性』（26.4%）より 6.6 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」が最も高くなっています。特に『中央地区』（79.0%）と『箕島地区』（75.0%）で高い傾向にあります。「避難場所や避難経路の確認」は『港地区』（46.7%）と『箕島地区』（46.4%）で高くなっています。

		家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保	家具などの転倒防止対策	避難場所や避難経路の確認	危険箇所の把握	地域・学校・職場での避難訓練への参加	緊急情報・避難情報システムへの登録	地震・津波・洪水ハザードマップの確認	防災に関する学習会への参加	高齢者・障がいのある人など支援を必要とする人の把握
性別	男性(N=264)	61.7	32.2	33.3	14.0	20.8	16.7	33.0	5.7	3.4
	女性(N=345)	67.0	33.3	35.1	9.3	18.3	16.8	26.4	3.2	4.1
地区別	初島町地区(N=54)	55.6	33.3	35.2	9.3	27.8	24.1	33.3	9.3	3.7
	港地区(N=45)	68.9	26.7	46.7	13.3	22.2	11.1	33.3	4.4	4.4
	箕島地区(N=56)	75.0	30.4	46.4	17.9	16.1	26.8	32.1	7.1	7.1
	宮崎町地区(N=75)	49.3	28.0	29.3	9.3	5.3	14.7	26.7	2.7	2.7
	保田地区(N=156)	67.9	32.1	33.3	10.9	17.9	11.5	26.9	2.6	3.8
	宮原町地区(N=123)	58.5	34.1	26.8	11.4	24.4	14.6	24.4	4.1	4.1
	糸我町地区(N=44)	68.2	31.8	29.5	11.4	9.1	15.9	29.5	6.8	4.5
	中央地区(N=62)	79.0	41.9	41.9	11.3	30.6	25.8	37.1	1.6	1.6

		家族との話し合い	地域での話し合い	その他	特にしている	不明・無回答
性別	男性(N=264)	40.2	3.8	0.0	12.9	2.3
	女性(N=345)	39.7	2.0	0.3	11.9	2.0
地区別	初島町地区(N=54)	46.3	5.6	0.0	11.1	3.7
	港地区(N=45)	42.2	2.2	0.0	13.3	0.0
	箕島地区(N=56)	35.7	3.6	0.0	10.7	3.6
	宮崎町地区(N=75)	42.7	2.7	0.0	18.7	2.7
	保田地区(N=156)	33.3	2.6	0.0	12.2	1.9
	宮原町地区(N=123)	42.3	2.4	0.8	14.6	1.6
	糸我町地区(N=44)	43.2	6.8	0.0	13.6	0.0
	中央地区(N=62)	40.3	0.0	0.0	3.2	3.2

年代別でみると、『20歳代』から『70歳以上』まですべての年代で「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」が最も高くなっています。特に『50歳代』(74.5%)で高い傾向にあります。「家族との話し合い」は『30歳代』(51.7%)で最も高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」が最も高くなっています。「家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保」は『幸福度：平均以上』(68.7%)が『幸福度：平均以下』(60.7%)より8.0ポイント高くなっています。

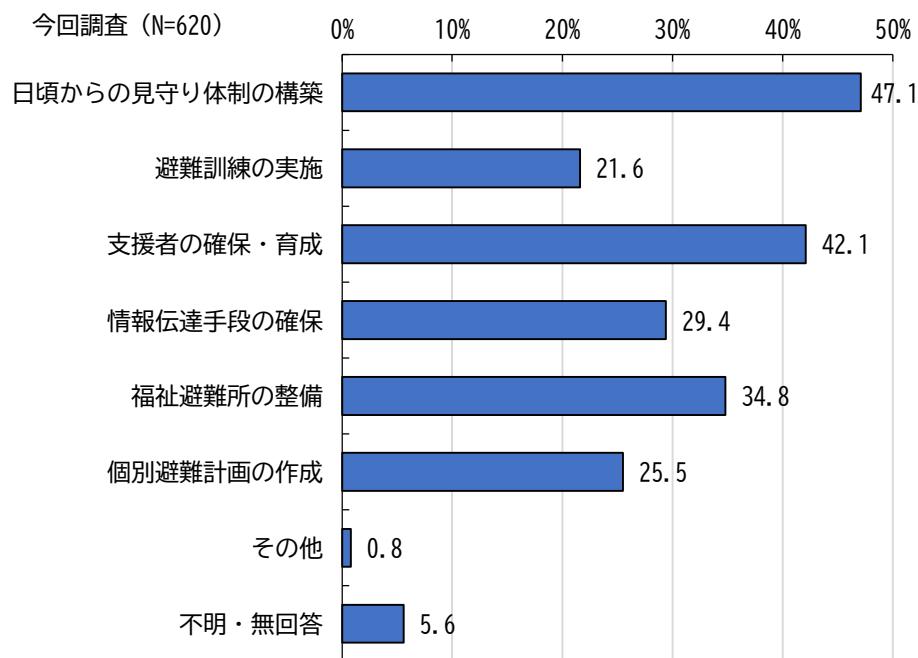
「地域・学校・職場での避難訓練への参加」も『幸福度：平均以上』(24.2%)が『幸福度：平均以下』(14.8%)より9.4ポイント高くなっています。

		家庭での飲料水・食糧や防災道具の確保	家具などの転倒防止対策	避難場所や避難経路の確認	危険箇所の把握	地域・学校・職場での避難訓練への参加	緊急情報・避難情報システムへの登録	地震・津波・洪水ハザードマップの確認	防災に関する学習会への参加	高齢者・障がいのある人など支援を必要とする人の把握
年代別	10歳代(N=9)	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	62.5	43.8	31.3	15.6	12.5	21.9	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	60.3	25.9	34.5	13.8	8.6	24.1	32.8	3.4	1.7
	40歳代(N=60)	58.3	30.0	28.3	3.3	3.3	8.3	16.7	3.3	3.3
	50歳代(N=102)	74.5	31.4	33.3	14.7	20.6	27.5	30.4	2.9	1.0
	60歳代(N=130)	66.2	39.2	34.6	9.2	19.2	16.9	30.8	5.4	3.8
	70歳以上(N=225)	63.6	31.6	36.4	12.4	26.7	11.6	32.0	4.9	6.7
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	60.7	29.8	32.5	10.5	14.8	16.1	27.2	3.9	3.0
	幸福度：平均以上(N=281)	68.7	35.2	35.2	11.7	24.2	17.8	32.0	4.3	4.6

		家族との話し合い	地域での話し合い	その他	特にしている	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	44.4	0.0	0.0	44.4	0.0
	20歳代(N=32)	28.1	0.0	0.0	18.8	0.0
	30歳代(N=58)	51.7	0.0	0.0	12.1	0.0
	40歳代(N=60)	33.3	1.7	1.7	15.0	1.7
	50歳代(N=102)	39.2	2.9	0.0	7.8	2.9
	60歳代(N=130)	34.6	2.3	0.0	13.1	2.3
	70歳以上(N=225)	43.1	4.9	0.0	11.6	2.2
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	37.4	2.6	0.3	13.4	2.0
	幸福度：平均以上(N=281)	42.7	2.8	0.0	11.0	1.1

問17 災害発生時に自ら避難することが困難で、特に支援を必要とする人について、どのような取り組みが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○)

避難困難者への必要な支援についてみると、「日頃からの見守り体制の構築」が47.1%と最も高く、次いで「支援者の確保・育成」が42.1%、「福祉避難所（一般避難所での生活が困難な方が、二次的に避難する施設）の整備」が34.8%となっています。



調査票上の選択肢

福祉避難所(一般避難所での生活が困難な方が、二次的に避難する施設)の整備

個別避難計画(一人で避難が難しい方のための、個々人の避難方法を記した計画)の作成

クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「日頃からの見守り体制の構築」が最も高く(男性 46.2%、女性 48.1%)、次いで「支援者の確保・育成」が高くなっています。「福祉避難所の整備」は『女性』(37.7%) が『男性』(30.3%) より 7.4 ポイント高く、「個別避難計画の作成」も『女性』(28.1%) が『男性』(21.2%) より 6.9 ポイント高くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「日頃からの見守り体制の構築」が最も高くなっています。特に『中央地区』(54.8%) と『糸我町地区』(54.5%) で高い傾向にあります。『宮崎町地区』では「支援者の確保・育成」(46.7%) が最も高くなっています。「個別避難計画の作成」は『港地区』(35.6%) と『初島町地区』(35.2%) で他地区より高くなっています。

		日頃からの見守り体制の構築	避難訓練の実施	支援者の確保・育成	情報伝達手段の確保	福祉避難所の整備	個別避難計画の作成	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	46.2	23.5	42.8	28.0	30.3	21.2	0.8	5.7
	女性(N=345)	48.1	19.7	40.9	30.1	37.7	28.1	0.9	5.8
地区別	初島町地区(N=54)	46.3	27.8	37.0	31.5	31.5	35.2	0.0	5.6
	港地区(N=45)	42.2	22.2	31.1	20.0	44.4	35.6	0.0	4.4
	箕島地区(N=56)	46.4	23.2	39.3	25.0	39.3	19.6	0.0	5.4
	宮崎町地区(N=75)	38.7	9.3	46.7	34.7	32.0	32.0	0.0	4.0
	保田地区(N=156)	47.4	26.3	45.5	25.6	32.1	25.0	1.9	7.1
	宮原町地区(N=123)	47.2	24.4	43.9	34.1	34.1	22.0	0.8	5.7
	糸我町地区(N=44)	54.5	29.5	36.4	29.5	31.8	6.8	0.0	0.0
	中央地区(N=62)	54.8	8.1	43.5	33.9	38.7	30.6	1.6	9.7

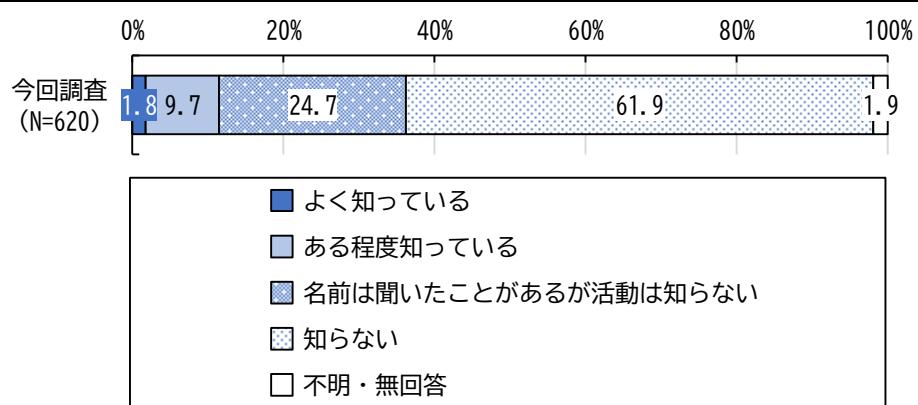
年代別でみると、『20歳代』と『40歳代』を除くすべての年代で「日頃からの見守り体制の構築」が最も高くなっています。『20歳代』では「情報伝達手段の確保」(46.9%)が、『40歳代』では「支援者の確保・育成」(46.7%)が最も高くなっています。『30歳代』では「日頃からの見守り体制の構築」と「支援者の確保・育成」(ともに53.4%)が同率で最も高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「日頃からの見守り体制の構築」が最も高くなっています。「日頃からの見守り体制の構築」は『幸福度：平均以上』(51.6%)が『幸福度：平均以下』(43.0%)より8.6ポイント高く、「避難訓練の実施」も『幸福度：平均以上』(26.3%)が『幸福度：平均以下』(17.7%)より8.6ポイント高くなっています。一方、「福祉避難所の整備」は『幸福度：平均以下』(37.7%)が『幸福度：平均以上』(32.0%)より5.7ポイント高くなっています。

		日頃からの見守り体制の構築	避難訓練の実施	支援者の確保・育成	情報伝達手段の確保	福祉避難所の整備	個別避難計画の作成	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	77.8	22.2	33.3	33.3	33.3	22.2	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	40.6	28.1	43.8	46.9	37.5	21.9	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	53.4	25.9	53.4	25.9	34.5	27.6	1.7	0.0
	40歳代(N=60)	33.3	26.7	46.7	23.3	30.0	26.7	3.3	3.3
	50歳代(N=102)	34.3	17.6	42.2	33.3	31.4	23.5	0.0	5.9
	60歳代(N=130)	53.8	17.7	46.2	29.2	36.2	25.4	0.8	4.6
	70歳以上(N=225)	50.7	22.7	35.6	28.0	36.0	26.7	0.4	8.9
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	43.0	17.7	42.0	29.2	37.7	26.9	1.0	4.6
	幸福度：平均以上(N=281)	51.6	26.3	43.1	31.3	32.0	24.2	0.7	5.3

問18 あなたは、有田市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターをご存じですか。(ひとつに○)

災害ボランティアセンターの認知度についてみると、「知らない」が61.9%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が24.7%、「ある程度知っている」が9.7%となっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「知らない」が最も高く（男性56.8%、女性65.2%）、次いで「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が高くなっています。「ある程度知っている」は『男性』（11.7%）が『女性』（8.4%）より3.3ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「知らない」が最も高くなっています。『箕島地区』（67.9%）と『保田地区』（65.4%）で特に高い傾向にあります。「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」は『宮原町地区』（31.7%）で他地区より高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	2.7	11.7	26.1	56.8	2.7
	女性(N=345)	1.2	8.4	23.8	65.2	1.4
地区別	初島町地区(N=54)	1.9	5.6	29.6	59.3	3.7
	港地区(N=45)	0.0	11.1	24.4	64.4	0.0
	箕島地区(N=56)	1.8	8.9	17.9	67.9	3.6
	宮崎町地区(N=75)	2.7	6.7	25.3	61.3	4.0
	保田地区(N=156)	1.9	10.3	20.5	65.4	1.9
	宮原町地区(N=123)	2.4	12.2	31.7	53.7	0.0
	糸我町地区(N=44)	2.3	9.1	25.0	63.6	0.0
	中央地区(N=62)	0.0	11.3	24.2	61.3	3.2

年代別でみると、すべての年代で「知らない」が最も高くなっています。特に『20歳代』(90.6%)、『40歳代』(78.3%)、『30歳代』(74.1%)の若年層で高い傾向にあります。「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」は『70歳以上』(31.6%)で最も高く、「ある程度知っている」も『70歳以上』(14.7%)で他の年代より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「知らない」が最も高くなっています。「知らない」は『幸福度：平均以下』(67.5%)が『幸福度：平均以上』(58.0%)より9.5ポイント高くなっています。一方、「よく知っている」と「ある程度知っている」は『幸福度：平均以上』(それぞれ3.6%、12.1%)が『幸福度：平均以下』(それぞれ0.3%、7.2%)より高くなっています。

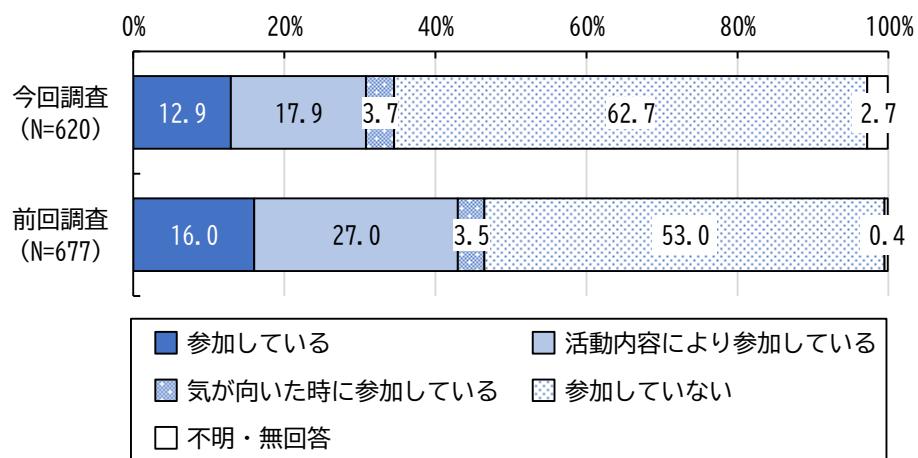
		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	11.1	0.0	11.1	77.8	0.0
	20歳代(N=32)	0.0	3.1	6.3	90.6	0.0
	30歳代(N=58)	0.0	1.7	24.1	74.1	0.0
	40歳代(N=60)	1.7	3.3	15.0	78.3	1.7
	50歳代(N=102)	1.0	12.7	19.6	64.7	2.0
	60歳代(N=130)	3.1	7.7	26.9	60.0	2.3
	70歳以上(N=225)	1.8	14.7	31.6	49.8	2.2
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	0.3	7.2	23.3	67.5	1.6
	幸福度：平均以上(N=281)	3.6	12.1	25.3	58.0	1.1

地域での助け合いについて

問19 あなたは、地域活動やボランティア活動に参加していますか。(ひとつに○)

地域活動・ボランティア活動への参加状況についてみると、「参加していない」が62.7%と最も高く、次いで「活動内容により参加している」が17.9%、「参加している」が12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」では9.7ポイント高くなっています。一方で「活動内容により参加している」が9.1ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「参加していない」が最も高くなっています。「参加していない」は『女性』(71.9%) が『男性』(49.6%) より 22.3 ポイント高くなっています。一方、「参加している」は『男性』(22.0%) が『女性』(6.4%) より 15.6 ポイント高く、「活動内容により参加している」も『男性』(20.8%) が『女性』(15.9%) より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっています。特に『港地区』(84.4%) と『箕島地区』(76.8%) で高い傾向にあります。「参加している」は『保田地区』(21.8%) で最も高く、「活動内容により参加している」は『糸我町地区』(27.3%) で高くなっています。

		参加してい る	活動内容 により参加 している	気が向い た時に参 加している	参加してい ない	不明・無回 答
性 別	男性(N=264)	22.0	20.8	4.5	49.6	3.0
	女性(N=345)	6.4	15.9	3.2	71.9	2.6
地 区 別	初島町地区(N=54)	14.8	20.4	7.4	53.7	3.7
	港地区(N=45)	4.4	11.1	0.0	84.4	0.0
	箕島地区(N=56)	3.6	12.5	1.8	76.8	5.4
	宮崎町地区(N=75)	6.7	22.7	2.7	64.0	4.0
	保田地区(N=156)	21.8	14.1	3.8	57.1	3.2
	宮原町地区 (N=123)	12.2	17.9	4.9	65.0	0.0
	糸我町地区(N=44)	15.9	27.3	2.3	54.5	0.0
	中央地区(N=62)	11.3	22.6	4.8	54.8	6.5

年代別でみると、すべての年代で「参加していない」が最も高くなっています。特に『20歳代』(81.3%)と『30歳代』(79.3%)の若年層で高い傾向にあります。「活動内容により参加している」は『60歳代』(27.7%)で最も高く、「参加している」は『40歳代』(15.0%)と『60歳代』(15.4%)で比較的高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「参加していない」が最も高くなっています。「参加していない」は『幸福度：平均以下』(65.9%)が『幸福度：平均以上』(60.1%)より5.8ポイント高くなっています。一方、「活動内容により参加している」は『幸福度：平均以上』(19.2%)が『幸福度：平均以下』(15.7%)より3.5ポイント高くなっています。

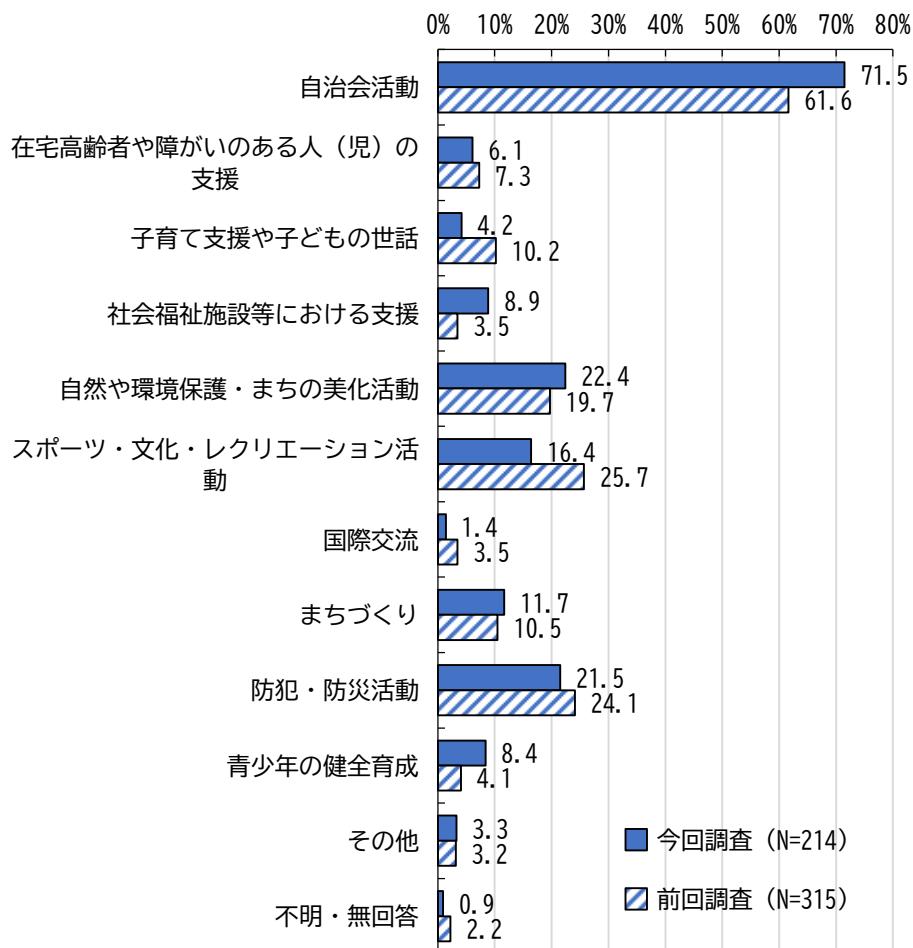
		参加している	活動内容により参加している	気が向いた時に参加している	参加していない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	0.0	33.3	11.1	55.6	0.0
	20歳代(N=32)	6.3	9.4	3.1	81.3	0.0
	30歳代(N=58)	8.6	6.9	5.2	79.3	0.0
	40歳代(N=60)	15.0	8.3	3.3	71.7	1.7
	50歳代(N=102)	11.8	13.7	2.0	69.6	2.9
	60歳代(N=130)	15.4	27.7	6.2	48.5	2.3
	70歳以上(N=225)	14.2	20.0	2.7	59.1	4.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	12.5	15.7	4.6	65.9	1.3
	幸福度：平均以上(N=281)	14.6	19.2	3.2	60.1	2.8

問19で【1. 参加している】【2. 活動内容により参加している】【3. 気が向いた時に参加している】と回答した人におたずねします。

問20 あなたが現在参加している活動も含め、これから参加するとすれば、どのような活動に参加したいですか。(主なもの3つまで○)

参加したい活動についてみると、「自治会活動」が71.5%と最も高く、次いで「自然や環境保護・まちの美化活動」が22.4%、「防犯・防災活動」が21.5%となっています。

前回調査と比較すると、「自治会活動」では9.9ポイント高くなっています。一方で「スポーツ・文化・レクリエーション活動」が9.3ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「自治会活動」が最も高く（男性 72.8%、女性 69.3%）、次いで「自然や環境保護・まちの美化活動」が高くなっています。「防犯・防災活動」は『男性』（24.8%）が『女性』（17.0%）より 7.8 ポイント高く、「まちづくり」も『男性』（15.2%）が『女性』（6.8%）より 8.4 ポイント高くなっています。

		自治会活動	在宅高齢者や障がいのある人（児）の支援	子育て支援や子どもとの世話	社会福祉施設等における支援	自然や環境保護・まちの美化活動	スポーツ・文化・レクリエーション活動	国際交流	まちづくり
性別	男性(N=125)	72.8	4.8	2.4	7.2	22.4	14.4	2.4	15.2
	女性(N=88)	69.3	8.0	6.8	11.4	22.7	19.3	0.0	6.8
地区別	初島町地区(N=23)	78.3	0.0	8.7	8.7	26.1	8.7	4.3	8.7
	港地区(N=7)	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3
	箕島地区(N=10)	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	40.0
	宮崎町地区(N=24)	58.3	8.3	8.3	8.3	25.0	20.8	4.2	12.5
	保田地区(N=62)	75.8	4.8	3.2	9.7	21.0	14.5	0.0	9.7
	宮原町地区(N=43)	69.8	7.0	2.3	7.0	23.3	23.3	0.0	7.0
	糸我町地区(N=20)	70.0	5.0	0.0	10.0	30.0	15.0	0.0	25.0
	中央地区(N=24)	83.3	8.3	4.2	12.5	20.8	12.5	0.0	4.2

		防犯・防災活動	青少年の健全育成	その他	不明・無回答
性別	男性(N=125)	24.8	9.6	4.0	0.8
	女性(N=88)	17.0	6.8	2.3	1.1
地区別	初島町地区(N=23)	21.7	4.3	0.0	0.0
	港地区(N=7)	28.6	14.3	0.0	14.3
	箕島地区(N=10)	30.0	30.0	0.0	0.0
	宮崎町地区(N=24)	12.5	0.0	8.3	4.2
	保田地区(N=62)	29.0	8.1	1.6	0.0
	宮原町地区(N=43)	16.3	7.0	4.7	0.0
	糸我町地区(N=20)	20.0	15.0	5.0	0.0
	中央地区(N=24)	12.5	8.3	4.2	0.0

※地区別については、サンプル数が少ない地区が多いため、分析文は割愛します。

年代別でみると、『40歳代』以上の年代で「自治会活動」が最も高くなっています。特に『40歳代』(81.3%)で高い傾向にあります。若年層では多様な活動への参加が見られますが、サンプル数が少ないと参考値として捉える必要があります。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「自治会活動」が最も高くなっています。「社会福祉施設等における支援」は『幸福度：平均以上』(11.5%)が『幸福度：平均以下』(5.0%)より6.5ポイント高く、「在宅高齢者や障がいのある人(児)の支援」も『幸福度：平均以上』(9.6%)が『幸福度：平均以下』(3.0%)より6.6ポイント高くなっています。

		自治会活動	在宅高齢者や障がいのある人(児)の支援	子育て支援や子どもとの世話	社会福祉施設等における支援	自然や環境保護・まちの美化活動	スポーツ・文化・レクリエーション活動	国際交流	まちづくり
年代別	10歳代(N=4)	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代(N=6)	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7
	30歳代(N=12)	41.7	0.0	16.7	8.3	8.3	25.0	8.3	33.3
	40歳代(N=16)	81.3	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3
	50歳代(N=28)	75.0	3.6	7.1	10.7	14.3	14.3	0.0	10.7
	60歳代(N=64)	75.0	3.1	4.7	3.1	21.9	17.2	0.0	12.5
	70歳以上(N=83)	77.1	10.8	1.2	12.0	26.5	13.3	0.0	9.6
幸福度	幸福度：平均以下(N=100)	75.0	3.0	4.0	5.0	19.0	16.0	2.0	15.0
	幸福度：平均以上(N=104)	68.3	9.6	4.8	11.5	24.0	16.3	1.0	8.7

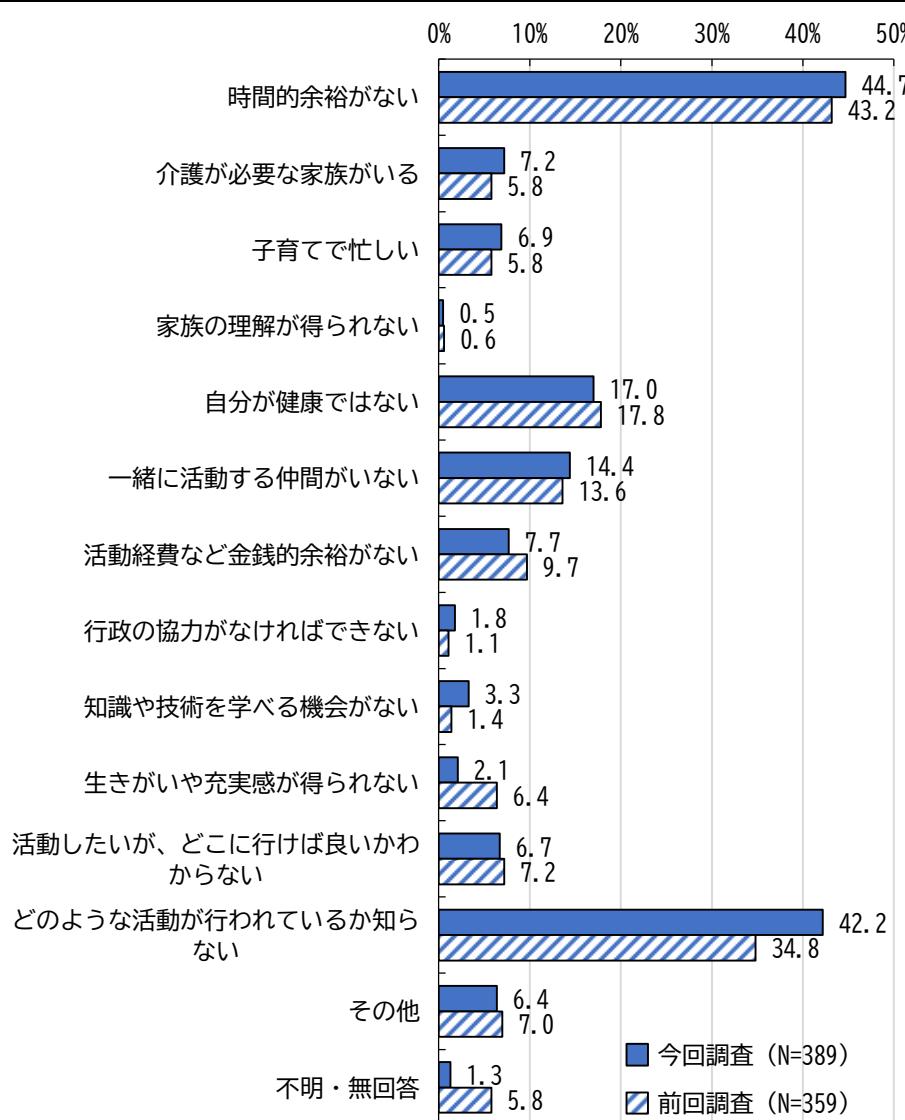
		防犯・防災活動	青少年の健全育成	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=4)	50.0	25.0	0.0	0.0
	20歳代(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=12)	0.0	8.3	16.7	0.0
	40歳代(N=16)	6.3	12.5	0.0	0.0
	50歳代(N=28)	21.4	14.3	3.6	0.0
	60歳代(N=64)	21.9	10.9	4.7	1.6
	70歳以上(N=83)	27.7	3.6	1.2	1.2
幸福度	幸福度：平均以下(N=100)	21.0	5.0	6.0	1.0
	幸福度：平均以上(N=104)	20.2	11.5	1.0	1.0

問19で【4. 参加していない】と回答した人におたずねします。

問21 活動に参加していない（しなくなった）理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

活動への不参加理由についてみると、「時間的余裕がない」が44.7%と最も高く、次いで「どのような活動が行われているか知らない」が42.2%、「自分が健康ではない」が17.0%となっています。

前回調査と比較すると、「どのような活動が行われているか知らない」では7.4ポイント高くなっています。一方で「生きがいや充実感が得られない」が4.3ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「時間的余裕がない」が最も高く（男性 44.3%、女性 44.8%）、次いで「どのような活動が行われているか知らない」が高くなっています。「子育てで忙しい」は『女性』（8.9%）が『男性』（2.3%）より 6.6 ポイント高く、「自分が健康ではない」も『女性』（19.0%）が『男性』（13.7%）より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「時間的余裕がない」が最も高く、次いで「どのような活動が行われているか知らない」が高くなっています。「どのような活動が行われているか知らない」は『糸我町地区』（54.2%）で特に高くなっています。

		時間的余裕がない	介護が必要な家族がいる	子育てで忙しい	家族の理解が得られない	自分が健康ではない	一緒に活動する仲間がない	活動経費など金銭的余裕がない	行政の協力がなければできない
性別	男性(N=131)	44.3	7.6	2.3	0.8	13.7	10.7	6.9	3.1
	女性(N=248)	44.8	6.0	8.9	0.0	19.0	15.7	7.7	1.2
地区別	初島町地区(N=29)	48.3	3.4	0.0	0.0	24.1	6.9	10.3	0.0
	港地区(N=38)	34.2	13.2	5.3	2.6	21.1	15.8	10.5	2.6
	箕島地区(N=43)	46.5	7.0	7.0	2.3	18.6	14.0	4.7	0.0
	宮崎町地区(N=48)	43.8	4.2	8.3	0.0	14.6	12.5	10.4	0.0
	保田地区(N=89)	51.7	6.7	7.9	0.0	14.6	15.7	4.5	0.0
	宮原町地区(N=80)	45.0	3.8	12.5	0.0	16.3	18.8	8.8	3.8
	糸我町地区(N=24)	37.5	4.2	0.0	0.0	16.7	12.5	8.3	4.2
	中央地区(N=34)	41.2	14.7	0.0	0.0	14.7	11.8	5.9	2.9

		知識や技術を学べる機会がない	生きがいや充実感が得られない	活動したいが、どこに行けば良いかわからない	どのような活動が行われているか知らない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=131)	2.3	2.3	6.1	45.0	9.2	1.5
	女性(N=248)	4.0	2.0	7.3	40.7	5.2	1.2
地区別	初島町地区(N=29)	0.0	0.0	3.4	44.8	13.8	0.0
	港地区(N=38)	5.3	7.9	10.5	47.4	7.9	0.0
	箕島地区(N=43)	2.3	2.3	0.0	39.5	7.0	0.0
	宮崎町地区(N=48)	0.0	4.2	4.2	43.8	8.3	2.1
	保田地区(N=89)	4.5	1.1	6.7	39.3	2.2	3.4
	宮原町地区(N=80)	3.8	1.3	8.8	41.3	6.3	0.0
	糸我町地区(N=24)	0.0	0.0	8.3	54.2	8.3	0.0
	中央地区(N=34)	2.9	0.0	11.8	32.4	5.9	2.9

年代別でみると、『70歳以上』を除くすべての年代で「時間的余裕がない」が最も高くなっています。特に『20歳代』(65.4%)、『50歳代』(64.8%)、『40歳代』(60.5%)で高い傾向にあります。『70歳以上』では「自分が健康ではない」(36.8%)が最も高く、「一緒に活動する仲間がない」(21.8%)も他の年代より高くなっています。「子育てで忙しい」は『30歳代』(28.3%)と『40歳代』(16.3%)で高くなっています。

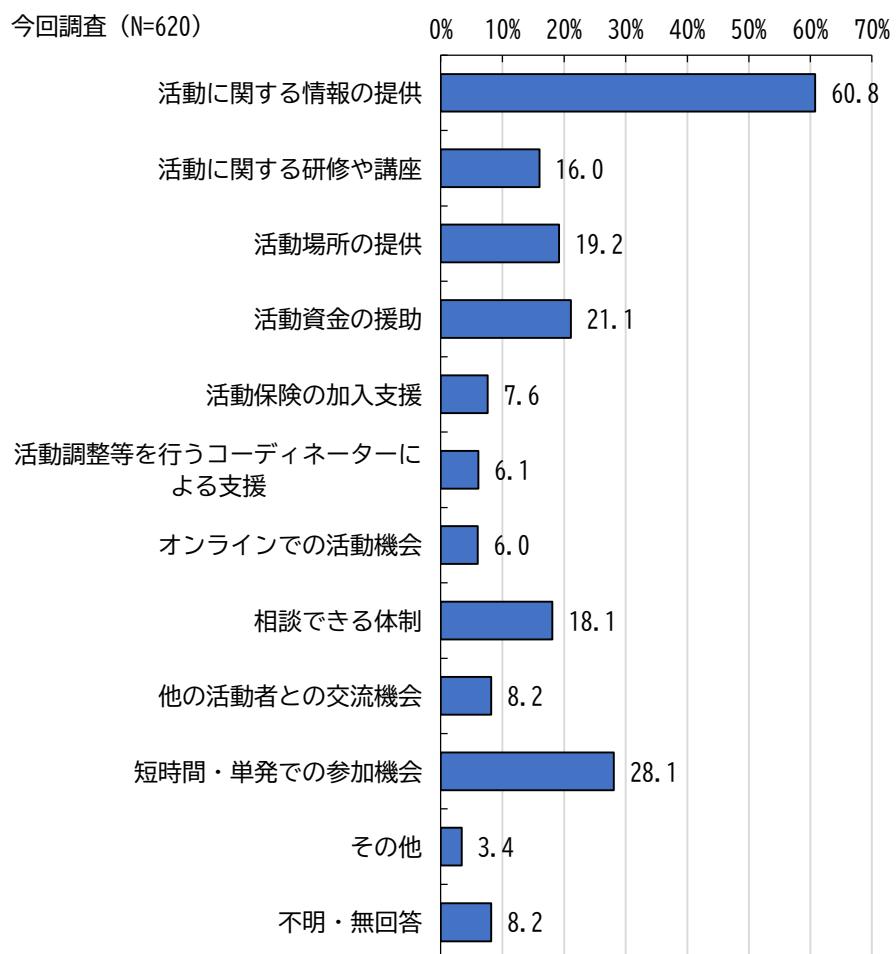
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「時間的余裕がない」が最も高く、次いで「どのような活動が行われているか知らない」が高くなっています。「活動経費など金銭的余裕がない」は『幸福度：平均以下』(10.4%)が『幸福度：平均以上』(4.1%)より6.3ポイント高くなっています。

		時間的余裕がない	介護が必要な家族がいる	子育てで忙しい	家族の理解が得られない	自分が健康ではない	一緒に活動する仲間がない	活動経費など金銭的余裕がない	行政の協力がなければできない
年代別	10歳代(N=5)	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	20歳代(N=26)	65.4	0.0	7.7	0.0	3.8	7.7	3.8	3.8
	30歳代(N=46)	56.5	2.2	28.3	0.0	6.5	4.3	8.7	0.0
	40歳代(N=43)	60.5	4.7	16.3	0.0	7.0	4.7	7.0	0.0
	50歳代(N=71)	64.8	2.8	5.6	0.0	9.9	9.9	8.5	1.4
	60歳代(N=63)	54.0	7.9	0.0	0.0	3.2	19.0	6.3	1.6
	70歳以上(N=133)	16.5	12.8	0.0	1.5	36.8	21.8	7.5	3.0
	幸福度：平均以下(N=201)	47.3	9.0	7.5	0.5	15.9	14.4	10.4	2.0
	幸福度：平均以上(N=169)	43.8	4.1	7.1	0.6	18.9	11.8	4.1	1.2

		知識や技術を学べる機会がない	生きがいや充実感が得られない	活動したいが、どこに行けば良いかわからない	どのような活動が行われているか知らない	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=5)	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
	20歳代(N=26)	3.8	3.8	3.8	46.2	11.5	0.0
	30歳代(N=46)	0.0	2.2	0.0	50.0	6.5	0.0
	40歳代(N=43)	0.0	0.0	11.6	53.5	2.3	0.0
	50歳代(N=71)	2.8	0.0	4.2	38.0	1.4	2.8
	60歳代(N=63)	0.0	3.2	9.5	47.6	7.9	1.6
	70歳以上(N=133)	7.5	3.0	8.3	33.1	8.3	1.5
	幸福度：平均以下(N=201)	3.0	2.0	7.5	42.3	5.5	1.0
	幸福度：平均以上(N=169)	3.0	2.4	5.3	42.0	7.7	1.8

問22 地域活動やボランティア活動に参加するために、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域・ボランティア活動参加のための支援ニーズについてみると、「活動に関する情報の提供」が60.8%と最も高く、次いで「短時間・単発での参加機会」が28.1%、「活動資金の援助」が21.1%となっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「活動に関する情報の提供」が最も高く（男性 58.7%、女性 62.0%）、次いで「短時間・単発での参加機会」が高くなっています。「活動資金の援助」は『男性』（27.3%）が『女性』（15.9%）より 11.4 ポイント高く、「短時間・単発での参加機会」は『女性』（31.3%）が『男性』（23.5%）より 7.8 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「活動に関する情報の提供」が最も高くなっています。特に『宮原町地区』（65.0%）で高い傾向にあります。「活動に関する研修や講座」は『中央地区』（22.6%）と『糸我町地区』（20.5%）で他地区より高くなっています。「活動場所の提供」は『港地区』（26.7%）と『初島町地区』（24.1%）で高い傾向にあります。「短時間・単発での参加機会」は『中央地区』（32.3%）、『宮原町地区』（31.7%）、『箕島地区』（30.4%）で比較的高くなっています。

		活動に関する情報の提供	活動に関する研修や講座	活動場所の提供	活動資金の援助	活動保険の加入支援	活動調整等を行うコーディネーターによる支援	オンラインでの活動機会	相談できる体制
性別	男性(N=264)	58.7	15.2	20.8	27.3	9.1	9.5	5.7	18.6
	女性(N=345)	62.0	16.2	18.0	15.9	6.1	3.8	6.1	16.5
地区別	初島町地区(N=54)	61.1	16.7	24.1	27.8	13.0	9.3	5.6	22.2
	港地区(N=45)	60.0	11.1	26.7	17.8	6.7	2.2	13.3	22.2
	箕島地区(N=56)	55.4	14.3	12.5	16.1	8.9	8.9	7.1	19.6
	宮崎町地区(N=75)	60.0	8.0	17.3	21.3	9.3	5.3	8.0	18.7
	保田地区(N=156)	60.3	18.6	19.9	22.4	9.0	4.5	4.5	20.5
	宮原町地区(N=123)	65.0	15.4	19.5	22.0	5.7	4.9	4.9	13.8
	糸我町地区(N=44)	59.1	20.5	18.2	18.2	6.8	4.5	4.5	13.6
	中央地区(N=62)	59.7	22.6	17.7	19.4	1.6	12.9	4.8	14.5

		他の活動者との交流機会	短時間・単発での参加機会	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	8.3	23.5	3.0	6.4
	女性(N=345)	8.1	31.3	3.5	9.9
地区別	初島町地区(N=54)	14.8	25.9	7.4	9.3
	港地区(N=45)	2.2	24.4	11.1	2.2
	箕島地区(N=56)	16.1	30.4	3.6	5.4
	宮崎町地区(N=75)	5.3	18.7	4.0	8.0
	保田地区(N=156)	6.4	30.1	1.3	10.3
	宮原町地区(N=123)	8.9	31.7	2.4	7.3
	糸我町地区(N=44)	11.4	25.0	0.0	4.5
	中央地区(N=62)	4.8	32.3	3.2	12.9

年代別でみると、すべての年代で「活動に関する情報の提供」が最も高くなっています。特に『40歳代』(70.0%)で高い傾向にあります。「短時間・単発での参加機会」は『30歳代』(34.5%)、『50歳代』(34.3%)、『60歳代』(32.3%)で高くなっています。「オンラインでの活動機会」は『30歳代』(19.0%)と『20歳代』(15.6%)の若年層で他の年代より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「活動に関する情報の提供」が最も高くなっています。「活動に関する情報の提供」は『幸福度：平均以上』(65.1%)が『幸福度：平均以下』(59.0%)より6.1ポイント高く、「活動場所の提供」も『幸福度：平均以上』(22.8%)が『幸福度：平均以下』(15.7%)より7.1ポイント高くなっています。一方、「オンラインでの活動機会」は『幸福度：平均以下』(8.5%)が『幸福度：平均以上』(3.2%)より5.3ポイント高くなっています。

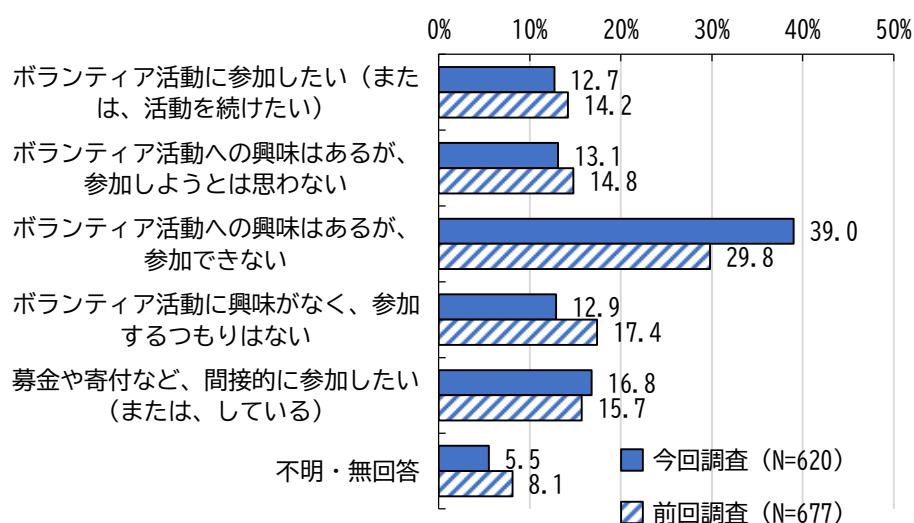
		活動に関する情報の提供	活動に関する研修や講座	活動場所の提供	活動資金の援助	活動保険の加入支援	活動調整等を行うコーディネーターによる支援	オンラインでの活動機会	相談できる体制
年代別	10歳代(N=9)	77.8	0.0	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
	20歳代(N=32)	68.8	6.3	21.9	21.9	3.1	6.3	15.6	6.3
	30歳代(N=58)	63.8	12.1	19.0	25.9	6.9	8.6	19.0	15.5
	40歳代(N=60)	70.0	15.0	13.3	16.7	0.0	0.0	8.3	11.7
	50歳代(N=102)	61.8	14.7	17.6	21.6	5.9	3.9	3.9	13.7
	60歳代(N=130)	63.8	20.8	16.9	27.7	7.7	10.0	5.4	16.9
	70歳以上(N=225)	53.8	16.9	21.8	16.9	11.1	6.2	2.2	24.4
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	59.0	16.7	15.7	22.0	7.9	5.2	8.5	16.7
	幸福度：平均以上(N=281)	65.1	15.3	22.8	21.0	6.4	6.8	3.2	18.1

		他の活動者との交流機会	短時間・単発での参加機会	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	22.2	33.3	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	6.3	34.4	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	10.3	34.5	1.7	0.0
	40歳代(N=60)	3.3	20.0	3.3	3.3
	50歳代(N=102)	6.9	34.3	0.0	7.8
	60歳代(N=130)	10.0	32.3	3.1	3.8
	70歳以上(N=225)	8.4	21.8	6.2	15.6
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	6.6	30.5	3.6	6.9
	幸福度：平均以上(N=281)	10.0	26.0	2.8	8.2

問23 あなたは、福祉の分野に限らず、ボランティア活動に興味や参加の意向がありますか。
(ひとつに○)

ボランティア活動への関心・参加意向についてみると、「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」が 39.0% と最も高く、次いで「募金や寄付など、間接的に参加したい（または、している）」が 16.8%、「ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない」が 13.1% となっています。

前回調査と比較すると、「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」では 9.2 ポイント高くなっています、一方で「ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない」が 4.5 ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」が最も高く（男性 36.0%、女性 40.6%）、次いで「募金や寄付など、間接的に参加したい（または、している）」が高くなっています。「ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない」は『男性』（17.0%）が『女性』（10.4%）より 6.6 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」が最も高くなっています。特に『港地区』（46.7%）、『糸我町地区』（45.5%）、『箕島地区』（44.6%）で高い傾向にあります。「ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない」は『中央地区』（17.7%）と『保田地区』（16.0%）で比較的高くなっています。「ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない」は『箕島地区』（19.6%）と『宮崎町地区』（18.7%）、『糸我町地区』（18.2%）で高くなっています。

		ボランティア活動に参加したい（または、活動を続けたい）	ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない	ボランティア活動への興味はあるが、参加できない	ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない	募金や寄付など、間接的に参加したい（または、している）	不明・無回答
	今回調査(N=620)	12.7	13.1	39.0	12.9	16.8	5.5
	前回調査(N=677)	14.2	14.8	29.8	17.4	15.7	8.1
性別	男性(N=264)	12.9	17.0	36.0	12.9	17.4	3.8
	女性(N=345)	13.0	10.4	40.6	12.8	16.2	7.0
地区別	初島町地区(N=54)	9.3	14.8	38.9	13.0	20.4	3.7
	港地区(N=45)	15.6	13.3	46.7	8.9	15.6	0.0
	箕島地区(N=56)	7.1	5.4	44.6	19.6	17.9	5.4
	宮崎町地区(N=75)	14.7	8.0	36.0	18.7	18.7	4.0
	保田地区(N=156)	13.5	16.0	38.5	9.6	16.0	6.4
	宮原町地区(N=123)	13.8	15.4	37.4	11.4	17.1	4.9
	糸我町地区(N=44)	11.4	6.8	45.5	18.2	13.6	4.5
	中央地区(N=62)	14.5	17.7	30.6	11.3	14.5	11.3

年代別でみると、すべての年代で「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」が最も高くなっています。特に『30歳代』(48.3%)と『70歳以上』(42.7%)で高い傾向にあります。

「ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない」は『60歳代』(23.1%)と『40歳代』(18.3%)で高くなっています。「ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない」は『20歳代』(21.9%)で他の年代より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」が最も高くなっています。「ボランティア活動への興味はあるが、参加できない」は『幸福度：平均以上』(41.6%)が『幸福度：平均以下』(36.4%)より5.2ポイント高くなっています。一方、「ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない」は『幸福度：平均以下』(15.1%)が『幸福度：平均以上』(10.7%)より4.4ポイント高くなっています。

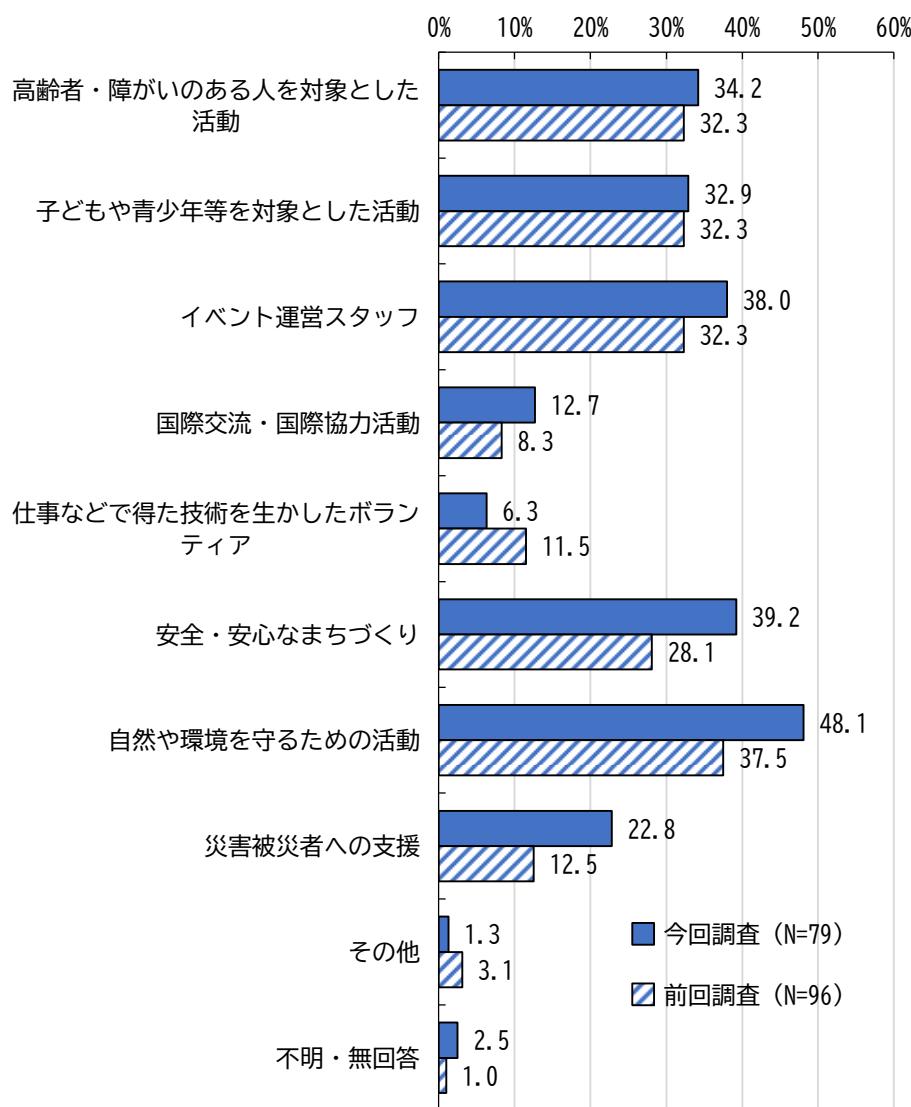
		ボランティア活動に参加したい（または、活動を続けたい）	ボランティア活動への興味はあるが、参加しようとは思わない	ボランティア活動への興味はあるが、参加できない	ボランティア活動に興味がなく、参加するつもりはない	募金や寄付など、間接的に参加したい（または、している）	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	22.2	0.0	55.6	11.1	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	12.5	6.3	34.4	21.9	25.0	0.0
	30歳代(N=58)	13.8	1.7	48.3	17.2	19.0	0.0
	40歳代(N=60)	13.3	18.3	36.7	18.3	11.7	1.7
	50歳代(N=102)	12.7	15.7	37.3	13.7	17.6	2.9
	60歳代(N=130)	12.3	23.1	30.8	11.5	19.2	3.1
	70歳以上(N=225)	12.4	8.9	42.7	9.8	14.7	11.6
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	12.1	15.1	36.4	15.1	17.7	3.6
	幸福度：平均以上(N=281)	12.5	11.4	41.6	10.7	17.4	6.4

問23で【1. ボランティア活動に参加したい（または、活動を続けたい）】と回答した人に
おたずねします。

問24 どのような活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

参加希望の活動内容についてみると、「自然や環境を守るための活動（清掃活動、リサイクル、動物保護など）」が48.1%と最も高く、次いで「安全・安心なまちづくり（防災活動、防犯、交通安全など）」が39.2%、「イベント運営スタッフ（イベント、まちづくり、地域の交流の場、サロンなど）」が38.0%となっています。

前回調査と比較すると、「安全・安心なまちづくり（防災活動、防犯、交通安全など）」では11.1ポイント高くなっています。一方で「仕事などで得た技術を生かしたボランティア（パソコン設定、無料相談など）」が5.2ポイント低くなっています。



※調査票上の選択肢：

高齢者・障がいのある人を対象とした活動（食事サービス、見守り、訪問活動、地域の人との交流の場づくり、社会参加支援、点訳、朗読、手話など）

子どもや青少年等を対象とした活動（レクリエーション活動、スポーツ教室やキャンプの支援、手作り工作など）

イベント運営スタッフ（イベント、まちづくり、地域の交流の場、サロンなど）

国際交流・国際協力活動（発展途上国への援助、日本にいる外国人への支援活動など）

仕事などで得た技術を生かしたボランティア（パソコン設定、無料相談など）

安全・安心なまちづくり（防災活動、防犯、交通安全など）

自然や環境を守るための活動（清掃活動、リサイクル、動物保護など）

災害被災者への支援（被災地活動、被災地への募金活動など）

クロス集計

男女別でみると、『男性』は「安全・安心なまちづくり」(52.9%)が最も高く、『女性』は「自然や環境を守るための活動」(53.3%)が最も高くなっています。「子どもや青少年等を対象とした活動」は『男性』(44.1%)が『女性』(24.4%)より19.7ポイント高く、「安全・安心なまちづくり」も『男性』(52.9%)が『女性』(28.9%)より24.0ポイント高くなっています。一方、「自然や環境を守るための活動」は『女性』(53.3%)が『男性』(41.2%)より12.1ポイント高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』は「自然や環境を守るための活動」(43.2%)が最も高く、『幸福度：平均以上』も「自然や環境を守るための活動」(57.1%)が最も高くなっています。

「子どもや青少年等を対象とした活動」は『幸福度：平均以上』(42.9%)が『幸福度：平均以下』(27.0%)より15.9ポイント高くなっています。「自然や環境を守るための活動」も『幸福度：平均以上』(57.1%)が『幸福度：平均以下』(43.2%)より13.9ポイント高くなっています。

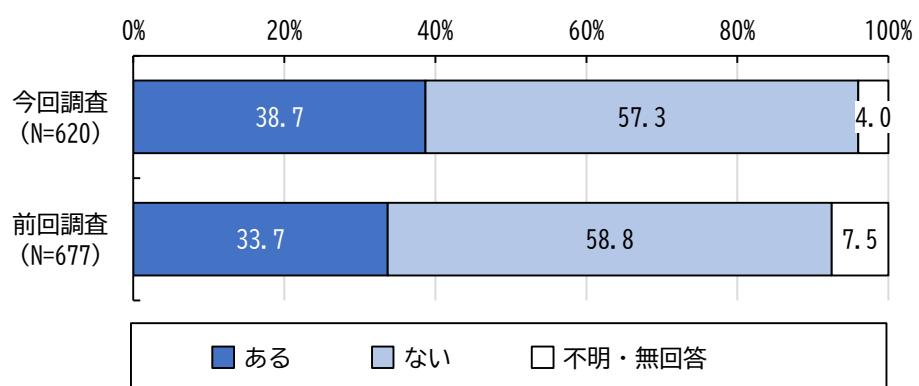
		高齢者・障がいのある人を対象とした活動	子どもや青少年等を対象とした活動	イベント運営スタッフ	国際交流・国際協力活動	仕事などで得た技術を生かしたボランティア	安全・安心なまちづくり	自然や環境を守るための活動	災害被災者への支援	その他	不明・無回答
性別	男性(N=34)	32.4	44.1	35.3	8.8	11.8	52.9	41.2	20.6	0.0	0.0
	女性(N=45)	35.6	24.4	40.0	15.6	2.2	28.9	53.3	24.4	2.2	4.4
地区別	初島町地区(N=5)	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	港地区(N=7)	42.9	42.9	42.9	28.6	14.3	28.6	57.1	42.9	0.0	0.0
	箕島地区(N=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	宮崎町地区(N=11)	18.2	18.2	36.4	9.1	0.0	27.3	63.6	9.1	0.0	0.0
	保田地区(N=21)	52.4	57.1	42.9	33.3	4.8	28.6	57.1	23.8	0.0	0.0
	宮原町地区(N=17)	11.8	29.4	23.5	0.0	5.9	41.2	47.1	35.3	0.0	5.9
	糸我町地区(N=5)	40.0	40.0	60.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	中央地区(N=9)	44.4	0.0	33.3	0.0	0.0	55.6	55.6	22.2	0.0	0.0
年齢別	10歳代(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代(N=4)	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=8)	37.5	50.0	62.5	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0
	40歳代(N=8)	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	37.5	62.5	25.0	0.0	12.5
	50歳代(N=13)	23.1	38.5	23.1	23.1	0.0	46.2	53.8	15.4	0.0	0.0
	60歳代(N=16)	50.0	37.5	43.8	6.3	12.5	25.0	37.5	25.0	6.3	6.3
	70歳以上(N=28)	35.7	25.0	32.1	7.1	7.1	42.9	53.6	25.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=37)	37.8	27.0	40.5	10.8	2.7	35.1	43.2	16.2	0.0	5.4
	幸福度：平均以上(N=35)	31.4	42.9	37.1	17.1	8.6	42.9	57.1	25.7	0.0	0.0

※地区別及び年代別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

問25 あなたは、現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に手助けしてほしいと思うことはありますか。(ひとつに○)

地域からの支援ニーズについてみると、「ない」が57.3%と最も高く、次いで「ある」が38.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ある」では5.0ポイント高くなっています。一方で「ない」が1.5ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「ない」が最も高くなっています。「ある」は『女性』(40.9%)が『男性』(36.7%)より4.2ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「ない」が最も高くなっています。「ある」は『中央地区』(45.2%)と『港地区』(42.2%)で高い傾向にあり、『箕島地区』(28.6%)で低くなっています。

		ある	ない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	36.7	60.2	3.0
	女性(N=345)	40.9	54.5	4.6
地区別	初島町地区(N=54)	38.9	59.3	1.9
	港地区(N=45)	42.2	57.8	0.0
	箕島地区(N=56)	28.6	66.1	5.4
	宮崎町地区(N=75)	38.7	58.7	2.7
	保田地区(N=156)	35.9	58.3	5.8
	宮原町地区(N=123)	40.7	54.5	4.9
	糸我町地区(N=44)	38.6	59.1	2.3
	中央地区(N=62)	45.2	50.0	4.8

年代別でみると、『30歳代』(51.7%)と『70歳以上』(42.7%)を除く年代で「ない」が最も高くなっています。『30歳代』では「ある」(51.7%)が最も高く、『70歳以上』でも「ある」(42.7%)が「ない」(49.3%)と近い値を示しています。「ある」は『30歳代』(51.7%)、『60歳代』(43.1%)、『70歳以上』(42.7%)で高く、『50歳代』(23.5%)と『20歳代』(25.0%)で低くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「ない」が最も高くなっています。「ある」は『幸福度：平均以下』(40.7%)が『幸福度：平均以上』(37.4%)よりやや高い傾向にあります。

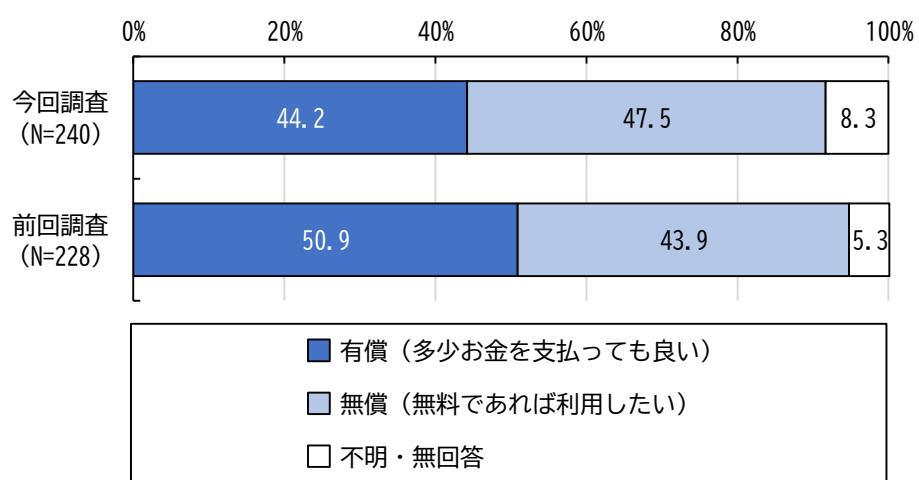
		ある	ない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	33.3	66.7	0.0
	20歳代(N=32)	25.0	75.0	0.0
	30歳代(N=58)	51.7	46.6	1.7
	40歳代(N=60)	36.7	61.7	1.7
	50歳代(N=102)	23.5	72.5	3.9
	60歳代(N=130)	43.1	56.2	0.8
	70歳以上(N=225)	42.7	49.3	8.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	40.7	57.4	2.0
	幸福度：平均以上(N=281)	37.4	58.0	4.6

問 25 で【1. ある】と回答した人におたずねします。

問 26 地域の人に手助けしてほしい時に、利用しやすい形態を教えてください。(ひとつに○)

地域支援の利用しやすい形態についてみると、「無償（無料であれば利用したい）」が47.5%と最も高く、次いで「有償（多少お金を支払っても良い）」が44.2%となっています。

前回調査と比較すると、「無償（無料であれば利用したい）」では3.6ポイント高くなっています。一方で「有償（多少お金を支払っても良い）」が6.7ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「無償（無料であれば利用したい）」が最も高くなっていますが、「有償（多少お金を支払っても良い）」も同程度の高さを示しています。「有償」は『男性』(48.5%) が『女性』(41.8%) より 6.7 ポイント高くなっています。

地区別でみると、地区によって傾向に差がみられます。『宮原町地区』(52.0%) と『中央地区』(50.0%)、『宮崎町地区』(48.3%) では「有償」が高く、『港地区』(63.2%) と『糸我町地区』(64.7%) では「無償」が高くなっています。

		有償(多少お金を支払っても良い)	無償(無料であれば利用したい)	不明・無回答
性別	男性(N=97)	48.5	46.4	5.2
	女性(N=141)	41.8	47.5	10.6
地区別	初島町地区(N=21)	42.9	42.9	14.3
	港地区(N=19)	31.6	63.2	5.3
	箕島地区(N=16)	43.8	50.0	6.3
	宮崎町地区(N=29)	48.3	41.4	10.3
	保田地区(N=56)	39.3	51.8	8.9
	宮原町地区(N=50)	52.0	36.0	12.0
	糸我町地区(N=17)	35.3	64.7	0.0
	中央地区(N=28)	50.0	46.4	3.6

年代別でみると、『40歳代』と『70歳以上』を除く年代で「無償」が高くなっています。特に『20歳代』では「無償」(100.0%)のみの回答となっています。『40歳代』では「有償」(63.6%)が「無償」(31.8%)より31.8ポイント高く、『70歳以上』でも「有償」(44.8%)が「無償」(36.5%)より高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』では「無償」(57.3%)が「有償」(37.9%)より19.4ポイント高くなっています。一方、『幸福度：平均以上』では「有償」(50.5%)が「無償」(39.0%)より11.5ポイント高くなっています。

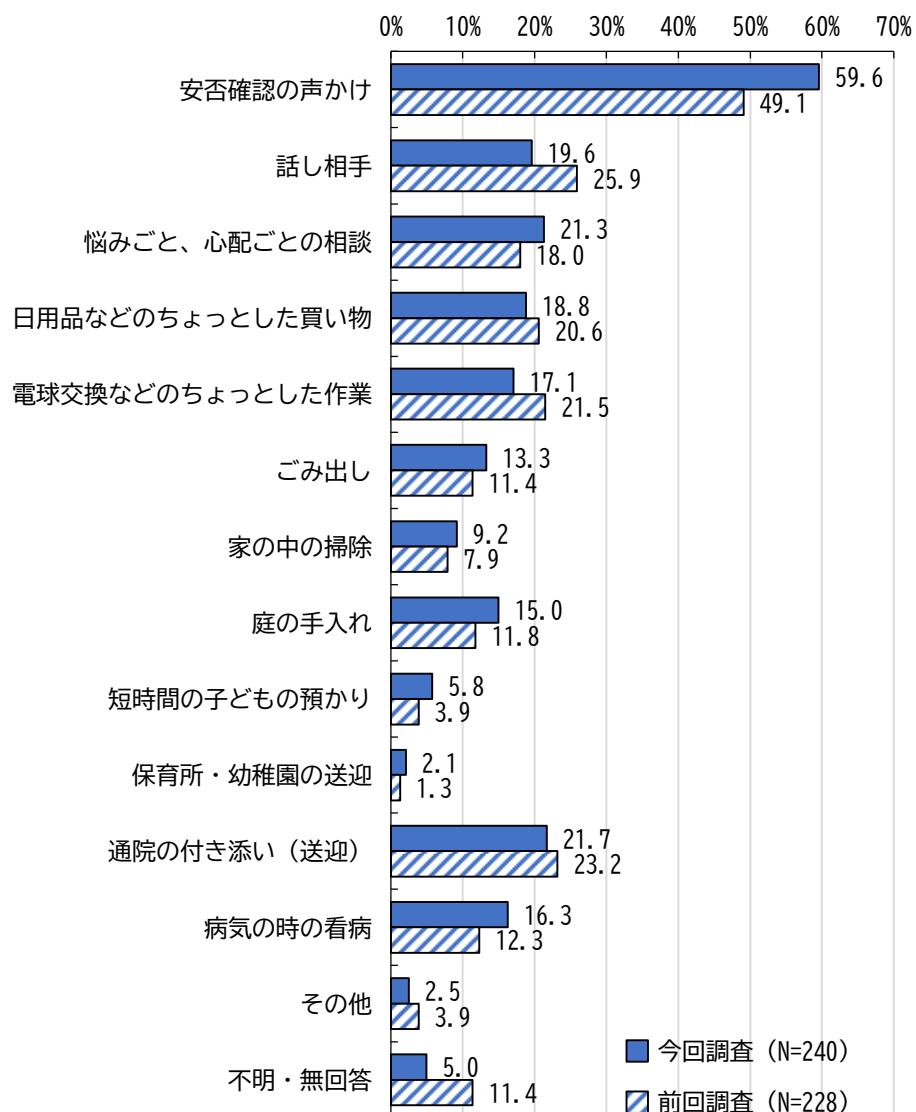
		有償(多少お金支払っても良い)	無償(無料であれば利用したい)	不明・無回答
年代別	10歳代(N=3)	33.3	66.7	0.0
	20歳代(N=8)	0.0	100.0	0.0
	30歳代(N=30)	43.3	56.7	0.0
	40歳代(N=22)	63.6	31.8	4.5
	50歳代(N=24)	37.5	62.5	0.0
	60歳代(N=56)	46.4	51.8	1.8
	70歳以上(N=96)	44.8	36.5	18.8
幸福度	幸福度：平均以下(N=124)	37.9	57.3	4.8
	幸福度：平均以上(N=105)	50.5	39.0	10.5

問25で【1. ある】と回答した人におたずねします。

問27 地域の人に手助けしてほしい内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

地域に求める支援内容についてみると、「安否確認の声かけ」が59.6%と最も高く、次いで「通院の付き添い（送迎）」が21.7%、「悩みごと、心配ごとの相談」が21.3%となっています。

前回調査と比較すると、「安否確認の声かけ」では10.5ポイント高くなっています。一方で「話し相手」が6.3ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「安否確認の声かけ」が最も高く（男性 60.8%、女性 58.9%）、次いで『男性』では「悩みごと、心配ごとの相談」（29.9%）、『女性』では「通院の付き添い（送迎）」（26.2%）が高くなっています。「悩みごと、心配ごとの相談」は『男性』（29.9%）が『女性』（15.6%）より 14.3 ポイント高く、「電球交換などのちょっとした作業」は『女性』（21.3%）が『男性』（11.3%）より 10.0 ポイント高くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。特に『港地区』（84.2%）と『糸我町地区』（70.6%）で高い傾向にあります。『初島町地区』では「庭の手入れ」（33.3%）が他地区より高く、『港地区』では「電球交換などのちょっとした作業」（42.1%）が特に高くなっています。

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	日用品などのちょっとした買い物	電球交換などのちょっとした作業	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ
性別	男性(N=97)	60.8	19.6	29.9	17.5	11.3	15.5	9.3	13.4
	女性(N=141)	58.9	19.9	15.6	19.9	21.3	12.1	9.2	16.3
地区別	初島町地区(N=21)	42.9	4.8	28.6	19.0	19.0	14.3	19.0	33.3
	港地区(N=19)	84.2	21.1	21.1	21.1	42.1	26.3	10.5	15.8
	箕島地区(N=16)	37.5	18.8	25.0	31.3	6.3	6.3	12.5	6.3
	宮崎町地区(N=29)	62.1	20.7	0.0	17.2	13.8	13.8	6.9	10.3
	保田地区(N=56)	64.3	21.4	21.4	12.5	12.5	12.5	1.8	19.6
	宮原町地区(N=50)	58.0	24.0	24.0	20.0	20.0	12.0	10.0	10.0
	糸我町地区(N=17)	70.6	17.6	29.4	17.6	5.9	5.9	17.6	17.6
	中央地区(N=28)	53.6	21.4	25.0	21.4	17.9	14.3	10.7	10.7

		短時間の子どもの預かり	保育所・幼稚園の送迎	通院の付き添い(送迎)	病気の時の看病	その他	不明・無回答
性別	男性(N=97)	8.2	4.1	15.5	16.5	2.1	5.2
	女性(N=141)	4.3	0.7	26.2	16.3	2.8	4.3
地区別	初島町地区(N=21)	9.5	4.8	9.5	14.3	0.0	4.8
	港地区(N=19)	10.5	5.3	21.1	26.3	5.3	0.0
	箕島地区(N=16)	0.0	0.0	25.0	31.3	6.3	12.5
	宮崎町地区(N=29)	0.0	0.0	24.1	24.1	3.4	0.0
	保田地区(N=56)	5.4	1.8	19.6	3.6	0.0	7.1
	宮原町地区(N=50)	14.0	4.0	24.0	18.0	2.0	4.0
	糸我町地区(N=17)	0.0	0.0	23.5	29.4	5.9	0.0
	中央地区(N=28)	0.0	0.0	25.0	10.7	0.0	7.1

年代別でみると、『10歳代』を除くすべての年代で「安否確認の声かけ」が高くなっています。特に『60歳代』(69.6%)と『50歳代』(66.7%)で高い傾向にあります。「話し相手」は『30歳代』(33.3%)と『20歳代』(37.5%)の若年層で高くなっています。「短時間の子どもの預かり」は『30歳代』(20.0%)と『40歳代』(18.2%)の子育て世代で高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。「安否確認の声かけ」は『幸福度：平均以上』(66.7%)が『幸福度：平均以下』(54.0%)より12.7ポイント高くなっています。「ごみ出し」は『幸福度：平均以下』(16.9%)が『幸福度：平均以上』(7.6%)より9.3ポイント高く、「家の中の掃除」も『幸福度：平均以下』(12.1%)が『幸福度：平均以上』(5.7%)より6.4ポイント高くなっています。

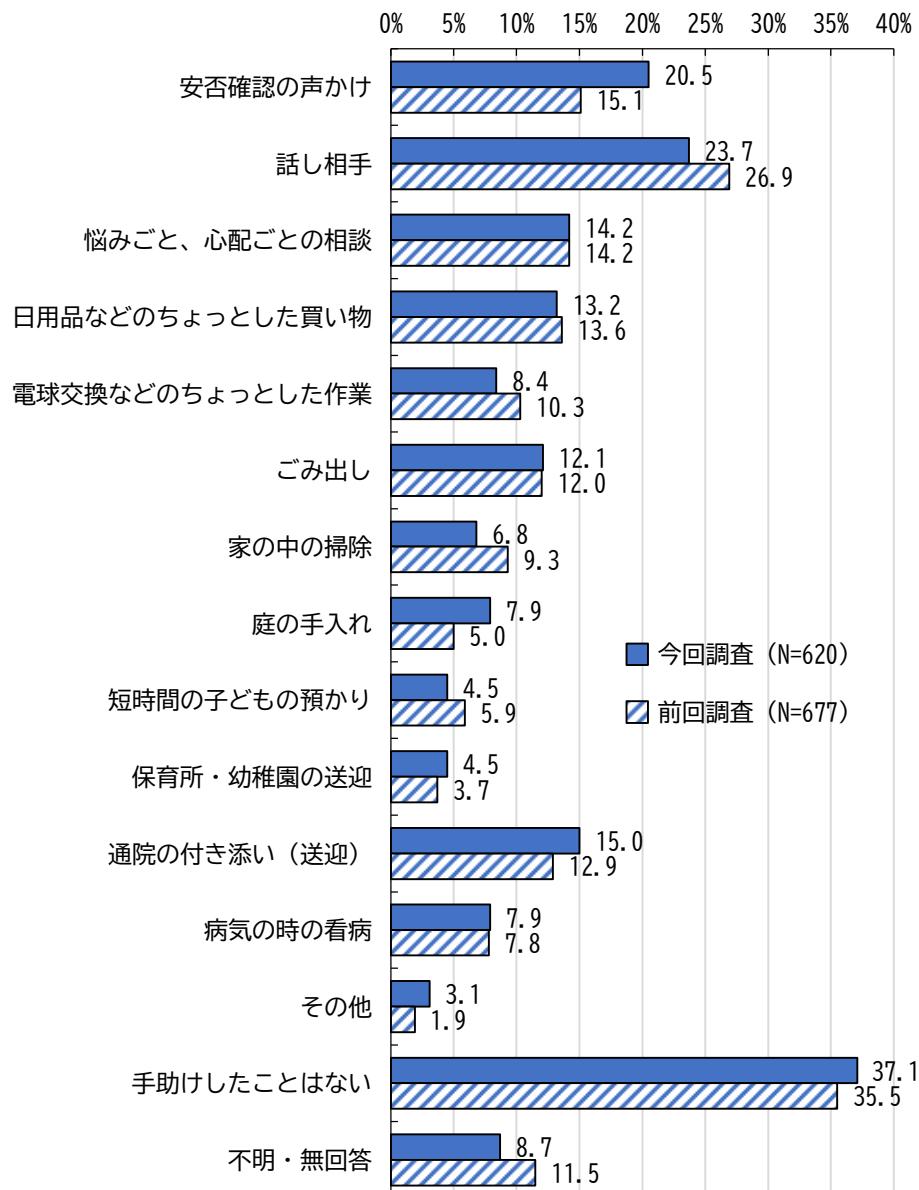
		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	日用品などのちょっとした買い物	電球交換などのちょっとした作業	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ
年代別	10歳代(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	20歳代(N=8)	37.5	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	30歳代(N=30)	63.3	33.3	23.3	26.7	13.3	13.3	20.0	6.7
	40歳代(N=22)	40.9	22.7	22.7	27.3	18.2	9.1	13.6	22.7
	50歳代(N=24)	66.7	25.0	29.2	16.7	8.3	8.3	8.3	20.8
	60歳代(N=56)	69.6	17.9	19.6	12.5	17.9	10.7	3.6	17.9
	70歳以上(N=96)	58.3	12.5	18.8	19.8	21.9	16.7	9.4	12.5
幸福度	幸福度：平均以下(N=124)	54.0	19.4	25.0	17.7	12.1	16.9	12.1	13.7
	幸福度：平均以上(N=105)	66.7	20.0	19.0	19.0	20.0	7.6	5.7	16.2

		短時間の子どもの預かり	保育所・幼稚園の送迎	通院の付き添い(送迎)	病気の時の看病	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=8)	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	30歳代(N=30)	20.0	10.0	30.0	26.7	3.3	0.0
	40歳代(N=22)	18.2	4.5	18.2	18.2	4.5	4.5
	50歳代(N=24)	8.3	0.0	12.5	12.5	8.3	0.0
	60歳代(N=56)	0.0	0.0	23.2	8.9	0.0	1.8
	70歳以上(N=96)	1.0	1.0	19.8	16.7	2.1	8.3
幸福度	幸福度：平均以下(N=124)	7.3	2.4	23.4	18.5	0.8	6.5
	幸福度：平均以上(N=105)	4.8	1.9	19.0	12.4	4.8	3.8

問28 あなたは、これまでに地域の困っている人や家族を手助けしたことがありますか。手助けした内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

地域での支援提供経験についてみると、「手助けしたことはない」が37.1%と最も高く、次いで「話し相手」が23.7%、「安否確認の声かけ」が20.5%となっています。

前回調査と比較すると、「安否確認の声かけ」では5.4ポイント高くなっています。一方で「話し相手」が3.2ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「手助けしたことはない」が最も高く（男性 34.8%、女性 38.8%）、次いで「話し相手」が高くなっています。「電球交換などのちょっとした作業」は『男性』（13.6%）が『女性』（4.6%）より 9.0 ポイント高く、「庭の手入れ」も『男性』（11.7%）が『女性』（4.9%）より 6.8 ポイント高くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「手助けしたことはない」が最も高くなっています。特に『保田地区』（44.2%）で高い傾向にあります。『糸我町地区』では「安否確認の声かけ」（38.6%）が最も高く、他地区より特に高くなっています。「日用品などのちょっとした買い物」は『中央地区』（24.2%）と『港地区』（22.2%）で高くなっています。

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	日用品などのちょっとした買い物	電球交換などのちょっとした作業	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ
性別	男性(N=264)	20.8	22.7	15.2	10.6	13.6	13.6	6.8	11.7
	女性(N=345)	20.3	24.9	12.8	14.5	4.6	11.3	6.7	4.9
地区別	初島町地区(N=54)	25.9	29.6	13.0	9.3	13.0	11.1	7.4	11.1
	港地区(N=45)	15.6	26.7	11.1	22.2	8.9	13.3	8.9	6.7
	箕島地区(N=56)	21.4	30.4	25.0	17.9	14.3	21.4	14.3	7.1
	宮崎町地区(N=75)	17.3	28.0	10.7	9.3	10.7	12.0	5.3	5.3
	保田地区(N=156)	17.3	18.6	14.1	9.0	5.8	11.5	3.8	8.3
	宮原町地区(N=123)	20.3	18.7	14.6	10.6	6.5	8.1	3.3	4.1
	糸我町地区(N=44)	38.6	27.3	11.4	15.9	6.8	15.9	13.6	15.9
	中央地区(N=62)	16.1	25.8	14.5	24.2	8.1	11.3	9.7	11.3

		短時間の子どもの預かり	保育所・幼稚園の送迎	通院の付き添い(送迎)	病気の時の看病	その他	手助けしたことはない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	3.0	3.0	14.8	6.4	3.0	34.8	7.2
	女性(N=345)	5.5	5.5	14.5	9.0	3.2	38.8	10.1
地区別	初島町地区(N=54)	0.0	1.9	13.0	7.4	7.4	27.8	5.6
	港地区(N=45)	4.4	0.0	20.0	6.7	2.2	35.6	6.7
	箕島地区(N=56)	3.6	3.6	17.9	10.7	1.8	33.9	8.9
	宮崎町地区(N=75)	5.3	4.0	12.0	8.0	4.0	33.3	8.0
	保田地区(N=156)	2.6	3.2	14.1	6.4	3.8	44.2	8.3
	宮原町地区(N=123)	5.7	6.5	12.2	5.7	1.6	39.8	11.4
	糸我町地区(N=44)	6.8	9.1	9.1	11.4	0.0	29.5	9.1
	中央地区(N=62)	9.7	8.1	25.8	12.9	3.2	37.1	8.1

年代別でみると、『20歳代』を除く多くの年代で「手助けしたことはない」が高くなっています。特に『40歳代』(50.0%)と『30歳代』(48.3%)で高い傾向にあります。『20歳代』では「話し相手」(37.5%)が最も高くなっています。「安否確認の声かけ」は『70歳以上』(29.8%)で他の年代より高く、「通院の付き添い(送迎)」は『50歳代』(21.6%)と『60歳代』(20.0%)で比較的高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度:平均以下』『幸福度:平均以上』とともに「手助けしたことはない」が最も高くなっています。「手助けしたことはない」は『幸福度:平均以下』(41.6%)が『幸福度:平均以上』(32.7%)より8.9ポイント高くなっています。一方、「安否確認の声かけ」は『幸福度:平均以上』(24.2%)が『幸福度:平均以下』(16.1%)より8.1ポイント高く、「悩みごと、心配ごとの相談」も『幸福度:平均以上』(17.1%)が『幸福度:平均以下』(11.8%)より5.3ポイント高くなっています。

		安否確認の声かけ	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	日用品などのちょっとした買い物	電球交換などのちょっとした作業	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ
年代別	10歳代(N=9)	0.0	33.3	11.1	22.2	33.3	22.2	22.2	44.4
	20歳代(N=32)	9.4	37.5	21.9	18.8	12.5	9.4	9.4	6.3
	30歳代(N=58)	8.6	32.8	10.3	15.5	8.6	12.1	8.6	1.7
	40歳代(N=60)	5.0	18.3	15.0	16.7	6.7	5.0	8.3	10.0
	50歳代(N=102)	20.6	23.5	11.8	19.6	14.7	15.7	8.8	10.8
	60歳代(N=130)	20.0	16.2	16.2	9.2	9.2	11.5	5.4	6.2
	70歳以上(N=225)	29.8	25.3	14.2	9.3	3.6	12.0	4.9	7.6
	幸福度:平均以下(N=305)	16.1	22.6	11.8	13.1	8.2	11.5	5.9	5.6
幸福度	幸福度:平均以上(N=281)	24.2	25.6	17.1	13.9	9.3	12.8	8.5	11.4

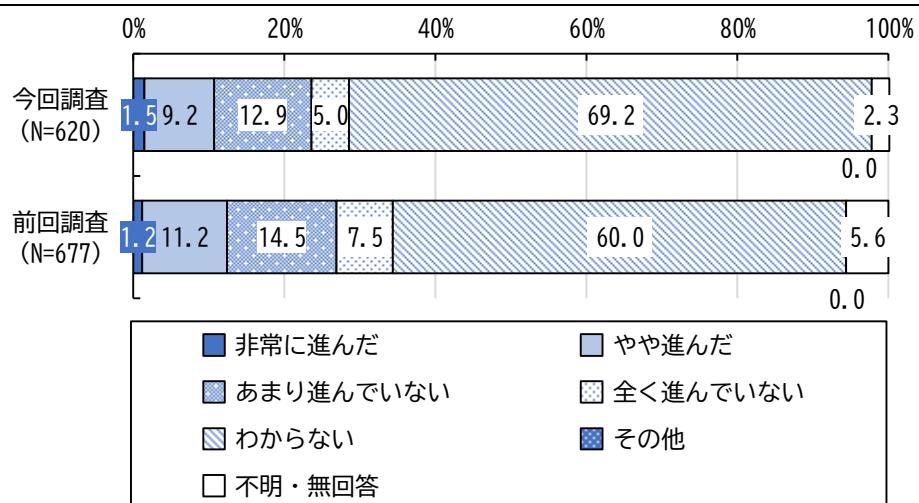
		短時間の子どもの預かり	保育所・幼稚園の送迎	通院の付き添い(送迎)	病気の時の看病	その他	手助けしたことはない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0
	20歳代(N=32)	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	34.4	0.0
	30歳代(N=58)	3.4	3.4	10.3	6.9	1.7	48.3	1.7
	40歳代(N=60)	5.0	8.3	8.3	8.3	6.7	50.0	6.7
	50歳代(N=102)	5.9	7.8	21.6	9.8	2.9	42.2	4.9
	60歳代(N=130)	6.9	5.4	20.0	10.8	3.8	39.2	7.7
	70歳以上(N=225)	2.7	2.2	12.0	6.7	2.7	28.9	15.1
	幸福度:平均以下(N=305)	4.6	4.9	16.1	8.2	3.0	41.6	8.2
幸福度	幸福度:平均以上(N=281)	5.0	4.6	14.9	8.2	2.8	32.7	7.8

地域福祉について

問29 あなたは、有田市の地域福祉（地域でのつながりや支え合い、ボランティア活動など）はこの4年間で進んだと感じますか。（ひとつに○）

地域福祉の進展に対する評価についてみると、「わからない」が69.2%と最も高く、次いで「あまり進んでいない」が12.9%、「やや進んだ」が9.2%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」では9.2ポイント高くなっています。一方で「全く進んでいない」が2.5ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「わからない」が最も高く（男性 61.7%、女性 74.5%）、次いで『男性』では「あまり進んでいない」（18.9%）、『女性』では「やや進んだ」（9.6%）が高くなっています。「あまり進んでいない」は『男性』（18.9%）が『女性』（8.4%）より 10.5 ポイント高く、「全く進んでいない」も『男性』（8.0%）が『女性』（2.6%）より 5.4 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「わからない」が最も高くなっています。「やや進んだ」は『糸我町地区』（20.5%）で他地区より高く、「あまり進んでいない」は『箕島地区』（21.4%）で高くなっています。「全く進んでいない」は『初島町地区』（11.1%）と『港地区』（11.1%）で比較的高くなっています。

		非常に進んだ	やや進んだ	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	0.8	9.1	18.9	8.0	61.7	0.0	1.5
	女性(N=345)	2.0	9.6	8.4	2.6	74.5	0.0	2.9
地区別	初島町地区(N=54)	0.0	3.7	13.0	11.1	72.2	0.0	0.0
	港地区(N=45)	2.2	6.7	8.9	11.1	68.9	0.0	2.2
	箕島地区(N=56)	1.8	3.6	21.4	1.8	69.6	0.0	1.8
	宮崎町地区(N=75)	2.7	13.3	13.3	8.0	58.7	0.0	4.0
	保田地区(N=156)	1.3	5.1	11.5	3.8	74.4	0.0	3.8
	宮原町地区(N=123)	0.8	13.0	17.1	3.3	65.0	0.0	0.8
	糸我町地区(N=44)	2.3	20.5	6.8	0.0	70.5	0.0	0.0
	中央地区(N=62)	1.6	11.3	8.1	4.8	71.0	0.0	3.2

年代別でみると、すべての年代で「わからない」が最も高くなっています。特に『40歳代』(76.7%)と『20歳代』(75.0%)で高い傾向にあります。「やや進んだ」は『70歳以上』(12.0%)と『30歳代』(12.1%)で比較的高く、「あまり進んでいない」は『60歳代』(15.4%)と『50歳代』(13.7%)で高くなっています。

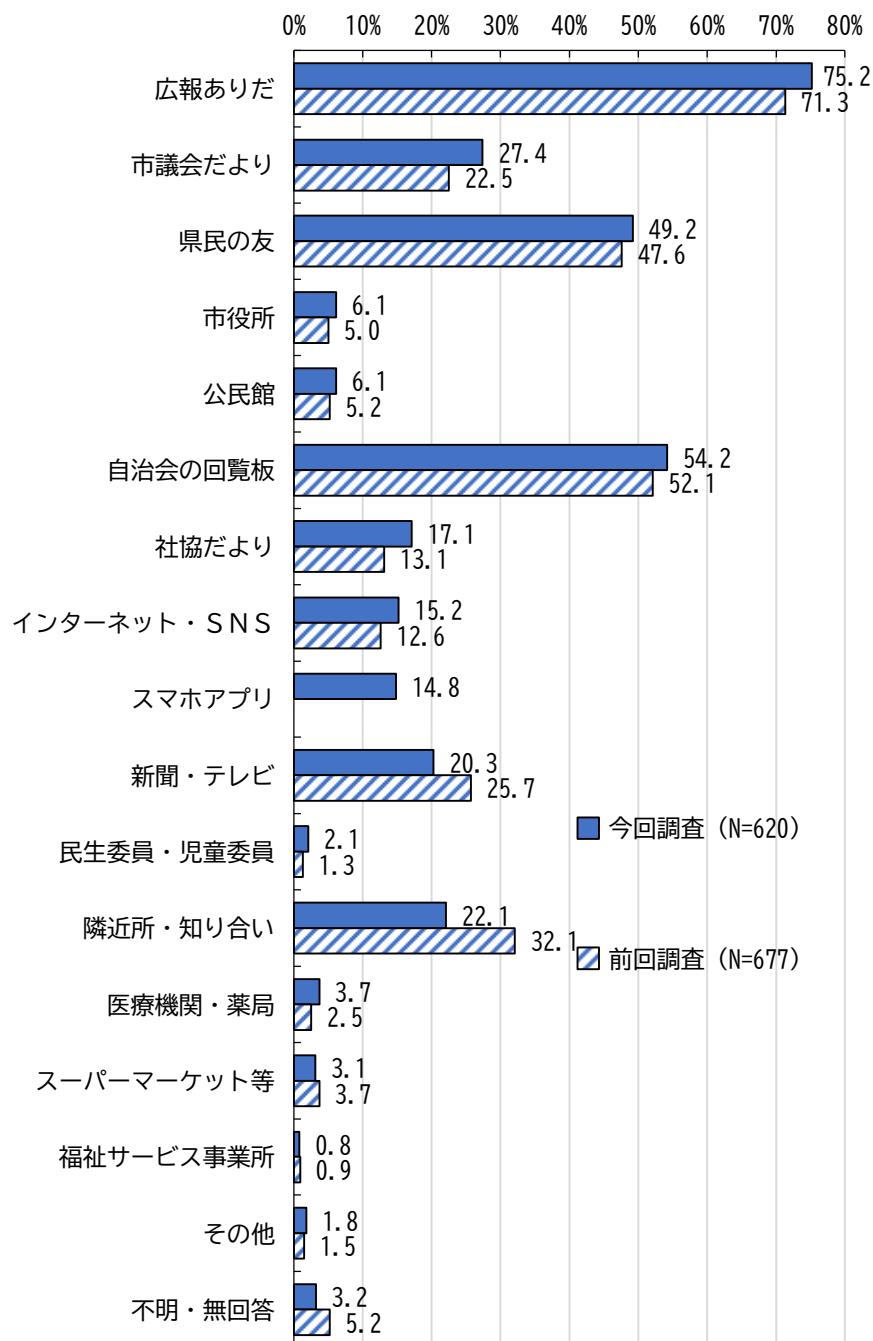
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「わからない」が最も高くなっています。「あまり進んでいない」は『幸福度：平均以下』(14.8%)が『幸福度：平均以上』(10.7%)より4.1ポイント高くなっています。

		非常に進んだ	やや進んだ	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	3.1	9.4	6.3	6.3	75.0	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	0.0	12.1	12.1	10.3	63.8	0.0	1.7
	40歳代(N=60)	1.7	5.0	10.0	6.7	76.7	0.0	0.0
	50歳代(N=102)	0.0	8.8	13.7	2.9	71.6	0.0	2.9
	60歳代(N=130)	0.8	6.2	15.4	4.6	73.1	0.0	0.0
	70歳以上(N=225)	2.7	12.0	12.9	4.0	64.0	0.0	4.4
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	0.7	9.5	14.8	4.9	68.9	0.0	1.3
	幸福度：平均以上(N=281)	2.1	9.3	10.7	4.6	70.1	0.0	3.2

問30 あなたは、地域の情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

地域情報の入手経路についてみると、「広報ありだ」が75.2%と最も高く、次いで「自治会の回覧板」が54.2%、「県民の友」が49.2%となっています。

前回調査と比較すると、「スマホアプリ」では14.8ポイント高くなっています。一方で「隣近所・知り合い」が10.0ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「広報ありだ」が最も高く（男性 70.5%、女性 79.1%）、次いで「自治会の回覧板」と「県民の友」が高くなっています。「インターネット・SNS」は『男性』（16.7%）が『女性』（13.3%）より高く、「スマホアプリ」は『女性』（17.4%）が『男性』（11.7%）より高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「広報ありだ」が最も高くなっています。特に『中央地区』（82.3%）と『港地区』（80.0%）で高い傾向にあります。「自治会の回覧板」は『中央地区』（71.0%）と『糸我町地区』（63.6%）で高くなっています。「インターネット・SNS」は『港地区』（26.7%）で他地区より高く、「隣近所・知り合い」は『中央地区』（30.6%）で高くなっています。

		広報ありだ	市議会だより	県民の友	市役所	公民館	自治会の回覧板	社協だより	インターネット・SNS	スマホアプリ
性別	男性(N=264)	70.5	26.9	45.8	7.6	3.4	54.9	15.9	16.7	11.7
	女性(N=345)	79.1	27.0	51.9	4.9	8.1	54.5	18.3	13.3	17.4
地区別	初島町地区(N=54)	75.9	29.6	55.6	7.4	5.6	50.0	20.4	9.3	9.3
	港地区(N=45)	80.0	22.2	51.1	0.0	4.4	48.9	8.9	26.7	13.3
	箕島地区(N=56)	75.0	32.1	50.0	12.5	7.1	50.0	17.9	12.5	14.3
	宮崎町地区(N=75)	66.7	26.7	38.7	4.0	12.0	49.3	13.3	16.0	13.3
	保田地区(N=156)	71.2	25.6	49.4	6.4	4.5	53.2	16.7	16.7	15.4
	宮原町地区(N=123)	79.7	27.6	52.0	3.3	1.6	52.8	19.5	13.8	13.0
	糸我町地区(N=44)	77.3	25.0	47.7	11.4	20.5	63.6	13.6	13.6	20.5
	中央地区(N=62)	82.3	32.3	50.0	8.1	3.2	71.0	22.6	11.3	19.4

		新聞・テレビ	民生委員・児童委員	隣近所・知り合い	医療機関・薬局	スーパー・マーケット等	福祉サービス事業所	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	20.1	2.3	20.1	4.2	1.9	0.4	2.3	2.7
	女性(N=345)	20.3	2.0	24.1	3.5	3.8	1.2	1.4	3.8
地区別	初島町地区(N=54)	22.2	3.7	22.2	3.7	1.9	0.0	5.6	1.9
	港地区(N=45)	28.9	2.2	17.8	0.0	2.2	0.0	4.4	0.0
	箕島地区(N=56)	17.9	3.6	26.8	5.4	7.1	1.8	0.0	3.6
	宮崎町地区(N=75)	17.3	1.3	18.7	2.7	5.3	1.3	1.3	5.3
	保田地区(N=156)	14.7	3.2	22.4	4.5	1.9	0.6	2.6	5.1
	宮原町地区(N=123)	22.0	0.0	17.9	4.9	2.4	1.6	0.0	1.6
	糸我町地区(N=44)	22.7	2.3	27.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
	中央地区(N=62)	27.4	1.6	30.6	4.8	3.2	0.0	1.6	3.2

年代別でみると、『20歳代』以上のすべての年代で「広報ありだ」が最も高くなっています。特に『60歳代』(80.0%)と『70歳以上』(78.7%)で高い傾向にあります。「自治会の回覧板」は年齢が上がるにつれて高くなり、『70歳以上』(68.4%)で最も高くなっています。「インターネット・SNS」は若年層(『30歳代』37.9%、『20歳代』31.3%)で高く、「新聞・テレビ」と「隣近所・知り合い」は『70歳以上』(それぞれ36.9%、31.6%)で高くなっています。

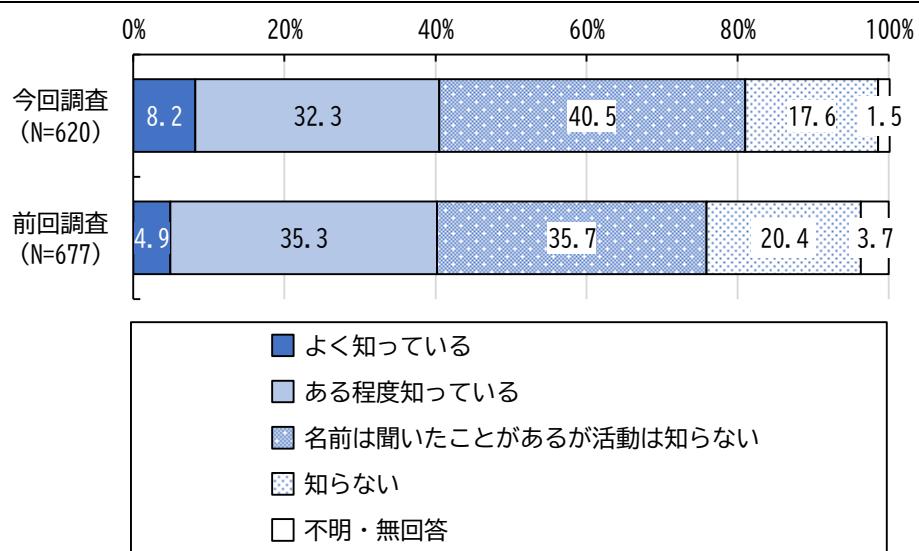
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「広報ありだ」が最も高くなっています。「広報ありだ」は『幸福度：平均以上』(78.3%)が『幸福度：平均以下』(74.1%)より4.2ポイント高く、「県民の友」も『幸福度：平均以上』(54.4%)が『幸福度：平均以下』(45.2%)より9.2ポイント高くなっています。「隣近所・知り合い」も『幸福度：平均以上』(25.6%)が『幸福度：平均以下』(18.0%)より7.6ポイント高くなっています。

		広報ありだ	市議会だ より	県民の友	市役所	公民館	自治会の 回覧板	社協だより	インターネ ット・SN S	スマホア プリ
年 代 別	10歳代(N=9)	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	33.3	11.1
	20歳代(N=32)	43.8	6.3	18.8	9.4	0.0	15.6	9.4	31.3	12.5
	30歳代(N=58)	74.1	24.1	39.7	5.2	0.0	27.6	10.3	37.9	5.2
	40歳代(N=60)	75.0	31.7	43.3	1.7	3.3	36.7	8.3	18.3	15.0
	50歳代(N=102)	75.5	28.4	48.0	7.8	6.9	52.0	19.6	18.6	27.5
	60歳代(N=130)	80.0	31.5	59.2	6.2	5.4	62.3	20.0	10.8	22.3
	70歳以上(N=225)	78.7	28.4	54.2	5.8	9.8	68.4	20.0	6.2	8.0
幸 福 度	幸福度：平均以下 (N=305)	74.1	25.6	45.2	5.6	5.6	50.8	14.4	16.4	14.1
	幸福度：平均以上 (N=281)	78.3	30.2	54.4	7.1	6.0	58.0	20.6	14.6	16.7
		新聞・テレ ビ	民生委員・ 児童委員	隣近所・知 り合い	医療機関・ 薬局	スーパー マーケット等	福祉サー ビス事業 所	その他	不明・無回 答	
年 代 別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	
	20歳代(N=32)	9.4	0.0	28.1	6.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
	30歳代(N=58)	1.7	1.7	15.5	1.7	1.7	0.0	1.7	3.4	
	40歳代(N=60)	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	5.0	3.3	
	50歳代(N=102)	9.8	0.0	16.7	4.9	3.9	0.0	1.0	2.9	
	60歳代(N=130)	17.7	2.3	19.2	3.8	2.3	2.3	3.1	0.8	
	70歳以上(N=225)	36.9	4.0	31.6	4.4	3.6	0.9	0.9	4.9	
幸 福 度	幸福度：平均以下 (N=305)	16.1	1.0	18.0	2.6	2.0	0.7	2.0	3.3	
	幸福度：平均以上 (N=281)	23.5	3.6	25.6	4.3	4.6	0.7	1.4	2.5	

問31 あなたは、民生委員・児童委員の活動内容をご存じですか。(ひとつに○)

民生委員・児童委員の活動認知度についてみると、「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が40.5%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が32.3%、「知らない」が17.6%となって います。

前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」では4.8ポイント高くな っており、一方で「ある程度知っている」が3.0ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が最も高く（男性 39.4%、女性 40.9%）、次いで「ある程度知っている」が高くなっています。「よく知っている」は『男性』（10.2%）が『女性』（6.7%）より 3.5 ポイント高くなっています。

地区別でみると、地区によって認知度に差がみられます。『宮原町地区』（39.8%）、『糸我町地区』（43.2%）、『中央地区』（38.7%）では「ある程度知っている」が最も高く、その他の地区では「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が最も高くなっています。「知らない」は『初島町地区』（25.9%）と『港地区』（22.2%）で比較的高く、『糸我町地区』（9.1%）と『中央地区』（8.1%）で低くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	10.2	33.3	39.4	15.9	1.1
	女性(N=345)	6.7	31.6	40.9	19.1	1.7
地区別	初島町地区(N=54)	7.4	22.2	44.4	25.9	0.0
	港地区(N=45)	6.7	22.2	48.9	22.2	0.0
	箕島地区(N=56)	8.9	23.2	48.2	17.9	1.8
	宮崎町地区(N=75)	5.3	30.7	38.7	22.7	2.7
	保田地区(N=156)	12.8	31.4	35.9	17.3	2.6
	宮原町地区(N=123)	6.5	39.8	35.0	17.9	0.8
	糸我町地区(N=44)	6.8	43.2	40.9	9.1	0.0
	中央地区(N=62)	4.8	38.7	46.8	8.1	1.6

年代別でみると、『60歳代』と『70歳以上』では「ある程度知っている」が最も高く（それぞれ40.0%、40.9%）、『30歳代』から『50歳代』では「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が最も高くなっています。『20歳代』では「知らない」（50.0%）が最も高くなっています。「ある程度知っている」と「よく知っている」を合わせた認知度は年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、特に『70歳以上』（56.0%）と『60歳代』（46.2%）で高くなっています。

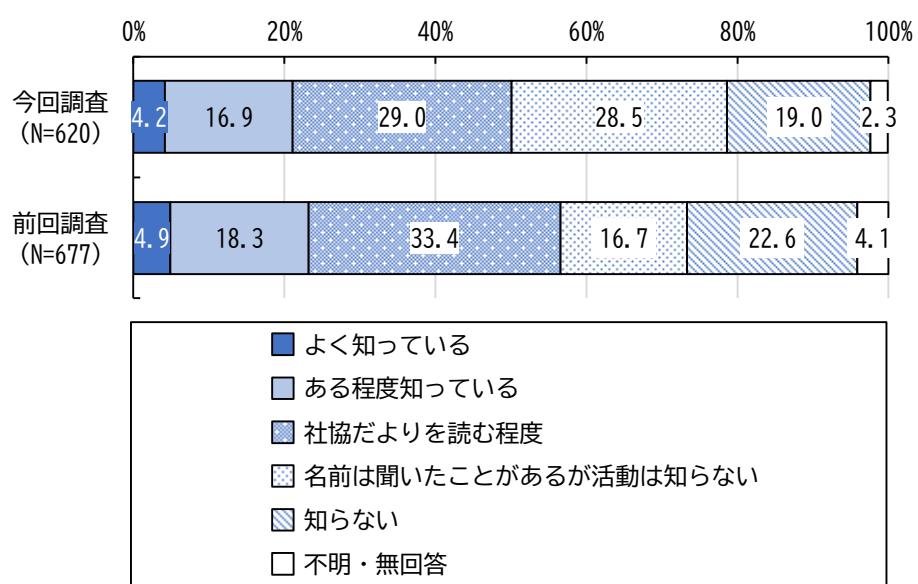
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』では「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」（44.9%）が最も高く、『幸福度：平均以上』では「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」（36.3%）と「ある程度知っている」（33.1%）がともに高くなっています。「よく知っている」は『幸福度：平均以上』（11.0%）が『幸福度：平均以下』（4.6%）より6.4ポイント高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
年代別	10歳代（N=9）	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0
	20歳代（N=32）	3.1	15.6	31.3	50.0	0.0
	30歳代（N=58）	0.0	17.2	44.8	36.2	1.7
	40歳代（N=60）	5.0	23.3	40.0	31.7	0.0
	50歳代（N=102）	4.9	25.5	55.9	11.8	2.0
	60歳代（N=130）	6.2	40.0	45.4	8.5	0.0
	70歳以上（N=225）	15.1	40.9	32.0	9.3	2.7
幸福度	幸福度：平均以下（N=305）	4.6	31.8	44.9	17.4	1.3
	幸福度：平均以上（N=281）	11.0	33.1	36.3	18.1	1.4

問32 あなたは、社会福祉協議会をご存じですか。(ひとつに○)

社会福祉協議会の認知度についてみると、「社協だよりを読む程度」が29.0%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が28.5%、「知らない」が19.0%となっています。

前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」では11.8ポイント高くなっています。一方で「社協だよりを読む程度」が4.4ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「社協だよりを読む程度」(男性 27.3%、女性 30.4%) と「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」(男性 30.3%、女性 27.0%) が高くなっています。性別による大きな差はみられません。

地区別でみると、多くの地区で「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」と「社協だよりを読む程度」が高くなっています。『中央地区』では「社協だよりを読む程度」(35.5%) が最も高く、『宮崎町地区』では「知らない」(30.7%) が他地区よりも高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	社協だよりを読む程度	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	4.9	16.3	27.3	30.3	18.9	2.3
	女性(N=345)	3.5	17.7	30.4	27.0	19.1	2.3
地区別	初島町地区(N=54)	3.7	14.8	24.1	37.0	20.4	0.0
	港地区(N=45)	0.0	13.3	26.7	31.1	22.2	6.7
	箕島地区(N=56)	7.1	16.1	26.8	33.9	14.3	1.8
	宮崎町地区(N=75)	2.7	16.0	28.0	18.7	30.7	4.0
	保田地区(N=156)	5.8	17.9	28.8	28.2	16.7	2.6
	宮原町地区(N=123)	4.9	18.7	30.1	29.3	15.4	1.6
	糸我町地区(N=44)	2.3	20.5	31.8	27.3	18.2	0.0
	中央地区(N=62)	3.2	14.5	35.5	25.8	19.4	1.6

年代別でみると、年代によって認知度に差がみられます。若年層（『10歳代』66.7%、『20歳代』43.8%、『30歳代』32.8%）では「知らない」の割合が高くなっています。一方、中高年層（『60歳代』37.7%、『70歳以上』34.2%）では「社協だよりを読む程度」が高くなっています。

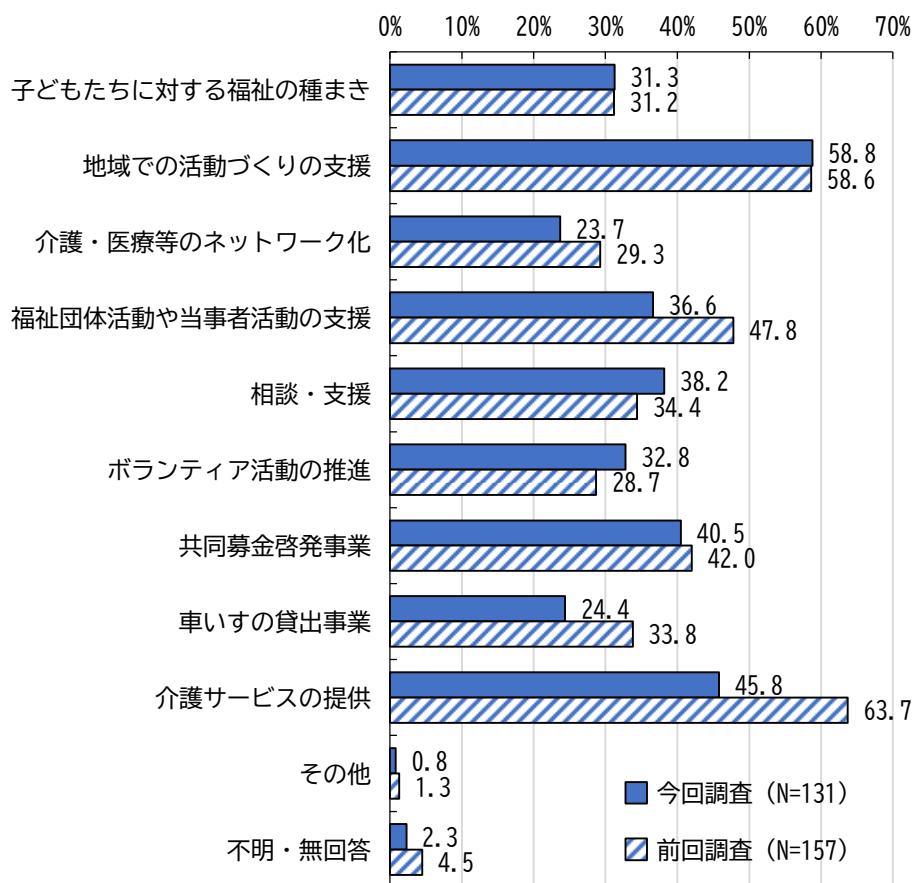
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「社協だよりを読む程度」と「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」が高くなっています。「よく知っている」は『幸福度：平均以上』（6.8%）が『幸福度：平均以下』（2.3%）より4.5ポイント高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	社協だよりを読む程度	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	知らない	不明・無回答
年代別	10歳代（N=9）	0.0	11.1	0.0	22.2	66.7	0.0
	20歳代（N=32）	3.1	9.4	15.6	28.1	43.8	0.0
	30歳代（N=58）	1.7	13.8	12.1	37.9	32.8	1.7
	40歳代（N=60）	5.0	21.7	18.3	36.7	18.3	0.0
	50歳代（N=102）	4.9	14.7	28.4	35.3	15.7	1.0
	60歳代（N=130）	3.8	13.8	37.7	32.3	12.3	0.0
	70歳以上（N=225）	4.9	20.9	34.2	19.1	15.6	5.3
幸福度	幸福度：平均以下（N=305）	2.3	14.8	29.2	31.8	19.7	2.3
	幸福度：平均以上（N=281）	6.8	19.2	28.1	25.3	18.9	1.8

問32で【1. よく知っている】【2. ある程度知っている】と回答した人におたずねします。
 問33 社会福祉協議会のどのような事業・活動をご存じですか。(あてはまるものすべてに○)

社会福祉協議会の事業・活動の認知状況についてみると、「地域での活動づくりの支援（見守り活動、サロン・拠点活動、防災、地域食堂など）」が58.8%と最も高く、次いで「介護サービスの提供（ケアマネジャー）」が45.8%、「共同募金啓発事業（赤い羽根共同募金による活動支援と募金のお願い）」が40.5%となっています。

前回調査と比較すると、「ボランティア活動の推進（ボランティア育成・講座、災害ボランティアなど）」では4.1ポイント高くなっていますが、一方で「介護サービスの提供（ケアマネジャー）」が17.9ポイント低くなっています。



※調査票上の選択肢：

- 子どもたちに対する福祉の種まき（学校授業・作文コンクールなど）
- 地域での活動づくりの支援（見守り活動、サロン・拠点活動、防災、地域食堂など）
- 福祉団体活動や当事者活動の支援（障がい者団体、不登校支援など）
- 相談・支援（認知症など支援が必要な人への金銭管理、心配事相談、生活資金の貸付など）
- ボランティア活動の推進（ボランティア育成・講座、災害ボランティアなど）
- 共同募金啓発事業（赤い羽根共同募金による活動支援と募金のお願い）
- 介護サービスの提供（ケアマネジャー）

クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「地域での活動づくりの支援」が最も高く（男性 57.1%、女性 58.9%）、次いで男性では「共同募金啓発事業」（46.4%）と「相談・支援」（44.6%）が、女性では「介護サービスの提供」（56.2%）が高くなっています。「介護サービスの提供」は『女性』（56.2%）が『男性』（33.9%）より 22.3 ポイント高く、「子どもたちに対する福祉の種まき」も『女性』（37.0%）が『男性』（23.2%）より高くなっています。

		子どもたちに対する福祉の種まきの支援	地域での活動づくりの支援	介護・医療等のネットワーク化	福祉団体活動や当事者活動の支援	相談・支援	ボランティア活動の推進	共同募金啓発事業	車いすの貸出事業
性別	男性(N=56)	23.2	57.1	25.0	41.1	44.6	37.5	46.4	19.6
	女性(N=73)	37.0	58.9	23.3	32.9	32.9	28.8	35.6	27.4
地区別	初島町地区(N=10)	40.0	80.0	30.0	50.0	50.0	60.0	50.0	40.0
	港地区(N=6)	16.7	66.7	0.0	50.0	16.7	33.3	50.0	16.7
	箕島地区(N=13)	38.5	53.8	30.8	30.8	53.8	46.2	46.2	38.5
	宮崎町地区(N=14)	50.0	42.9	21.4	28.6	50.0	28.6	28.6	28.6
	保田地区(N=37)	24.3	56.8	21.6	48.6	32.4	29.7	54.1	16.2
	宮原町地区(N=29)	27.6	62.1	31.0	34.5	37.9	34.5	34.5	17.2
	糸我町地区(N=10)	50.0	60.0	0.0	20.0	20.0	30.0	20.0	20.0
	中央地区(N=11)	18.2	54.5	36.4	18.2	36.4	9.1	18.2	45.5

		介護サービスの提供	その他	不明・無回答
性別	男性(N=56)	33.9	1.8	0.0
	女性(N=73)	56.2	0.0	4.1
地区別	初島町地区(N=10)	50.0	0.0	0.0
	港地区(N=6)	50.0	0.0	0.0
	箕島地区(N=13)	38.5	0.0	7.7
	宮崎町地区(N=14)	50.0	0.0	0.0
	保田地区(N=37)	40.5	2.7	5.4
	宮原町地区(N=29)	51.7	0.0	0.0
	糸我町地区(N=10)	20.0	0.0	0.0
	中央地区(N=11)	63.6	0.0	0.0

※地区別ではサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「地域での活動づくりの支援」が最も高くなっています。「子どもたちに対する福祉の種まき」は『幸福度：平均以上』(34.2%)が『幸福度：平均以下』(28.8%)より5.4ポイント高くなっています。

		子どもたちに対する福祉の種まき	地域での活動づくりの支援	介護・医療等のネットワーク化	福祉団体活動や当事者活動の支援	相談・支援	ボランティア活動の推進	共同募金啓発事業	車いすの貸出事業
年代別	10歳代(N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=4)	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	44.4	33.3	22.2	11.1	44.4	44.4	22.2	0.0
	40歳代(N=16)	43.8	37.5	18.8	43.8	50.0	37.5	12.5	25.0
	50歳代(N=20)	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	35.0	60.0	35.0
	60歳代(N=23)	26.1	69.6	39.1	65.2	47.8	34.8	43.5	13.0
	70歳以上(N=58)	25.9	65.5	19.0	25.9	31.0	27.6	46.6	31.0
	幸福度：平均以下(N=52)	28.8	57.7	25.0	36.5	38.5	34.6	38.5	17.3
幸福度	幸福度：平均以上(N=73)	34.2	60.3	23.3	39.7	37.0	32.9	42.5	26.0

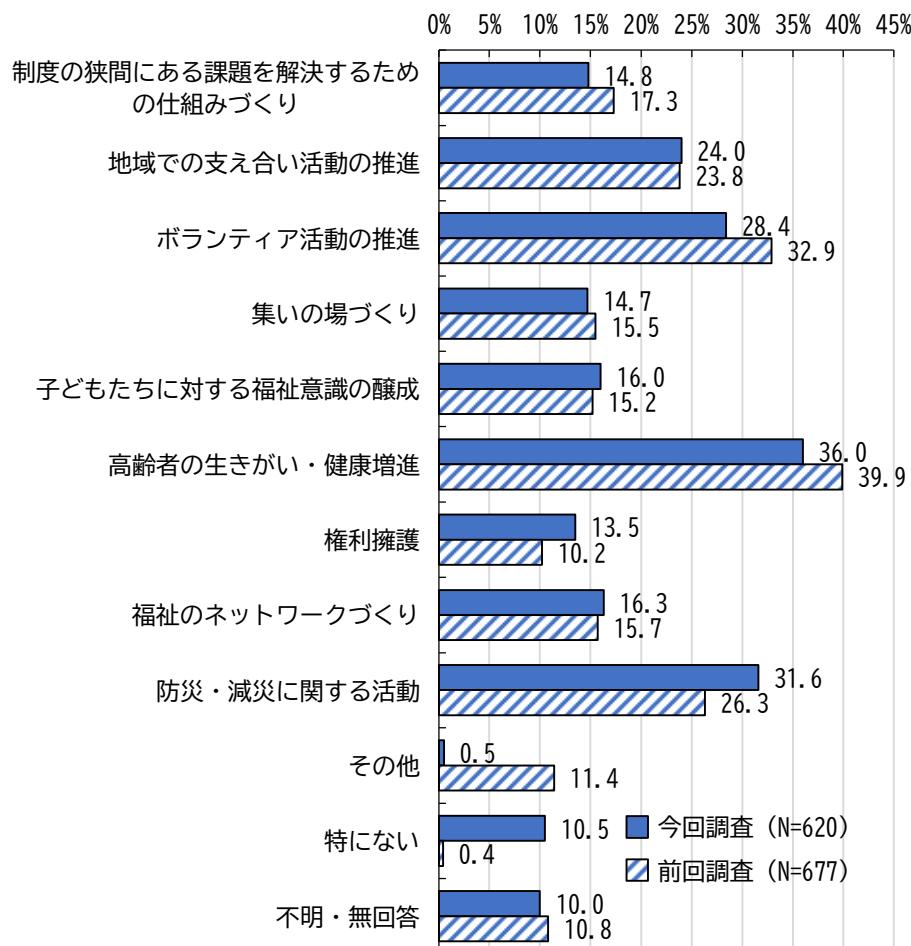
		介護サービスの提供	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=1)	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=4)	25.0	0.0	0.0
	30歳代(N=9)	22.2	0.0	0.0
	40歳代(N=16)	37.5	0.0	0.0
	50歳代(N=20)	45.0	0.0	0.0
	60歳代(N=23)	47.8	0.0	0.0
	70歳以上(N=58)	53.4	1.7	5.2
	幸福度：平均以下(N=52)	44.2	1.9	0.0
幸福度	幸福度：平均以上(N=73)	47.9	0.0	2.7

※年代別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

問34 あなたが社会福祉協議会に期待する活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

社会福祉協議会への期待についてみると、「高齢者の生きがい・健康増進」が36.0%と最も高く、次いで「防災・減災に関する活動」が31.6%、「ボランティア活動の推進（生活支援、子育て支援、見守り、まちづくりなど）」が28.4%となっています。

前回調査と比較すると、「防災・減災に関する活動」では5.3ポイント高くなっていますが、一方で「ボランティア活動の推進」が4.5ポイント低くなっています。



※調査票上の選択肢

地域での支え合い活動の推進（団体育成・制度づくり）

ボランティア活動の推進（生活支援、子育て支援、見守り、まちづくりなど）

権利擁護（金銭管理、成年後見、認知症・障がい理解の啓発）

クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「高齢者の生きがい・健康増進」が最も高く(男性 38.6%、女性 33.6%)、次いで「防災・減災に関する活動」と「ボランティア活動の推進」が高くなっています。男女間で大きな差はみられませんが、「特にない」は『男性』(14.8%)が『女性』(7.5%)より 7.3 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「高齢者の生きがい・健康増進」が最も高くなっています。特に『中央地区』(41.9%)と『港地区』(40.0%)で高い傾向にあります。『箕島地区』では「防災・減災に関する活動」(37.5%)が最も高くなっています。『中央地区』では「ボランティア活動の推進」(37.1%)が他地区と比べて高くなっています。

		制度の狭間にある課題を解決するための仕組みづくり	地域での支え合い活動の推進	ボランティア活動の推進	集いの場づくり	子どもたちに対する福祉意識の醸成	高齢者の生きがい・健康増進	権利擁護	福祉のネットワークづくり
性別	男性(N=264)	16.7	24.2	26.5	16.3	14.4	38.6	14.0	18.6
	女性(N=345)	13.0	23.8	29.6	13.3	16.5	33.6	12.5	13.9
地区別	初島町地区(N=54)	11.1	24.1	24.1	18.5	20.4	33.3	13.0	14.8
	港地区(N=45)	11.1	11.1	31.1	22.2	20.0	40.0	17.8	15.6
	箕島地区(N=56)	16.1	33.9	26.8	5.4	25.0	33.9	19.6	16.1
	宮崎町地区(N=75)	17.3	21.3	22.7	14.7	12.0	36.0	20.0	22.7
	保田地区(N=156)	16.7	25.0	26.3	10.3	12.2	34.0	8.3	19.2
	宮原町地区(N=123)	13.8	21.1	32.5	21.1	17.9	35.8	13.0	11.4
	糸我町地区(N=44)	13.6	20.5	25.0	13.6	9.1	34.1	9.1	9.1
	中央地区(N=62)	16.1	33.9	37.1	12.9	16.1	41.9	16.1	16.1

		防災・減災に関する活動	その他	特にない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	31.1	0.4	14.8	6.8
	女性(N=345)	31.0	0.6	7.5	12.8
地区別	初島町地区(N=54)	27.8	1.9	11.1	11.1
	港地区(N=45)	33.3	0.0	20.0	4.4
	箕島地区(N=56)	37.5	0.0	7.1	8.9
	宮崎町地区(N=75)	28.0	1.3	13.3	5.3
	保田地区(N=156)	33.3	0.0	9.6	12.8
	宮原町地区(N=123)	31.7	0.0	8.1	8.9
	糸我町地区(N=44)	29.5	0.0	18.2	9.1
	中央地区(N=62)	30.6	1.6	4.8	16.1

年代別でみると、年代によって重要視する項目に差がみられます。『20歳代』から『50歳代』では「防災・減災に関する活動」が高く、『60歳代』と『70歳以上』では「高齢者の生きがい・健康増進」が高くなっています。特に『70歳以上』では「高齢者の生きがい・健康増進」(48.0%)が顕著に高くなっています。『50歳代』では「ボランティア活動の推進」(35.3%)と「防災・減災に関する活動」(40.2%)がともに高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「高齢者の生きがい・健康増進」が最も高くなっています。「高齢者の生きがい・健康増進」は『幸福度：平均以上』(37.7%)が『幸福度：平均以下』(33.4%)より4.3ポイント高く、「ボランティア活動の推進」も『幸福度：平均以上』(30.2%)が『幸福度：平均以下』(26.2%)より4.0ポイント高くなっています。

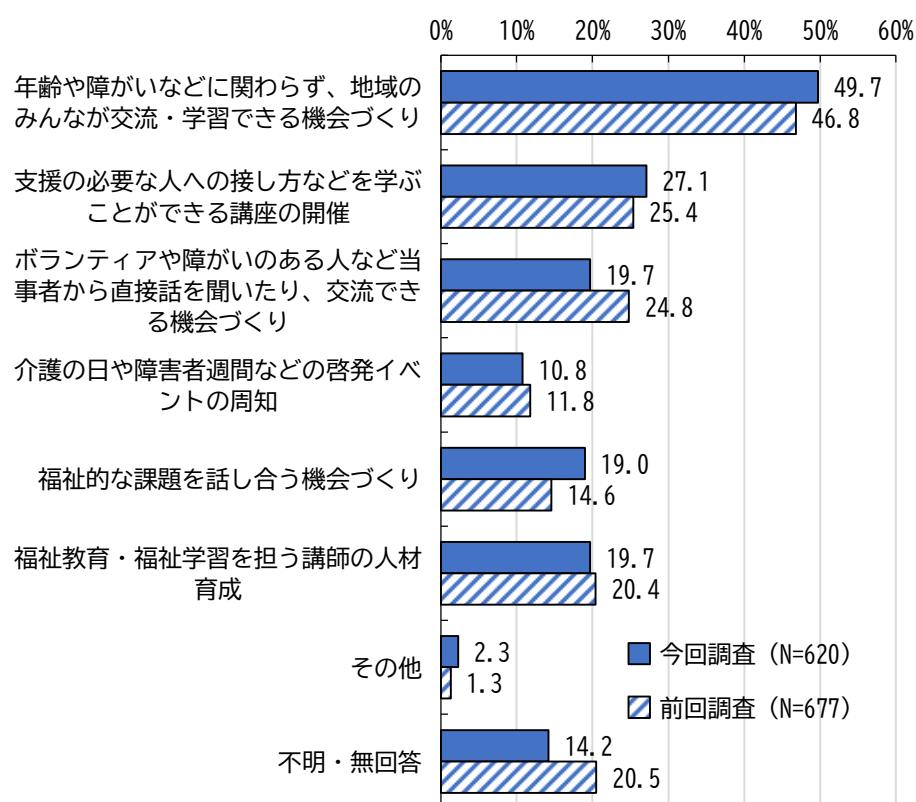
		制度の狭間にある課題を解決するための仕組みづくり	地域での支え合い活動の推進	ボランティア活動の推進	集いの場づくり	子どもたちに対する福祉意識の醸成	高齢者の生きがい・健康増進	権利擁護	福祉のネットワークづくり
年代別	10歳代(N=9)	0.0	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
	20歳代(N=32)	21.9	28.1	21.9	21.9	21.9	18.8	15.6	15.6
	30歳代(N=58)	20.7	22.4	22.4	8.6	24.1	24.1	17.2	17.2
	40歳代(N=60)	18.3	20.0	25.0	15.0	20.0	15.0	10.0	11.7
	50歳代(N=102)	17.6	28.4	35.3	12.7	18.6	30.4	17.6	23.5
	60歳代(N=130)	15.4	27.7	30.0	16.2	13.8	40.0	15.4	17.7
	70歳以上(N=225)	10.7	20.9	27.1	14.7	12.4	48.0	10.7	13.8
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	15.4	22.0	26.2	14.1	15.7	33.4	14.8	18.7
	幸福度：平均以上(N=281)	14.2	26.7	30.2	14.9	17.1	37.7	11.0	13.5

		防災・減災に関する活動	その他	特になし	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	22.2	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	34.4	0.0	12.5	0.0
	30歳代(N=58)	37.9	0.0	20.7	1.7
	40歳代(N=60)	25.0	0.0	13.3	8.3
	50歳代(N=102)	40.2	1.0	12.7	2.9
	60歳代(N=130)	31.5	0.8	6.9	10.8
	70歳以上(N=225)	27.6	0.4	8.4	17.3
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	31.5	0.7	10.5	8.9
	幸福度：平均以上(N=281)	33.1	0.4	10.7	10.7

問35 福祉教育・福祉学習をより効果的に行っていくために、あなたは、どのような取り組みが必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

効果的な福祉教育・福祉学習の取り組みについてみると、「年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり」が49.7%と最も高く、次いで「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」が27.1%、「ボランティアや障がいのある人など当事者から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり」「福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成」がそれぞれ19.7%となっています。

前回調査と比較すると、「福祉的な課題を話し合う機会づくり」では4.4ポイント高くなっています。一方で「ボランティアや障がいのある人など当事者から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり」が5.1ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり」が最も高く（男性 48.9%、女性 50.1%）、次いで「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」が高くなっています。「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」は『女性』（28.7%）が『男性』（24.6%）より 4.1 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり」が最も高くなっています。特に『中央地区』（69.4%）で高い傾向にあります。

「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」は『箕島地区』（35.7%）と『港地区』（33.3%）で比較的高くなっています。「福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成」は『宮崎町地区』（32.0%）で他地区より高くなっています。

		年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり	支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催	ボランティアや障がいのある人など当事者から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり	介護の日や障害者週間などの啓発イベントの周知	福祉的な課題を話し合う機会づくり	福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	48.9	24.6	21.6	12.5	18.9	21.2	2.3	14.0
	女性(N=345)	50.1	28.7	17.7	9.6	19.4	18.3	2.0	14.5
地区別	初島町地区(N=54)	50.0	22.2	20.4	14.8	16.7	16.7	1.9	20.4
	港地区(N=45)	46.7	33.3	28.9	15.6	20.0	13.3	2.2	15.6
	箕島地区(N=56)	46.4	35.7	16.1	14.3	21.4	21.4	1.8	16.1
	宮崎町地区(N=75)	38.7	26.7	18.7	6.7	12.0	32.0	4.0	14.7
	保田地区(N=156)	49.4	24.4	21.2	10.9	23.1	18.6	1.9	14.7
	宮原町地区(N=123)	50.4	30.1	18.7	11.4	16.3	17.1	2.4	12.2
	糸我町地区(N=44)	45.5	29.5	18.2	4.5	20.5	15.9	2.3	11.4
	中央地区(N=62)	69.4	21.0	16.1	8.1	19.4	19.4	1.6	11.3

年代別でみると、すべての年代で「年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり」が最も高くなっています。若年層（『10歳代』66.7%、『30歳代』55.2%、『40歳代』58.3%）で特に高い傾向にあります。「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」は『20歳代』（37.5%）と『60歳代』（33.1%）で高くなっています。「ボランティアや障がいのある人など当事者から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり」は『10歳代』（33.3%）と『30歳代』（29.3%）で比較的高くなっています。

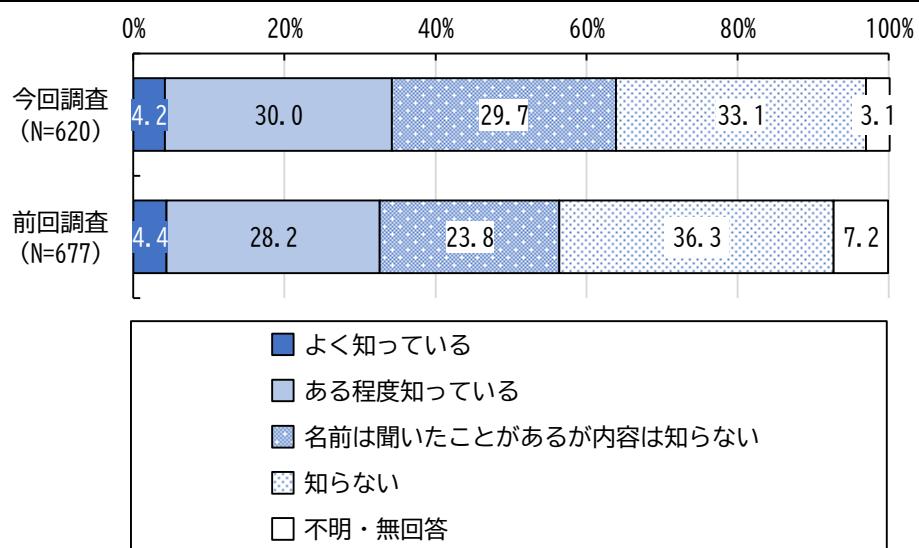
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり」が最も高くなっています。「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催」は『幸福度：平均以下』（27.9%）が『幸福度：平均以上』（24.6%）より3.3ポイント高く、「福祉的な課題を話し合う機会づくり」と「福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成」は『幸福度：平均以上』がやや高くなっています。

		年齢や障がいなどに関わらず、地域のみんなが交流・学習できる機会づくり	支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催	ボランティアや障がいのある人など当事者から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり	介護の日や障害者週間などの啓発イベントの周知	福祉的な課題を話し合う機会づくり	福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	66.7	0.0	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	50.0	37.5	15.6	9.4	12.5	15.6	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	55.2	25.9	29.3	15.5	24.1	24.1	5.2	3.4
	40歳代(N=60)	58.3	21.7	20.0	6.7	15.0	16.7	5.0	8.3
	50歳代(N=102)	47.1	26.5	20.6	9.8	14.7	17.6	2.9	9.8
	60歳代(N=130)	49.2	33.1	18.5	11.5	23.1	28.5	0.8	9.2
	70歳以上(N=225)	47.1	24.9	17.3	10.2	19.6	16.0	1.8	26.2
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	49.2	27.9	19.0	11.1	18.0	18.4	1.3	11.8
	幸福度：平均以上(N=281)	50.9	24.6	19.9	10.7	20.3	21.0	2.8	15.7

問36 あなたは、成年後見制度をご存じですか。(ひとつに○)

成年後見制度の認知度についてみると、「知らない」が33.1%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が30.0%、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が29.7%となっています。

前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」では5.9ポイント高くなっています。一方で「知らない」が3.2ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』は「知らない」(34.8%) が最も高く、『女性』は「ある程度知っている」(34.2%) が最も高くなっています。「よく知っている」は『男性』(6.1%) が『女性』(2.9%) より 3.2 ポイント高い一方、「ある程度知っている」は『女性』(34.2%) が『男性』(24.6%) より 9.6 ポイント高くなっています。

地区別でみると、地区によって認知度に差がみられます。『箕島地区』では「ある程度知っている」(39.3%) が最も高く、「知らない」(16.1%) が他地区と比べて低くなっています。『宮崎町地区』では「知らない」(40.0%) が最も高く、「ある程度知っている」(21.3%) が他地区と比べて低い傾向にあります。『糸我町地区』では「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(40.9%) が最も高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	6.1	24.6	31.8	34.8	2.7
	女性(N=345)	2.9	34.2	27.8	31.9	3.2
地区別	初島町地区(N=54)	3.7	35.2	29.6	29.6	1.9
	港地区(N=45)	4.4	28.9	28.9	37.8	0.0
	箕島地区(N=56)	5.4	39.3	30.4	16.1	8.9
	宮崎町地区(N=75)	4.0	21.3	29.3	40.0	5.3
	保田地区(N=156)	6.4	25.0	28.8	35.9	3.8
	宮原町地区(N=123)	4.1	34.1	25.2	35.0	1.6
	糸我町地区(N=44)	0.0	27.3	40.9	31.8	0.0
	中央地区(N=62)	1.6	35.5	33.9	27.4	1.6

年代別でみると、若年層ほど「知らない」の割合が高い傾向があります。『10歳代』(88.9%)と『20歳代』(53.1%)では半数以上が「知らない」と回答しています。対照的に、『60歳代』では「ある程度知っている」(37.7%)が最も高く、「知らない」(23.8%)が他の年代と比べて低くなっています。『30歳代』は「よく知っている」(8.6%)が他の年代よりも高い一方で、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(13.8%)が低くなっています。

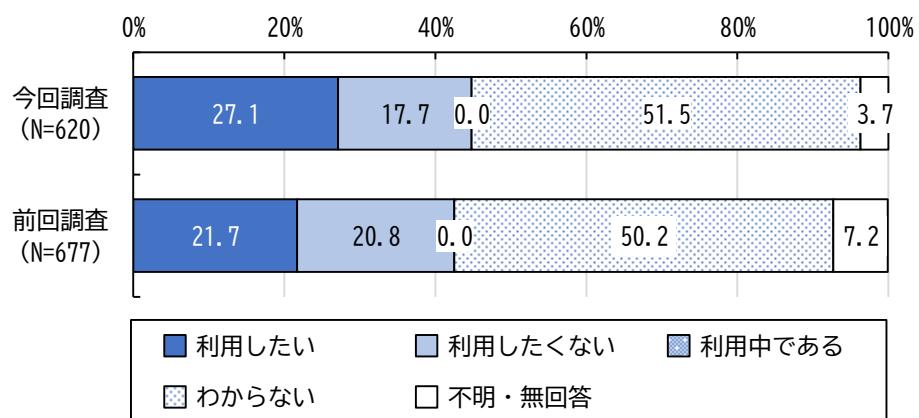
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「知らない」と「ある程度知っている」がほぼ同程度で高くなっています。「よく知っている」は『幸福度：平均以上』(5.0%)が『幸福度：平均以下』(3.6%)よりやや高く、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は『幸福度：平均以下』(32.5%)が『幸福度：平均以上』(27.8%)より4.7ポイント高くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0
	20歳代(N=32)	0.0	18.8	28.1	53.1	0.0
	30歳代(N=58)	8.6	29.3	13.8	46.6	1.7
	40歳代(N=60)	1.7	35.0	25.0	36.7	1.7
	50歳代(N=102)	2.9	24.5	38.2	33.3	1.0
	60歳代(N=130)	4.6	37.7	32.3	23.8	1.5
	70歳以上(N=225)	4.9	30.2	30.2	28.4	6.2
	幸福度：平均以下(N=305)	3.6	29.8	32.5	32.8	1.3
幸福度	幸福度：平均以上(N=281)	5.0	29.9	27.8	33.5	3.9

問 37 あなたは、あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなった時、「成年後見制度」を利用したいですか。(ひとつに○)

「成年後見制度」の利用意向についてみると、「わからない」が51.5%と最も高く、次いで「利用したい」が27.1%、「利用したくない」が17.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」では5.4ポイント高くなっています。一方で「利用したくない」が3.1ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「わからない」が最も高く（男性 54.5%、女性 49.0%）、次いで「利用したい」が高くなっています。「利用したくない」は『女性』（21.7%）が『男性』（12.5%）よりも 9.2 ポイント高くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「わからない」が最も高くなっています。「利用したい」は『糸我町地区』（40.9%）で他地区よりも高く、『箕島地区』（16.1%）で低い傾向にあります。「利用したくない」は『箕島地区』（25.0%）で最も高く、『保田地区』（13.5%）と『宮原町地区』（13.8%）で低くなっています。

		利用したい	利用したくない	利用中である	わからない	不明・無回答
性別	男性(N=264)	29.5	12.5	0.0	54.5	3.4
	女性(N=345)	25.5	21.7	0.0	49.0	3.8
地区別	初島町地区(N=54)	27.8	20.4	0.0	50.0	1.9
	港地区(N=45)	31.1	20.0	0.0	46.7	2.2
	箕島地区(N=56)	16.1	25.0	0.0	53.6	5.4
	宮崎町地区(N=75)	26.7	17.3	0.0	50.7	5.3
	保田地区(N=156)	25.6	13.5	0.0	55.8	5.1
	宮原町地区(N=123)	28.5	13.8	0.0	55.3	2.4
	糸我町地区(N=44)	40.9	20.5	0.0	38.6	0.0
	中央地区(N=62)	25.8	22.6	0.0	46.8	4.8

年代別でみると、すべての年代で「わからない」が最も高くなっています。特に『20歳代』(78.1%)で顕著に高くなっています。「利用したい」は『10歳代』(44.4%)、『40歳代』(33.3%)、『30歳代』(31.0%)で比較的高い傾向にあります。「利用したくない」は『60歳代』(25.4%)と『70歳以上』(24.0%)の高齢層で高く、若年層(『10歳代』0.0%、『20歳代』3.1%)で低くなっています。

世帯構成別でみると、すべての世帯構成で「わからない」が最も高くなっています。「利用したい」は『三世代家族世帯』(16.7%)で他の世帯構成と比べて低い傾向にあります。「利用したくない」については、世帯構成による大きな差はみられません。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「わからない」が最も高くなっています。「利用したい」は『幸福度：平均以下』(28.2%)が『幸福度：平均以上』(25.6%)よりやや高く、「利用したくない」は『幸福度：平均以上』(18.9%)が『幸福度：平均以下』(16.7%)よりやや高くなっています。

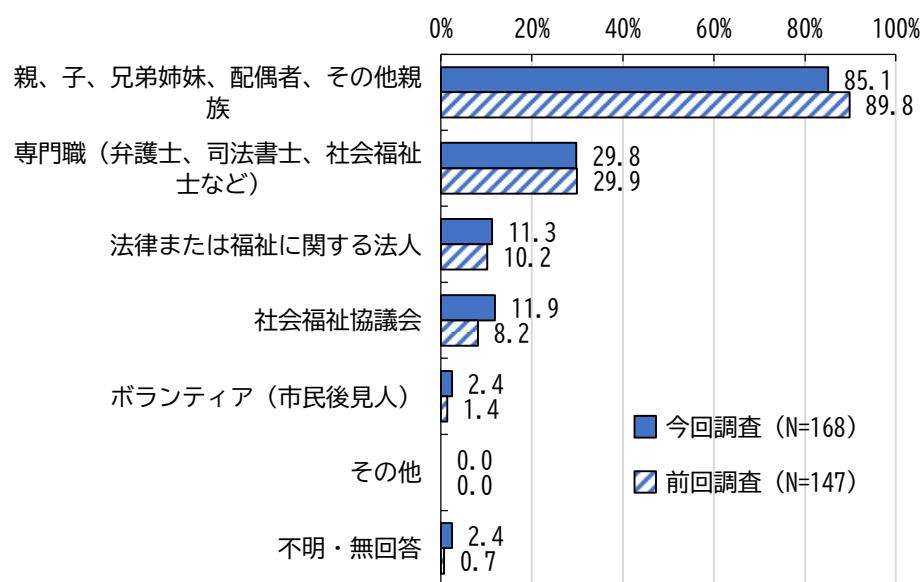
		利用したい	利用したくない	利用中である	わからない	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	44.4	0.0	0.0	55.6	0.0
	20歳代(N=32)	18.8	3.1	0.0	78.1	0.0
	30歳代(N=58)	31.0	8.6	0.0	58.6	1.7
	40歳代(N=60)	33.3	8.3	0.0	56.7	1.7
	50歳代(N=102)	27.5	10.8	0.0	59.8	2.0
	60歳代(N=130)	26.2	25.4	0.0	46.9	1.5
	70歳以上(N=225)	25.3	24.0	0.0	43.1	7.6
世帯構成	単身世帯(N=66)	27.3	16.7	0.0	43.9	12.1
	夫婦のみの世帯(N=195)	27.2	18.5	0.0	51.8	2.6
	二世代家族世帯(N=261)	28.4	17.2	0.0	51.7	2.7
	三世代家族世帯(N=42)	16.7	19.0	0.0	59.5	4.8
	兄弟や親戚と同居(N=11)	27.3	18.2	0.0	54.5	0.0
	友人や知人と同居(N=3)	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	28.2	16.7	0.0	52.8	2.3
	幸福度：平均以上(N=281)	25.6	18.9	0.0	51.6	3.9

問37で【1. 利用したい】と回答した人におたずねします。

問38 後見人には誰になってもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

希望する後見人についてみると、「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」が85.1%と最も高く、次いで「専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が29.8%、「社会福祉協議会」が11.9%となっています。

前回調査と比較すると、「社会福祉協議会」では3.7ポイント高くなっています。一方で「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」が4.7ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」が圧倒的に高く（男性 85.9%、女性 84.1%）、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」が高くなっています。「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」は『男性』（35.9%）が『女性』（25.0%）より 10.9 ポイント高くなっています。

		親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）	法律または福祉に関する法人	社会福祉協議会	ボランティア（市民後見人）	その他	不明・無回答
性別	男性(N=78)	85.9	35.9	10.3	14.1	3.8	0.0	0.0
	女性(N=88)	84.1	25.0	12.5	9.1	1.1	0.0	4.5
地区別	初島町地区(N=15)	86.7	46.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0
	港地区(N=14)	92.9	21.4	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0
	箕島地区(N=9)	88.9	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	宮崎町地区(N=20)	80.0	10.0	5.0	10.0	10.0	0.0	5.0
	保田地区(N=40)	80.0	30.0	12.5	7.5	2.5	0.0	5.0
	宮原町地区(N=35)	85.7	28.6	17.1	14.3	0.0	0.0	2.9
	糸我町地区(N=18)	83.3	22.2	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	中央地区(N=16)	93.8	37.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0
年代別	10歳代(N=4)	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=6)	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=18)	72.2	33.3	27.8	22.2	5.6	0.0	0.0
	40歳代(N=20)	90.0	60.0	25.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=28)	82.1	21.4	7.1	7.1	3.6	0.0	3.6
	60歳代(N=34)	88.2	38.2	5.9	11.8	0.0	0.0	2.9
	70歳以上(N=57)	89.5	19.3	7.0	8.8	3.5	0.0	3.5

※年代別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」が最も高くなっています。「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」は『幸福度：平均以下』（31.4%）が『幸福度：平均以上』（26.4%）より5.0ポイント高く、「法律または福祉に関する法人」も『幸福度：平均以下』（16.3%）が『幸福度：平均以上』（5.6%）より10.7ポイント高くなっています。

		親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）	法律または福祉に関する法人	社会福祉協議会	ボランティア（市民後見人）	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯（N=18）	77.8	16.7	0.0	16.7	5.6	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯（N=53）	88.7	30.2	5.7	5.7	3.8	0.0	1.9
	二世代家族世帯（N=74）	82.4	31.1	14.9	14.9	1.4	0.0	4.1
	三世代家族世帯（N=7）	100.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟や親戚と同居（N=3）	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	友人や知人と同居（N=1）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幸福度	幸福度：平均以下（N=86）	84.9	31.4	16.3	15.1	2.3	0.0	1.2
	幸福度：平均以上（N=72）	86.1	26.4	5.6	8.3	1.4	0.0	2.8

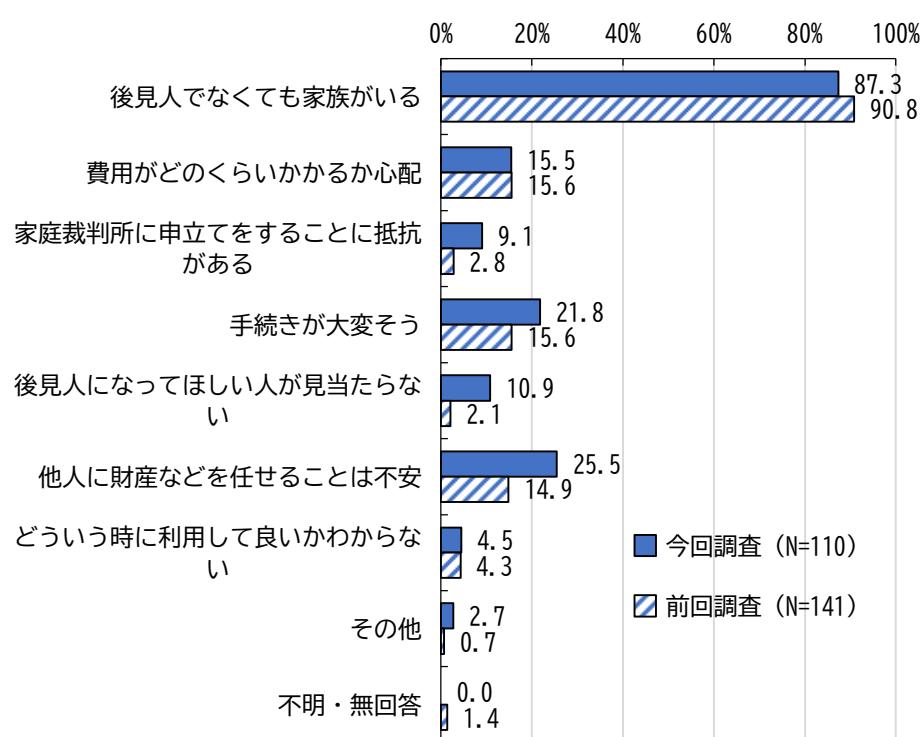
※世帯構成別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

問37で【2. 利用したくない】と回答した人におたずねします。

問39 「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「成年後見制度」を利用したくない理由についてみると、「後見人でなくとも家族がいる」が87.3%と最も高く、次いで「他人に財産などを任せることは不安」が25.5%、「手続きが大変そう」が21.8%となっています。

前回調査と比較すると、「他人に財産などを任せることは不安」では10.6ポイント高くなっています。一方で「後見人でなくとも家族がいる」が3.5ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「後見人でなくとも家族がいる」が圧倒的に高く（男性87.9%、女性89.3%）、次いで「手続きが大変そう」と「他人に財産などを任せることは不安」が高くなっています。「他人に財産などを任せることは不安」は『女性』(26.7%)が『男性』(21.2%)より5.5ポイント高くなっています。

		後見人でなくとも家族がいる	費用がどのくらいかかるか心配	家庭裁判所に申立てをすることに抵抗がある	手続きが大変そう	後見人になつてほしい人が見当たらない	他人に財産などを任せることは不安	どういう時に利用して良いかわからない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=33)	87.9	12.1	6.1	24.2	12.1	21.2	6.1	6.1	0.0
	女性(N=75)	89.3	17.3	9.3	21.3	10.7	26.7	1.3	1.3	0.0
地区別	初島町地区(N=11)	90.9	18.2	18.2	27.3	18.2	36.4	0.0	0.0	0.0
	港地区(N=9)	88.9	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0
	箕島地区(N=14)	71.4	14.3	7.1	21.4	28.6	42.9	7.1	0.0	0.0
	宮崎町地区(N=13)	92.3	7.7	7.7	15.4	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0
	保田地区(N=21)	85.7	9.5	0.0	14.3	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	宮原町地区(N=17)	88.2	35.3	5.9	29.4	17.6	23.5	5.9	5.9	0.0
	糸我町地区(N=9)	100.0	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
年代別	中央地区(N=14)	92.9	7.1	7.1	21.4	7.1	35.7	0.0	0.0	0.0
	10歳代(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=1)	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(N=5)	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代(N=5)	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代(N=11)	90.9	45.5	18.2	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0
	60歳代(N=33)	84.8	18.2	12.1	27.3	18.2	42.4	9.1	6.1	0.0
70歳以上(N=54)		92.6	5.6	3.7	14.8	5.6	13.0	1.9	1.9	0.0

※地区別、年代別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「後見人でなくても家族がいる」が最も高くなっています。「費用がどのくらいかかるか心配」は『幸福度：平均以下』(23.5%) が『幸福度：平均以上』(7.5%) より 16.0 ポイント高く、「他人に財産などを任せることは不安」も『幸福度：平均以下』(35.3%) が『幸福度：平均以上』(17.0%) より 18.3 ポイント高くなっています。「後見人になってほしい人が見当たらない」や「手続きが大変そう」も『幸福度：平均以下』で高い傾向にあります。

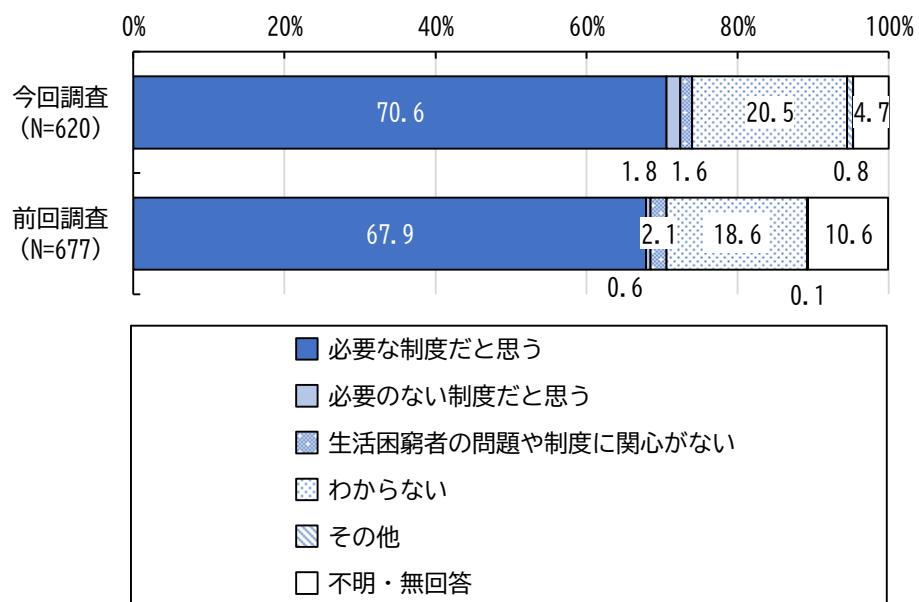
		後見人でなくとも家族がいる	費用がどのくらいかかるか心配	家庭裁判所に申立てをすることに抵抗がある	手続きが大変そう	後見人になつてほしい人が見当たらない	他人に財産などを任せることは不安	どういう時に利用して良いかわからない	その他	不明・無回答
世帯構成	単身世帯(N=11)	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯(N=36)	88.9	19.4	8.3	22.2	11.1	25.0	2.8	2.8	0.0
	二世代家族世帯(N=45)	82.2	17.8	11.1	31.1	13.3	31.1	2.2	4.4	0.0
	三世代家族世帯(N=8)	100.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	兄弟や親戚と同居(N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	友人や知人と同居(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	幸福度：平均以下(N=51)	88.2	23.5	13.7	27.5	17.6	35.3	7.8	3.9	0.0
幸福度	幸福度：平均以上(N=53)	88.7	7.5	5.7	17.0	5.7	17.0	1.9	0.0	0.0

※世帯構成別はサンプル数が少ないため、分析文は割愛します。

問40 生活困窮者の問題や支援制度についてどう思いますか。(ひとつに○)

生活困窮者自立支援制度に対する意識についてみると、「必要な制度だと思う」が70.6%と最も高く、次いで「わからない」が20.5%、「必要なない制度だと思う」が1.8%となっています。

前回調査と比較すると、「必要な制度だと思う」では2.7ポイント高くなっています。一方で「生活困窮者の問題や制度に关心がない」が0.5ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』ともに「必要な制度だと思う」が圧倒的に高く（男性 69.3%、女性 71.6%）、次いで「わからない」が高くなっています。性別による大きな差はみられませんが、「必要なない制度だと思う」は『男性』（3.0%）が『女性』（0.6%）より 2.4 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「必要な制度だと思う」が最も高くなっています。特に『宮原町地区』（77.2%）と『港地区』（75.6%）で高い傾向にあります。「わからない」は『宮崎町地区』（29.3%）で他地区より高く、『宮原町地区』（13.8%）で低くなっています。

		必要な制度だと思う	必要なない制度だと思う	生活困窮者の問題や制度に関心がない	わからない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	69.3	3.0	1.9	20.8	1.1	3.8
	女性(N=345)	71.6	0.6	1.4	20.3	0.6	5.5
地区別	初島町地区(N=54)	72.2	3.7	1.9	16.7	0.0	5.6
	港地区(N=45)	75.6	2.2	0.0	20.0	2.2	0.0
	箕島地区(N=56)	69.6	3.6	1.8	21.4	0.0	3.6
	宮崎町地区(N=75)	62.7	2.7	0.0	29.3	0.0	5.3
	保田地区(N=156)	69.9	0.0	1.9	22.4	1.3	4.5
	宮原町地区(N=123)	77.2	1.6	1.6	13.8	1.6	4.1
	糸我町地区(N=44)	65.9	4.5	4.5	20.5	0.0	4.5
	中央地区(N=62)	66.1	0.0	1.6	22.6	0.0	9.7

年代別でみると、すべての年代で「必要な制度だと思う」が最も高くなっています。年代による大きな差はみられませんが、『20歳代』(75.0%)でやや高い傾向にあります。「わからない」は『10歳代』(33.3%)と『60歳代』(24.6%)で比較的高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「必要な制度だと思う」が最も高くなっています。幸福度による大きな差はみられません。

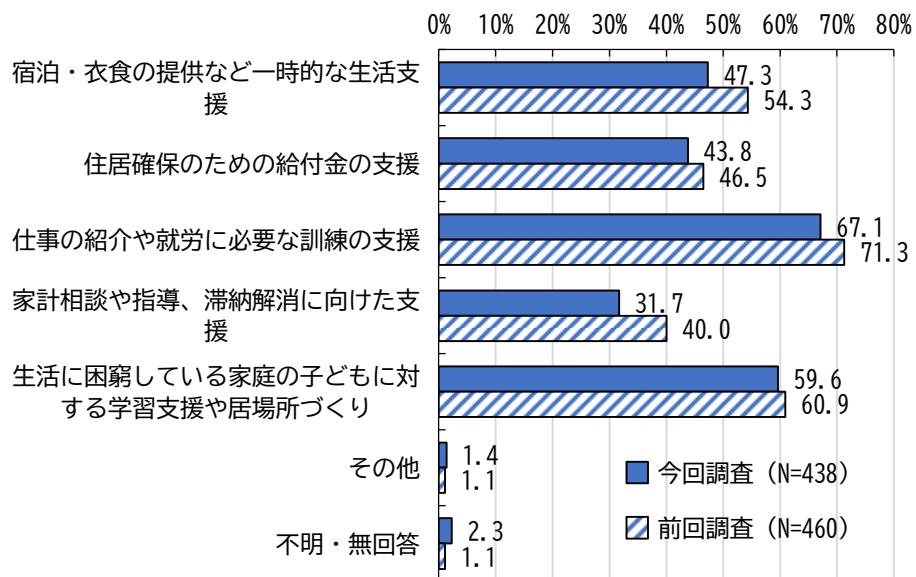
		必要な制度だと思う	必要なない制度だと思う	生活困窮者の問題や制度に関心がない	わからない	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	75.0	3.1	3.1	18.8	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	69.0	5.2	1.7	20.7	1.7	1.7
	40歳代(N=60)	71.7	3.3	0.0	20.0	3.3	1.7
	50歳代(N=102)	70.6	1.0	3.9	19.6	1.0	3.9
	60歳代(N=130)	70.0	1.5	1.5	24.6	0.8	1.5
	70歳以上(N=225)	70.2	0.9	0.9	18.7	0.0	9.3
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	70.8	2.3	2.3	20.3	1.3	3.0
	幸福度：平均以上(N=281)	71.2	1.4	1.1	20.6	0.4	5.3

問40で【1. 必要な制度だと思う】と回答した人におたずねします。

問41 あなたは、生活困窮者の問題を解決するために、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

生活困窮者支援の必要性についてみると、「仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援」が67.1%と最も高く、次いで「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」が59.6%、「宿泊・衣食の提供など一時的な生活支援」が47.3%となっています。

前回調査と比較すると、「家計相談や指導、滞納解消に向けた支援」が8.3ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援」が最も高く（男性 63.9%、女性 69.6%）、次いで「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」が高くなっています。「住居確保のための給付金の支援」は『男性』（49.2%）が『女性』（38.9%）より 10.3 ポイント高くなっています。

地区別でみると、すべての地区で「仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援」が最も高くなっています。特に『中央地区』（78.0%）と『初島町地区』（74.4%）で高い傾向にあります。「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」は『箕島地区』（69.2%）と『初島町地区』（66.7%）で高くなっています。

		宿泊・衣食の提供など一時的な生活支援	住居確保のための給付金の支援	仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援	家計相談や指導、滞納解消に向けた支援	生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり	その他	不明・無回答
性別	男性(N=183)	51.9	49.2	63.9	29.5	58.5	1.6	1.6
	女性(N=247)	42.9	38.9	69.6	33.2	59.9	1.2	2.8
地区別	初島町地区(N=39)	46.2	46.2	74.4	41.0	66.7	0.0	0.0
	港地区(N=34)	44.1	44.1	52.9	35.3	50.0	5.9	2.9
	箕島地区(N=39)	51.3	48.7	66.7	38.5	69.2	0.0	0.0
	宮崎町地区(N=47)	40.4	46.8	72.3	34.0	59.6	2.1	2.1
	保田地区(N=109)	46.8	43.1	66.1	32.1	63.3	0.9	3.7
	宮原町地区(N=95)	46.3	40.0	67.4	26.3	51.6	0.0	4.2
	糸我町地区(N=29)	37.9	55.2	55.2	20.7	48.3	0.0	0.0
	中央地区(N=41)	63.4	41.5	78.0	34.1	65.9	2.4	0.0

年代別でみると、すべての年代で「仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援」が最も高くなっています。特に『20歳代』(79.2%)と『40歳代』(79.1%)で高い傾向にあります。「家計相談や指導、滞納解消に向けた支援」は『40歳代』(53.5%)で他の年代より高く、『70歳以上』(20.9%)で低くなっています。「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」は『20歳代』(70.8%)で高くなっています。

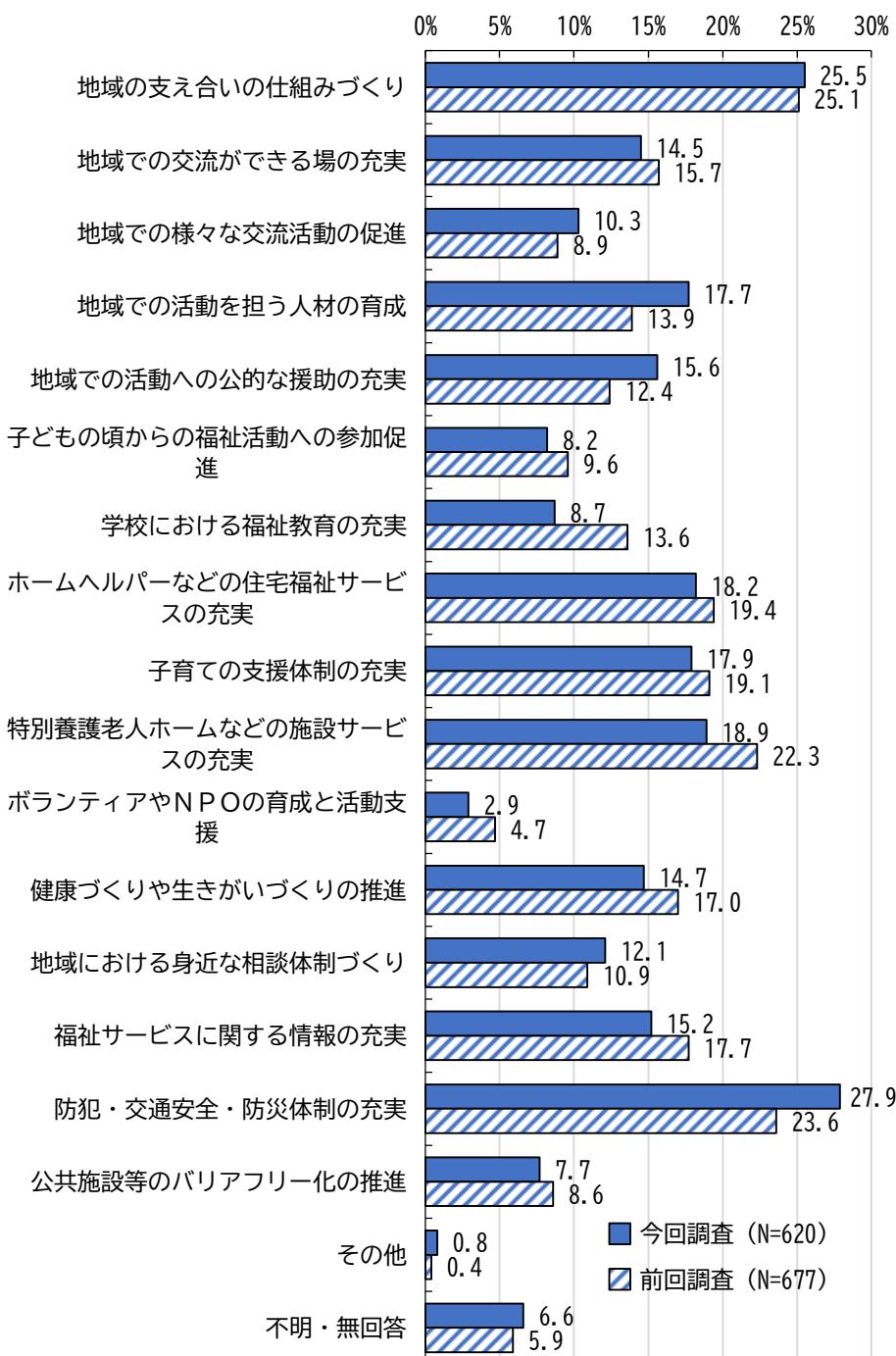
幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』とともに「仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援」が最も高くなっています。「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」は『幸福度：平均以上』(67.5%)が『幸福度：平均以下』(54.2%)より13.3ポイント高くなっています。

		宿泊・衣食の提供など一時的な生活支援	住居確保のための給付金の支援	仕事の紹介や就労に必要な訓練の支援	家計相談や指導、滞納解消に向けた支援	生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=6)	33.3	50.0	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0
	20歳代(N=24)	37.5	33.3	79.2	29.2	70.8	0.0	0.0
	30歳代(N=40)	47.5	47.5	60.0	32.5	57.5	2.5	0.0
	40歳代(N=43)	46.5	44.2	79.1	53.5	60.5	0.0	0.0
	50歳代(N=72)	45.8	45.8	72.2	40.3	59.7	2.8	0.0
	60歳代(N=91)	50.5	44.0	72.5	36.3	54.9	2.2	3.3
	70歳以上(N=158)	47.5	43.7	59.5	20.9	61.4	0.6	4.4
幸福度	幸福度：平均以下(N=216)	48.1	47.7	65.3	30.1	54.2	1.4	1.9
	幸福度：平均以上(N=200)	45.0	41.0	67.5	33.0	67.5	1.0	2.0

問42 今後、市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、有田市ではどのような福祉施策に取り組んでいくべきだと思いますか。(主なもの3つまで○)

有田市の今後の福祉施策のあり方についてみると、「防犯・交通安全・防災体制の充実」が27.9%と最も高く、次いで「地域の支え合いの仕組みづくり」が25.5%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が18.9%となっています。

前回調査と比較すると、「防犯・交通安全・防災体制の充実」では4.3ポイント高くなっています。一方で「学校における福祉教育の充実」が4.9ポイント低くなっています。



クロス集計

男女別でみると、『男性』『女性』とともに「防犯・交通安全・防災体制の充実」が最も高く（男性28.4%、女性27.8%）、次いで「地域の支え合いの仕組みづくり」が高くなっています。

地区別でみると、多くの地区で「防犯・交通安全・防災体制の充実」が最も高くなっています。特に『初島町地区』（38.9%）と『糸我町地区』（36.4%）で高い傾向にあります。『中央地区』では「地域の支え合いの仕組みづくり」（37.1%）が最も高く、『港地区』では「地域での活動を担う人材の育成」（31.1%）が最も高くなっています。

		地域の支え合いの仕組みづくり	地域での交流ができる場の充実	地域での様々な交流活動の促進	地域での活動を担う人材の育成	地域での活動への公的な援助の充実	子どもの頃からの福祉活動への参加促進	学校における福祉教育の充実	ホームヘルパーなどの住宅福祉サービスの充実	子育ての支援体制の充実
性別	男性(N=264)	26.5	15.2	12.9	20.5	18.9	4.5	7.6	20.5	15.2
	女性(N=345)	25.2	14.2	8.7	15.9	13.3	10.7	9.6	16.8	19.7
地区別	初島町地区(N=54)	25.9	7.4	11.1	14.8	25.9	9.3	5.6	25.9	18.5
	港地区(N=45)	20.0	15.6	6.7	31.1	15.6	6.7	4.4	11.1	11.1
	箕島地区(N=56)	30.4	12.5	10.7	23.2	21.4	7.1	12.5	14.3	12.5
	宮崎町地区(N=75)	14.7	12.0	5.3	13.3	20.0	8.0	8.0	18.7	18.7
	保田地区(N=156)	25.0	15.4	12.2	16.7	11.5	7.7	7.7	17.9	18.6
	宮原町地区(N=123)	24.4	18.7	13.8	17.9	15.4	7.3	13.0	13.0	22.8
	糸我町地区(N=44)	29.5	13.6	11.4	9.1	15.9	11.4	6.8	25.0	6.8
	中央地区(N=62)	37.1	16.1	6.5	21.0	6.5	9.7	8.1	25.8	21.0

		特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	ボランティアやNPOの育成と活動支援	健康づくりや生きがいづくりの推進	地域における身近な相談体制づくり	福祉サービスに関する情報の充実	防犯・交通安全・防災体制の充実	公共施設等のバリアフリー化の推進	その他	不明・無回答
性別	男性(N=264)	18.6	2.7	13.3	11.4	14.8	28.4	5.7	1.1	6.1
	女性(N=345)	18.8	2.9	16.2	12.2	14.5	27.8	8.7	0.6	7.2
地区別	初島町地区(N=54)	9.3	5.6	18.5	16.7	13.0	38.9	0.0	0.0	3.7
	港地区(N=45)	17.8	6.7	13.3	11.1	17.8	17.8	6.7	2.2	13.3
	箕島地区(N=56)	26.8	1.8	5.4	12.5	16.1	30.4	5.4	1.8	3.6
	宮崎町地区(N=75)	22.7	1.3	12.0	5.3	12.0	24.0	14.7	0.0	9.3
	保田地区(N=156)	19.2	3.2	14.7	13.5	14.7	27.6	9.6	0.6	8.3
	宮原町地区(N=123)	17.9	2.4	17.1	12.2	16.3	27.6	5.7	0.0	5.7
	糸我町地区(N=44)	18.2	0.0	20.5	13.6	11.4	36.4	6.8	0.0	4.5
	中央地区(N=62)	17.7	3.2	16.1	12.9	17.7	24.2	8.1	1.6	3.2

年代別でみると、年代によって力を入れるべき項目に差がみられ、『20歳代』、『30歳代』、『40歳代』では「子育ての支援体制の充実」がそれぞれ40.6%、32.8%、33.3%と高く、『50歳代』以上では「防犯・交通安全・防災体制の充実」が高くなっています。『60歳代』では「地域の支え合いの仕組みづくり」(30.0%)も同程度に高く、『70歳以上』では「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」(25.3%)も高くなっています。

幸福度別でみると、『幸福度：平均以下』『幸福度：平均以上』ともに「防犯・交通安全・防災体制の充実」と「地域の支え合いの仕組みづくり」が高くなっています。「防犯・交通安全・防災体制の充実」は『幸福度：平均以下』(30.8%)が『幸福度：平均以上』(26.7%)より4.1ポイント高くなっています。「子育ての支援体制の充実」と「子どもの頃からの福祉活動への参加促進」は『幸福度：平均以上』がやや高い傾向にあります。

		地域の支え合いの仕組みづくり	地域での交流ができる場の充実	地域での様々な交流活動の促進	地域での活動を担う人材の育成	地域での活動への公的な援助の充実	子どもの頃からの福祉活動への参加促進	学校における福祉教育の充実	ホームヘルパーなどの住宅福祉サービスの充実	子育ての支援体制の充実
年代別	10歳代(N=9)	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	33.3
	20歳代(N=32)	18.8	18.8	9.4	28.1	12.5	12.5	15.6	21.9	40.6
	30歳代(N=58)	19.0	17.2	5.2	29.3	19.0	6.9	13.8	12.1	32.8
	40歳代(N=60)	30.0	11.7	11.7	21.7	8.3	11.7	16.7	13.3	33.3
	50歳代(N=102)	15.7	13.7	10.8	16.7	19.6	8.8	5.9	18.6	15.7
	60歳代(N=130)	30.0	17.7	11.5	13.1	13.8	5.4	7.7	19.2	11.5
	70歳以上(N=225)	27.6	12.9	11.1	16.0	17.3	7.6	5.3	20.9	10.7
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	23.3	14.1	8.9	18.7	15.7	6.9	7.9	17.7	17.0
	幸福度：平均以上(N=281)	27.0	14.6	11.4	17.4	14.9	10.3	10.0	19.2	19.6
		特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	ボランティアやNPOの育成と活動支援	健康づくりや生きがいづくりの推進	地域における身近な相談体制づくり	福祉サービスに関する情報の充実	防犯・交通安全・防災体制の充実	公共施設等のバリアフリー化の推進	その他	不明・無回答
年代別	10歳代(N=9)	0.0	0.0	44.4	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0
	20歳代(N=32)	12.5	3.1	6.3	6.3	9.4	18.8	12.5	0.0	0.0
	30歳代(N=58)	12.1	1.7	8.6	6.9	8.6	29.3	15.5	0.0	6.9
	40歳代(N=60)	5.0	3.3	8.3	15.0	11.7	21.7	6.7	1.7	1.7
	50歳代(N=102)	18.6	4.9	12.7	6.9	11.8	32.4	9.8	1.0	6.9
	60歳代(N=130)	20.0	3.8	14.6	16.2	20.8	32.3	6.2	1.5	3.1
	70歳以上(N=225)	25.3	1.8	18.7	14.2	16.9	25.8	5.3	0.4	11.1
幸福度	幸福度：平均以下(N=305)	18.0	3.3	15.1	12.8	15.7	30.8	8.2	1.0	5.6
	幸福度：平均以上(N=281)	20.3	2.8	14.2	12.1	14.6	26.7	7.1	0.7	5.7

問43 計画策定にあたり、市民の皆さまの様々ご意見を伺い、参考にしていきたいと考えていますので、ご自由にお書きください。

■高齢者福祉・介護

この後、高齢者の町になるため、福祉について考えて推進してください。

有田市での体操（やわら）を公民館で行っているため、もっと多くの人が来られるよう情報を流して体力づくりができるようにしてほしい。

えみくるのような遊び感覚で健康促進できる場所を増やしてほしい。

社会福祉協議会は高齢者へのサポート支援や老人クラブなどを強化すべきと感じる。

特別養護老人ホームを増やし、施設サービスの充実と介護職の待遇を改善してほしい。

整骨院の先生指導のやわら元気体操に参加して健康を維持している。

年金生活している高齢者にとって、車の運転ができなくなれば買い物や病院、銀行へ行くことが大変になる。

市の体操は年をとると出かけることも人と話す機会も少なくなるため、身体を動かさせて笑い合える貴重な時間なので、なくさないでほしい。

子どもと別居しているので先々が不安である。

今後もっと増えてくる高齢者の受け入れ施設を増やしてほしい。共働き家族が多く、近所でも施設の順番待ちの人が多い。

身内に90歳ぐらいの夫婦が2人で生活しており、毎日見回りをしているが大変なので支援してほしい。

1人暮らしの高齢者で免許証もなくデマンドバスの乗り場や駅までも遠いと、市のいろいろな催し物等に行きたくても移動手段がないと参加できない。

特別養護老人ホーム等の施設が多くできて、希望すればすぐに入れるようになれば良い。

自分で明るく楽しく老後を送れたらと思っている。

夫婦とも高齢（82歳と85歳）になると老後が不安になるが、今は何とか楽しく生活している。

有田市の80歳以上の半数が介護を必要とする状態になると想定して、施設の充実やヘルパー・介護士等の確保を考えてほしい。

高齢になり移動が困難になるので、必要な情報を得られるようにしてほしい。

有田市老人クラブが今まで通りに運営できるように、有田市と話し合って解決してほしい。

高齢者にとって移動や活動等に対して交通手段が少なく不便である。

高齢者も出にくい人が多いと思うので、近くに集えるような地域やカフェなどがあれば元気が出ると思う。

現在、市民の一番の不安は高齢者の介護の問題で、独居や2人住みの要介護状態に陥りそうな方々が多いため、施設スタッフの人手不足を解消するために介護を志す人材に補助金を出すなど高齢者福祉を第一に考えてほしい。

今後老々介護状態になった時の不安を感じている。現在、90歳になる義母は要支援段階だが、今後の介護に不安がある。
子どもと高齢者が同じ空間で過ごし、コミュニケーションできる場が必要。
ますます高齢化が進むうえで、公共の高齢者施設の充実をしてほしい。
82歳、78歳の2人暮らしで仕事もできず、これから先が不安である。
いずれ運転免許証の返納を考える時期が来た時に、適切な交通手段がなく不安である。高齢者の事故が多いことを考えると悩む。
ひとり暮らしの家庭が安心して暮らしていけるまちづくりをしてほしい。
初島に住む高齢者はデマンドバスの時間の空きが長く不便である。
今は何不自由なく生活できているが、お世話になる時のために施設の充実を願っている。
高齢者のみの世帯が増えており、電球交換や買い物などちょっとした困りごとを支援できるシルバー世代（まだ働ける人）と高齢者をつなげる仕組みがあると良い。
福祉サービスや生きがいづくりについて、今以上の充実を目指してほしい。
70歳で初仕事をさせてもらい、80～88歳までの方々が技術職で活躍しており健康な方の動きに憧れている。
高齢者、障がい者にやさしい町はみんなにやさしい町だと思うので、人材の育成、町の整備、教育などでみんなが住みよいまちづくりをしてほしい。
介護してもらえる人はもちろん、介護する人の気持ちのサポートも考えてほしい。夫が義母の介護を長年したが、代わってもらう人もなく、ストレスで心身のつらさを経験した。
介護の経験は壮絶で忍耐だけが学びだったが、人それぞれに違う経験であり、簡単に理解できるとは言えない。
介護職員、看護師が不足しているので、人員の確保と給料を上げてほしい。
介護保険を長年払ってきているにも関わらず、実際に介護サービスを利用する時の費用がかかりすぎて、年金月10万以内の方は介護サービスを受けることが難しい。
福祉の人材不足が大きな課題になっているのは賃金が少ないからで、安定した生活ができるだけの賃金があれば人は集まり、質の良いサービスが生まれてくる。
単身世帯の人が孤独死して長らく気付かれないことがないような、長期的な生存確認の仕組みや機会があれば利用してみようと思う。
市立の老人ホームを作ってほしい。
単身世帯の高齢者が増えているので、老人ホームがもっと増え、そういう高齢者の方への政策が増えると離れて暮らす家族は安心できる。
高齢の両親は人に頼ることをしたがらず自分たちで自転車に乗って買い物や用事に出かけているが、自分も身体が思うように動かなくなってきており心配である。

■移動・交通手段

バスの運行の見直しなど、手ごろな交通手段を考えてください。タクシーは高いです。
もっと高齢者が利用しやすいバスにしてほしい。
歩道がほとんど斜めになっているため、車椅子や歩行、自転車が斜めになり危険を感じるので、早急に直してほしい。
最高齢者や障がい者に年間何枚かのタクシー乗車券も考えてもらいたい。
デマンドバスをもう少しきめ細かくしてほしい。
デマンドバスはあるが1日の本数が限られており不便である。
市内の交通事情は車が運転できる前提なので、タクシーも以前より利用しづらい（常時台数が少なく利用可能な時間帯が限られている）ことが困る。
電車の本数を増やし、紀伊宮原駅でも快速が止まるようにしてほしい。
運転免許証を返納した場合、月に何回か利用できるタクシーチケットなどの代替手段を考えてほしい。
初島から市役所などに出かける時は常にタクシーを利用しているが、デマンドバスは時間の空きが長く不便である。
移動手段の不自由さを解消してほしい。巡回バスはあっても使いづらく、国道や市道の歩道・自転車道がガタガタで自転車が使いづらい。
デマンドバスを利用したくてもバス停まで遠く、自転車に乗って行くことになり買い物の荷物を持ち帰るのも大変なので、気軽に安く往復利用できるタクシーがあれば安心できる。

■防災・安全

災害時における公的援助や活動支援を希望する。
防災ラジオが中止になったが、台風発生時など市役所からの放送が全く聞こえないので再開してほしい。また、地域による浸水被害の対策を早くしてほしい。
有田川の立木の撤去、清掃を最低年1回行ってほしい。
安心安全できる生活をしたい。
有田市地域に防犯カメラの設置をもっと増やしてほしい。
大地震発生時にトイレに困るので、各自治体にどこでも利用できる簡易的なトイレ（紙パック）をある程度備えてほしい。
地震・水害等で宮原全域が被災し、学校なども使えなくなった場合も想定して迅速に対応できるようにしてほしい。
防災無線の復旧をしてほしい。高齢者は夜には早く寝てしまうので、町内放送では情報が得られない。
宮崎町の中央地区には、安心して避難できるところがないので、安心して避難できる高さのある頑丈な建物が必要である。

外国人労働者による犯罪や振込詐欺、闇バイトなどから安心・安全に暮らせるよう防犯力メラの設置をお願いしたい。
避難施設の充実をしてほしい。
有田市内の河川へのゴミの投げ捨てを防止する対策をしてほしい。
大雨で土地が冠水状態になる地域（山地）に住んでおり、このままの状態が続かないような施策をしてほしい。
保田橋の北詰めの信号機のあるところの錆びた柵がすき間があり、小さい子どもたちが歩いていたり自転車だとそのまま落ちそうで危険なので点検してほしい。
南海トラフ地震の訓練はもっと内容を濃くしていかなければ災害死は大きくなると思うので対策を強化してほしい。
災害に強いまちづくりをしてほしい。
毎日と言って良いほど大雨になると家の前の道が冠水し、一時外出困難になる。一昨年6月には床上浸水したので、住民の安全のため全世帯を調査し、改善できるところはいち早く対応してほしい。
私の地域は高齢者も多いが防災対策が低いので、避難訓練等の対策ができる機会がもっとあれば良い。
子どもや高齢者が安心して生活できるよう、飲酒運転や交通事故など治安の悪さを改善してほしい。また災害時の医療体制について不安がある。
すべての福祉政策は南海トラフの地震が起った後に評価されるものと考える。
より安心して住める有田市になるように望む。
初島地区の大雨による床下・床上浸水の被害について対策をしてほしい。南海トラフ地震が来たらもっと大きな被害になるのではと心配している。
宮崎町は近くに海があるので避難所が少なく、自宅から避難所まで1キロある。災害後は避難所までの道はがれきや物で大変なことになり、津波到達予定時刻内に避難所まで辿りつけないので、もっと避難所を増やしてほしい。
箕島小学校の登下校時の交通安全対策として、青信号で渡ろうとしたところ曲がってきた車に轢かれそうになったことや信号無視の車があるので、市でも子供たちの登下校が安全にできるよう対策をしてほしい。
有田市内の治水対策を優先的に行ってほしい。高山川のバックウォーター現象による氾濫対策として、外郭隨道の直径拡張工事などを検討してほしい。

■子育て・教育支援

有田市の小学校が古すぎて環境が良くないので、子どもたちが勉強やスポーツ、遊びを思いっきり楽しめる環境を作ってほしい。
中学入学時の制服が高く準備に大変お金がかかるので、物価高騰の中、入学準備の補助をしてほしい。
小学校の先生によって対応が違いすぎるのは良くないので、ある程度マニュアル化してほしい。また、途中で辞めてしまう先生が多すぎることを何とかしてほしい。
子どもたちに「おはよう、いってらっしゃい」の言葉をかけると返事があるので、言葉が大切だと思う。
人に対しての思いやりや助け合いが増える教育や体験を学校や地域、各企業に働きかけてほしい。
糸我から国道に出るところなど車の多いところに防犯カメラを設置することで、子どもの見守りにも高齢者の見守りにもなると思う。
子育てに関して、自分の頃は近くに公園がなく外で遊ばせるのが難しかったが、今は孫のために旧図書館跡の Waku Waku や Big Smile Park ができていて良い。施設にオムツ交換や授乳場所のあるところがもっと増えてほしい。
有田市子育て支援センターWakuWaku は良い施設なので、もう少しアナウンスがあると良い。孫が大きくなったら利用したい。えみくるも利用しやすいように無料チケットを配布してほしい。
子ども食堂な施設を拡充してほしい。
子育て中の若い人のみやひとり親世帯も増えており、生活の困りごと（電球交換や買い物など）を支援できる仕組みがあると良い。
子どもへの支援を充実させてほしい。高齢者への支援が目立つが、子どもの活動に対する支援を増やしてほしい。
有田市的人口減少は全国平均よりも速く進んでいるので、子育て支援のためふるさと納税で得た資金の一部を子育て世帯に支給してほしい。
三つ子の頃までというように、人・他者への信頼関係が構築する出生後 3 年間だけでも母親支援を充実させてほしい。

■障がい者福祉

障がい者（精神）の支援が必要になると思っている。
障がい者が住みやすいまちづくりと障がい者施設を充実させてほしい。
車椅子利用者が特に歩道を通れず車道を通らなければならず危険なので、早いうちに直してほしい。
地域で話し合える人づくりがあって、話し合える場がほしい。ただ集まてもリーダーがないと話が進まない。

障がいのある子どもたちが、のびのびと過ごせて遊べるスペースを確保し、地域の公園でも肩身が狭くならないようにしてほしい。さくらんぼ・小麦畠（学童）への市からの助け（補助）で、スタッフの増員や収容人数を増やしてほしい。

障がい児童・生徒ができるだけ自立に向けた教育・体験ができるよう、長期休み中も含めて指導・援助できる体制を整えてほしい。

中学校への通学路を徒歩や自転車で往来する子どもたちの安全のため、道路整備を進めてほしい。

■地域コミュニティ

体操を通じて親しい仲間もでき、楽しく過ごすことができるので、継続してほしい。

体操を通じて人と話せる時間が必要であり、笑い合える時間を続けてほしい。

地区ごとに小さい子どもから高齢者まで幅広い世代での様々な交流活動を促進し、安心して暮らしていける地区、地域、市になってほしい。

市民ひとりひとりが当事者意識を持って活動に参加協力する有田市の将来づくりを希望する。

社会福祉とは支え合い助け合いの精神だが、住民の地域や近所の関わりが希薄になってきているので、地域で関わる機会を増やしてほしい。

地域の集会場をもっと活用して色々なイベントを行い、みんなで集まれば近所の人たちとも関わりができるため楽しくなると思う。

ふれあいも少なくなってしまい話す機会も少なくなったが、明るく楽しく過ごしたい。

有田市でボランティア活動をしている人や、これからやりたい人が集会を開き、体験や活動内容を話し合う機会があれば良い。

高齢者が多く自治会の運営・組織体制の維持が困難な地区が多く、地域福祉を推進していくうえで切迫した課題なので、若年層で運営・組織化していく必要がある。

夫が見守り隊に参加して子どもたちにあいさつしており、言葉のコミュニケーションが大切である。

地域ぐるみで思いやりの心をつくる人間づくりが大切だと思う。

地域の福祉活動がどのように行われているのか全くわからず、自分の地域の民生委員や児童福祉の人が誰なのかもわからない。

市民の憩いの場や観光地としての魅力づくりに取り組み、人が集まるようなPR活動をしてほしい。

私は病気で福祉の世話になり、はじめて福祉の内容を知り助けてもらえたことを知った。自分が直面してはじめて知ることなので、福祉情報をもっと広めてほしい。

公民館や会館などにカラオケ設備を充実し、地域のまつりを企画するなど住民が気軽に集まれる環境を整えてほしい。

身近な支援者（社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア）の活動がわかりにくいのでもっと周知してほしい。

情報の充実は大切だが、関心が低いと伝わらないので、AC ジャパンのようにタイムリーな情報発信を繰り返し行うと良い。
地域福祉の理念よりも具体的に住民がよくわかるような計画が必要であり、住民が実際に活用できるものであってほしい。
有田ではあてにならない収入だが、役に立っていると実感でき、あてにされると自己満足しながら生活できている現在に感謝している。
地域での支え合い、助け合いなどが大切だが今の時代難しい面もあるので、基本的なことからコツコツ考えて有田を良くしてほしい。
ラジオ放送がなくなったので困っている。町内放送が聞き取りにくい。
どことも自治会活動の人員不足と負担感が問題になってきており、自治会活動を市が行うように今後していくことを期待している。
地区祭りには子どもが一人も参加しておらず、少子化や人出不足がどんどん加速しているので、今活動できる方とこれから活躍する方への福祉支援の充実をお願いしたい。
コロナをきっかけに地域のコミュニケーションの場が減り参加人数も減っているので、人数を集めてちょっとした話ができる機会が必要である。
社協主催のカフェを立ち上げたが参加者が増えず悩んでいる。色々企画を工夫しているが成果が出ず、補助金も少ないので区への補助をお願いしようと思っている。
ふらっと気軽に集まれる場を増やしてほしい。遅い時間まで開いている夜カフェのような場所が欲しい。

■情報提供・周知

もっと多くの人が体操に来れるように情報を流してほしい。
SNS 等を通じて情報の発信をしてほしい。
町内放送を聞こえるようにしてほしい。
民生委員、児童委員の活動内容が明確ではないので、活動内容や実績を公表してほしい。
有田市の取り組みや支援内容がわかりにくいで、LINE や広報などでも繰り返し伝えてほしい。
有田市はきれいなところやおいしいものがあるのに発信力が弱いので、ホームページをもっと良いものにしてほしい。
空き家が多い問題は、防犯と衛生面で環境に良くないので、早急に対応してほしい。
WakuWaku についてもう少しアナウンスがあると良い。
行政の動き（こども課、高齢介護課）が日常何をしているのかわかりにくいでもっとPRしてほしい。広報ありだの配布で終わりではなく、市民がどれだけ読んで活用しているか調査し反映してほしい。
県民の友、広報ありだ、市議会だより等の無駄を省き、回覧板も廃止してほしい。
ラジオ放送がなくなったので困っている。町内放送が聞き取りにくい。

若い世代はスマホで情報収集することが多いので、SNSを通してイベントの参加募集をしてくれると参加しやすい。

生活支援として高齢者や障害者が気軽に利用できる買い物の宅配やタクシーサービスがあると良い。

■医療体制

生活必需品の買い物に困るので対策を考えてほしい。

日用品や食料品等の買い物車を市で考えてほしい。ボランティアに買い物を頼んでいるが大変である。

地域医療の充実を考えてもらいたい。

地元の医療水準が低く、手術のできない、出産のできない市立病院では、震災時に支援が必要な方を助けられるか疑問である。

■生活支援

規則で成り立つ行政において本当に必要な方を見抜く力をつけ、有田市がゴーストタウンにならないよう未来を考えてください。

年金生活で苦しく、近くにスーパーや店がないので不便である。

1人暮らしの方が遠慮せず、何でも相談できる窓口や電話を設けてほしい。

医療に関する援助や支援は行き届いていることを知った。年金生活者にとって大きなことである。

有償でも高齢者とシルバー世代をつなげる仕組みがあると良いが、個人情報保護の教育も必要である。

■市政・行政サービス

雇用対策の一環として、市からの仕事を市民に提供してほしい。

アンケートには第3次計画での良かった点、問題点、課題等の整理や他自治体の情報を参考資料として掲載した方が回答しやすい。

アンケートのみでなく、その後の取り組み方を知りたい。

地域福祉の取り組みが非常に遅れているので、市役所はもっと市民の声を聞いて取り組むべきである。

市長や市会議員との交流の場をつくり、市長が住民の中に飛び込んで実情を聞き出し市政に活かしてほしい。なぜ人口減少が続くのか真剣に考え、常に増やす努力をすべき。

市政情報の費用対効果をフォローすべき。

人口も減り企業も減り、財政に疑問を感じる。有田市でどれだけのことができるのか疑問である。このようなアンケートは必要なのか？

自由にいつでも相談や意見を言える、聞いてもらえる場やシステムがあれば良いと思う。

市民ひとりひとりが行政に頼る傾向が強いように思うが、どこまで行政が手助けの手を差し伸べられるのか疑問である。
住民が実際に活用できる具体的な計画を作ってほしい。
少子高齢の社会から未来の人口減社会へ安心の離着陸できる構想を立ててほしい。
福祉計画は大量の文字や数字の表があり読むのがしんどいため、学校教育や仕事の就業時間中、市の健康診断等、市民の参加が不可避な場所で簡単に啓発してほしい。
18歳までに子育てに必要な資金は全て有田市が負担するといった勢いで支援をお願いしたい。
これから人口が減っていくという話をよく聞くので、今の有田市を良くするのはもちろんだが、これからの有田市を今以上に考えてほしい。
アンケートだけでなく実行に向けたアクションを短時間で取り組み、今やっていることが本当に必要とされているか検証し無駄をなくしてほしい。
社協主催のカフェへの補助金が少ないので増額してほしい。
他の地域に住んでる方が有田市に住みたいと思ってくれる町になることを願っている。
関わっていただいている方には感謝しているが、ある程度の期間での交代を希望する。
若者が少なくなっている問題を解決した方が良い。
ふるさと納税で全国20位以内に入る資金があるにも関わらず、優先順位の低い公園や市民会館建設など箱物ばかりが目立っている。治水対策を優先的に行ってほしい。
良い有田市にしてください。有効にお金を使ってください。

■経済的支援・負担軽減

入学準備の補助をしてほしい。
ハード的施策よりもソフト的施策のほうが効果はあると思うので、市民が当事者意識を持って参加できる仕組みを作ってほしい。
病気になって医療に関する援助や支援が行き届いていることを知り、年金生活者にとって大変ありがたい。
先が見えない高齢者世帯なので経済的な支援がほしい。
有田市でも物価高で生活が困窮している人がたくさんいるので、給付金等の対策をお願いしたい。
働けるのに働かない人、引きこもりの人のために働ける人を増やす対策が必要である。日本は裕福な人を増やし、幸福度を上げることを目指すべきである。
年金収入で段階を決めて市が負担してくれれば、もっと気軽にサービスを受けられ家族も安心できる。
物価と年金のバランスを考えてほしい。
高齢化により財政難で若者は集まらないと思う。住民税が高い。
金銭的な支援が市からされるなど手厚い支援が増えると全ての市民が住み慣れた町で安心して暮らせると思う。

